

42821

教科書文庫

|                |
|----------------|
| 4              |
| 291            |
| 42-1941        |
| 20000<br>71563 |

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak 2007 TM: Kodak



訂改  
新編女子日本地理

阪大・京東  
行發堂々駿

|         |
|---------|
| 教科書     |
| 4       |
| 291     |
| 42-1941 |
| 20000   |



用科理地校學女等高 日一十月二十年六十和昭  
濟定檢省部文

資料室

訂改 西田與四郎 著  
新編女子日本地理

教科書文庫  
4  
291  
42-1941  
2000071563

広島大学図書  
2000071563  




阪大行發堂夕鬮京東

46  
291  
AB16

編纂及び改訂要旨

本書は高等女學校新教授要目に準據し、聖戰下の國民教科としての地理科の價値を高揚し以て堅實なる女子の教養に資する様茲に大改訂を加へた。次の諸點は編纂上特に考慮した事項である。

- 一、本書の構成は要目に從ひ序説、地方誌、總括の順序とした。而して我が國土の情勢、國勢發展の由來を正しく把握せしめ以て愛國心の涵養に資すべく特に努力した。
- 二、地方誌に於ける各地方の順序は樺太より漸次南に及ぼしたが教授者の意見により各地方の順序を變更するも使用上不便なき様にした。
- 三、教材の選擇については從來よりも一層輕重を附し、人文を重視し、且つ女子教育の目的に添つた教材、寫眞を多くすることに留意した。

四、從來地方誌に重點を置き總括を等閑に附する傾向にあつたが本書は特に總括に力を注ぎ現實の國勢を知らしむることに努力した。  
五、特色あり利用度の高い寫真地圖統計圖を多數挿入し本文を補足した。  
六、人口は昭和十五年の國勢調査により、其の他の統計も聖戰下の日本に支障なきものを選んだ。

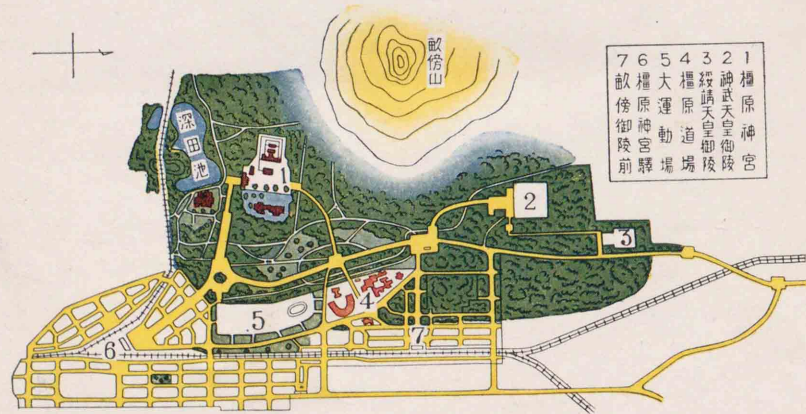
著者識

昭和十六年四月

|             |    |
|-------------|----|
| 序説          | 1  |
| 地方誌         | 1  |
| 第一章 樺太地方    | 三  |
| 第二章 北海道地方   | 七  |
| 第三章 奥羽地方    | 一五 |
| 第四章 關東地方    | 二六 |
| 第五章 中部地方    | 三七 |
| 第六章 近畿地方    | 五〇 |
| 第七章 中國・四國地方 | 六三 |
| 第八章 九州地方    | 七五 |
| 第九章 臺灣地方    | 八三 |



櫃 原 神 宮



櫃 原 神 宮 外 苑

|                |        |       |        |        |       |          |           |          |       |
|----------------|--------|-------|--------|--------|-------|----------|-----------|----------|-------|
| 【附錄】道府縣地方別面積人口 | 內地都市人口 | 結語    | 第二章 人文 | 第一章 自然 | 總括    | 第十二章 關東州 | 第十一章 朝鮮地方 | 第十章 南洋群島 |       |
| .....          | .....  | ..... | .....  | .....  | ..... | .....    | .....     | .....    | ..... |
|                |        | 二〇    | 一〇四    | 一〇〇    |       | 九        | 九二        | 九九       |       |

訂改

# 新編女子日本地理

(高等女學校用)

西田與四郎著

## 序 說

一、位置 我が大日本帝國はアジア大陸の東緣(極東)に位する環太平洋の一國である。日本列島を中心に朝鮮半島・關東州・南洋群島から成る。

### 帝國の四極

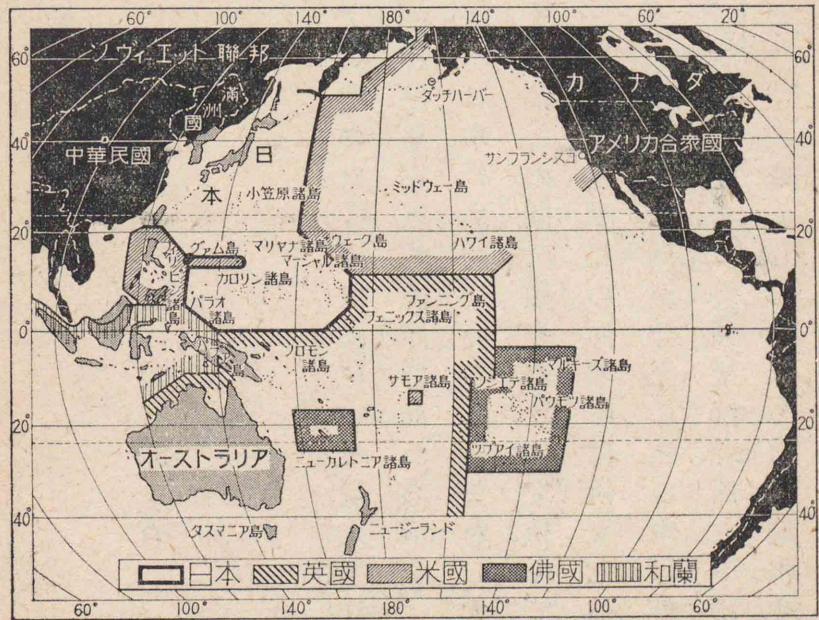
|    |            |           |
|----|------------|-----------|
| 極東 | 南洋ミレ島東端    | 東經一七二度一〇分 |
| 極西 | 新南群島西端     | 東經一一一度三〇分 |
| 極北 | 千島阿賴度島北端   | 北緯五〇度五五分  |
| 極南 | 南洋グリニッチ島南端 | 北緯一度一五分   |

を蔽うてゐる。斯くて現時の我が國は歐米に依存し歐米の植民地化せ

んとした古い東亞を排撃し、日本を盟主とする善隣友好共同防共経済提携の新東亞建設に多大の努力を拂つてゐる。

二、區劃 行政上、内地本土は一道三府四十三縣に分たれ、外地植民地は臺灣・樺太・朝鮮・關東州及び南洋群島に分れる。

三、面積・人口 我が國の總面積は約六十八萬方軒で、その中、本土は約六割を占める。人口は約一億人である。



### 地方誌

#### 第一章 樺太地方

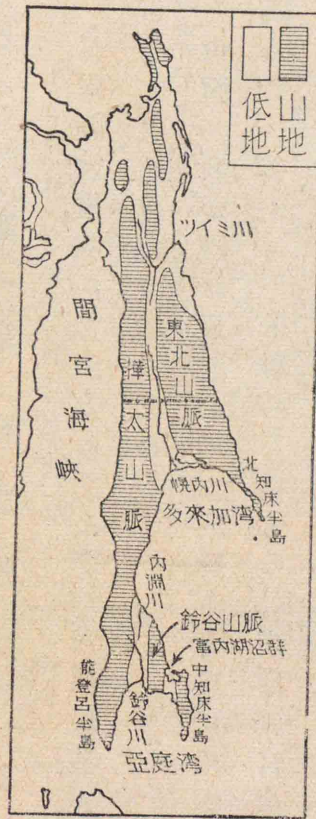
日露戰役後我が領土となつた寒地性植民地である。樺太廳の下に一市七支廳を置いて治めてゐる。

位置 我が國の最北の地で、北緯五十度に沿ふ人爲的國境でソヴィエト聯邦と境する。西は間宮海峡を隔ててソ聯の極東地方に對する。此の北方的位置は樺太の發達を妨げる事が大きい。

地勢 樺太山脈は島の主軸をなし其の東に東北鈴谷の兩山脈がある。この山地の森林は樺太第一の富源で、パルプ・製紙業を勃興せしめてゐる。中央低地の北部は幌内川流域で、低

| 行政區劃 |     |
|------|-----|
| 支廳名  | 所在地 |
| 敷香   | 敷香町 |
| 元泊   | 元泊村 |
| 豊原   | 豊原市 |
| 大泊   | 大泊町 |
| 泊居   | 泊居町 |
| 眞岡   | 眞岡町 |
| 本斗   | 本斗町 |

濕不毛のツンドラ帯をなし、南部は鈴谷川内淵川の流域で本島第一の生産地帯である。海岸は単調で弧状をなし、北は多來加灣、南に亞庭灣がある。島嶼は少く西方に海馬島、東方に海豹島がある。沿岸には寒暖二海流が流れ水産業を發達せしめてゐる。



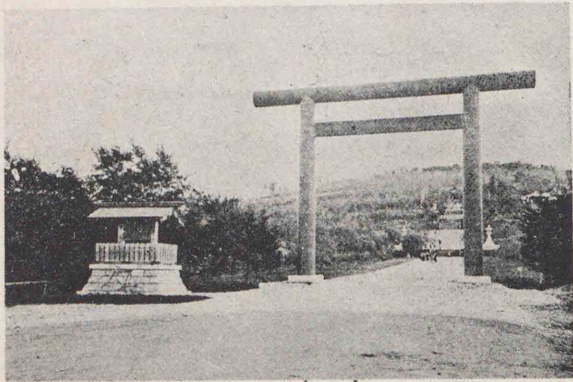
樺太の地勢

冬季は酷寒で農耕は不能となり南西海岸以外は概ね海面も結氷する。住民 領有當時約一萬であつた人口は、増加して四十二萬となつた。然し人口密度は極めて粗である。住民の大部分は内地人で奥羽北海道

氣候 北方的位

置と樺太寒流の影響とて寒冷である。夏季は日照時間は長い。短期間で近海には海霧が多い。

樺太神社(豊原市)



橇

海豹島

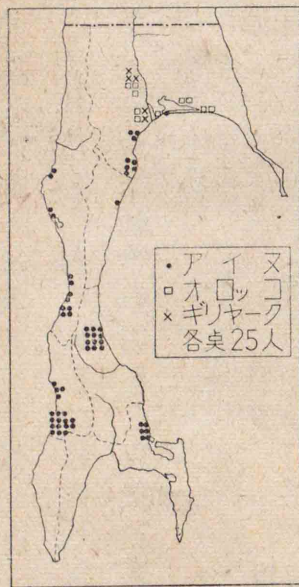




最も早く興つた。現在は林業及び附隨工業が主要産業で、國産パルプ・洋紙の主産地である。農業は氣候の關係で振はず、南部の低地及び海岸に少し行はれるのみである。耕地は全部畑地で、冷涼



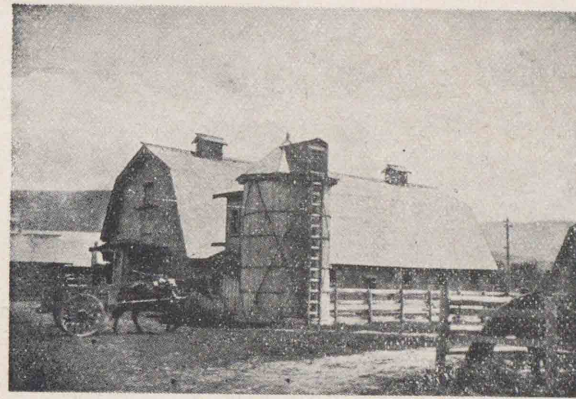
ギリヤークの女



土人の分布

産業 樺太の産業は水産業が

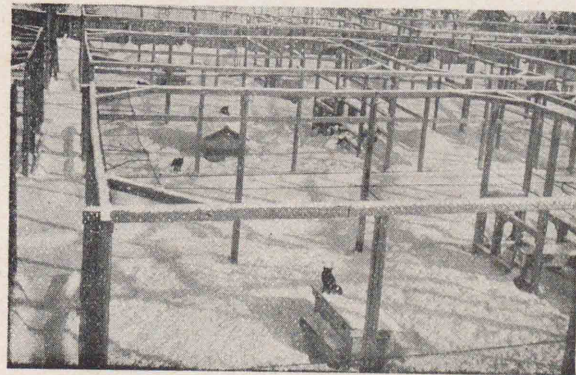
よりの入移民が多い。漁期には移民が沿岸地方に來集し、人口の季節的變動が著しい。土人はアイヌ・オロツコ・ニクブン等で、外に少數の朝鮮人・外人も居住してゐる。



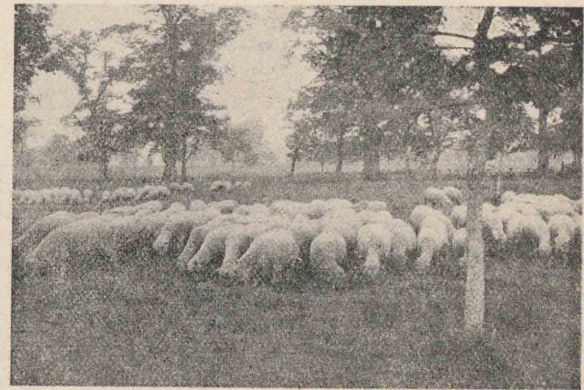
緬羊牧舎(小沼)



蟹の漁獲



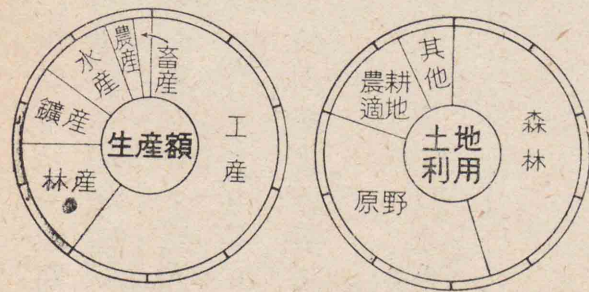
養狐場(大泊)



樺太の緬羊

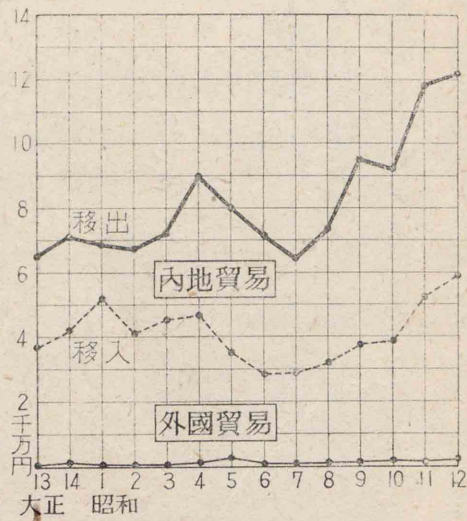
採掘は盛んでない。水産は鯨を第一とし鱒・鮭・鱈・蟹・昆布等の寒海性の漁類が多い。貿易は主に内地との間に行はれ大泊・真岡は開港場である。

作物の燕麥・馬鈴薯・大豆・蕎麥等を産する。米の産はなく住民の食料の大部分は内地から移入する。牧畜は緬羊の飼養と養狐が著れる。森林は本島の重要財源でパルプ及び製紙の原料木として利用され、主要都邑にはその工場がある。石炭の埋蔵は多いが、多く封鎖炭田で未だ



樺太地方の生産額と土地利用 (昭和12年3億圓)

ある。敷香・知取・恵須取・落合・野田・泊居等は、バルブ工業で発展し、真岡・本斗は漁港と冬季の門戸として発展し、塔路は新興の炭坑都市である。



交通 交通は一般に不便である。冬季は樺が重要交通機關となる。鐵道は樺太廳經營の東海岸線・西海岸線・豊眞線等がある。航路は南部の諸港と内地の諸港とを連絡するが結氷・流水・濃霧等の障害がある。

處誌 亞庭灣の大泊は本島の門戸、鈴谷平野の豊原市は本島開發の中心地である。

第二章 北海道地方

北海道本島と千島列島とより成る。冷涼地域の新開發地で明治維新

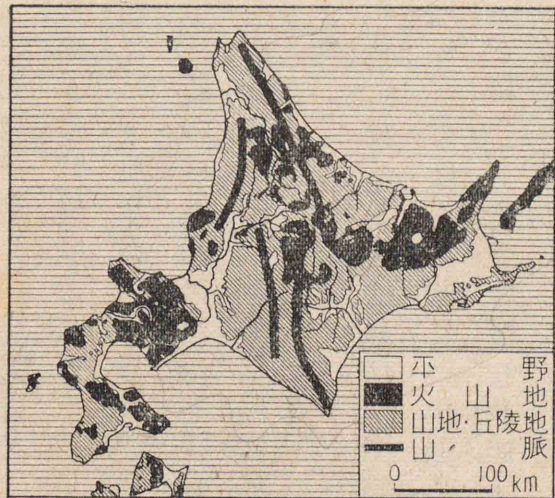
| 行政區劃 |      |
|------|------|
| 支應名  | 所在地  |
| 宗谷   | 稚内町  |
| 網走   | 網走町  |
| 根室   | 根室町  |
| 釧路   | 釧路市  |
| 日高   | 浦河町  |
| 十勝   | 帯広市  |
| 上川   | 旭川市  |
| 留萌   | 留萌町  |
| 空知   | 岩見沢町 |
| 石狩   | 札幌市  |
| 釧路   | 札幌市  |
| 後志   | 倶知安町 |
| 渡島   | 函館市  |

る。 軀幹部は蝦夷山系と千島火山脈とが丁字形に交り、其の會合點は道内の最高部をなしてゐる。 山地は森林

以後急に開拓され、尙未開拓地も多い。 北海道廳の下に北支廳が、南支廳が、東支廳が、西支廳があつて、之を治めてゐる。

位置 北海道本島は樺太と本州との間に位し、千島列島は其の北東に連なりソヴィエツト領カムチャツカ半島に迫つてゐる。

地勢 北海道本島は地勢上軀幹部と半島部に分たれ



北海道の地勢



駒ヶ岳

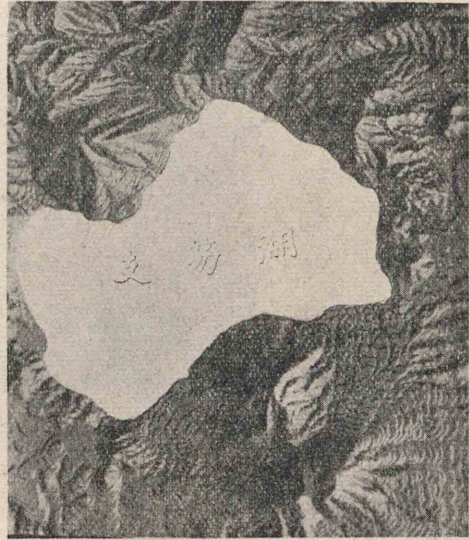
高さ一一四〇米の活火山で屢活動し、最近昭和四年に大噴火があつた。 山頂には東に開いた半月形の火口があり、南麓に大沼の湖がある。



真駒内牧場の牧舎

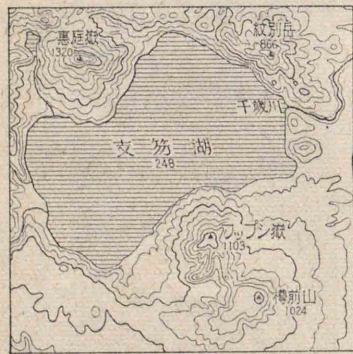
湖沼・温泉が多い。海岸は一般に單調で大きい弧状を描く。

氣候 一般に寒冷で生物・樹木の種類も樺太に類似し、我が國の寒地性氣候を代表してゐる。東岸は寒流の影響を受けて、暖流の通

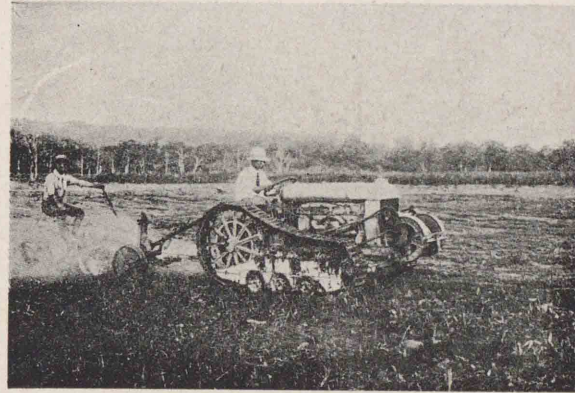


支笏湖附近の模型

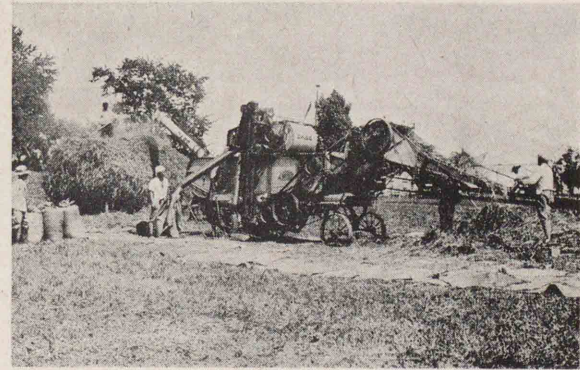
繁茂し鑛物の埋藏も多いが交通を妨げる。蝦夷山系中の縦谷盆地列は本島の重要な農耕地である。河川は何れもこの丁字形の分水山地に發し放射狀に流れる。河川流域の諸平野は農牧に利用される。半島部は山勝ちで那須火山脈に屬する火山。



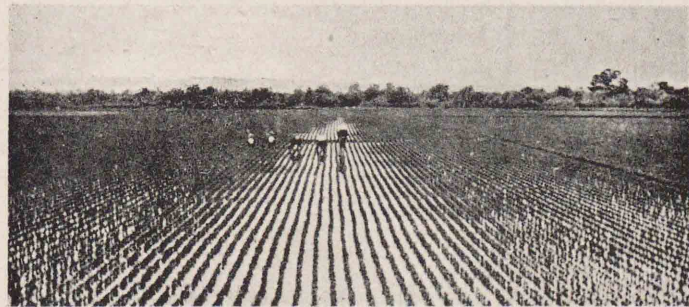
支笏湖と樽前山  
(上圖と對照せよ)



原野の開墾



スレツシヤ麥落(眞駒内)



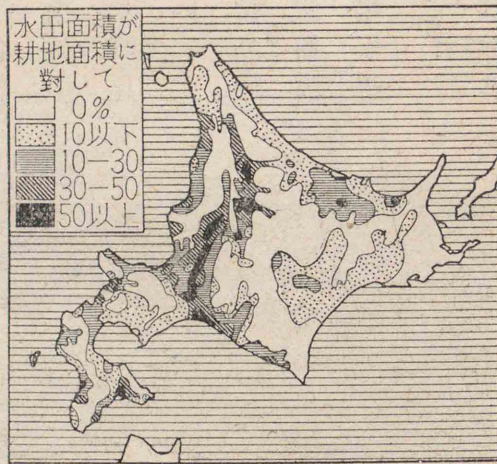
米田



北海道の稲の直播

産業 明治維新以來住民の努力により産業次第に發達し、農業・水産業・工業を主業とする。農業は洋式の長所を採り

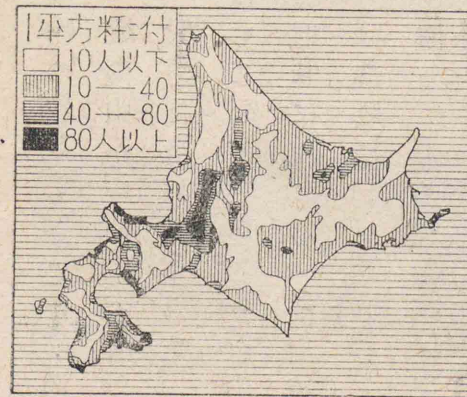
大農法で、耕地は整然と區劃されてゐる。耕地は全土の約一割を占め過半は畑地である。農作物は寒地性の特色を有し、豆類・麥類・馬鈴薯・薄荷・除蟲菊・甜菜等の畑作物が多い。米は品種の改良によつて殆んど全道に栽培され自給の域に達してゐる。



黙々として働く移民

住民 大部分は内地人で本道の開發に努力してゐる。原住民のアイヌ人は次第に減じて今は僅かに一萬六千に過ぎない。

る西岸よりは溫度稍低く雨量も少い。内 部は大陸性氣候で、夏季の農作には却つて好都合である。



北海道の人口密度



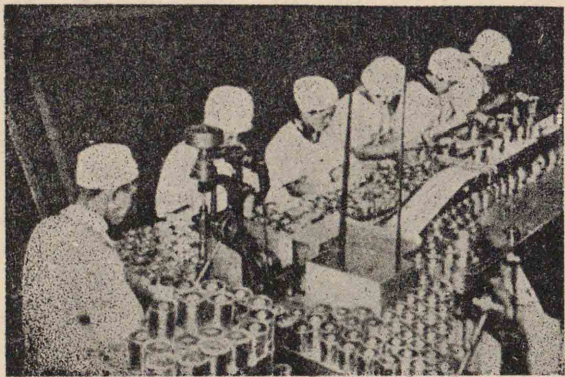
アイヌ人

支障を起すことが多い。  
處誌 半島部は古くから開けた處で函館  
小樽・室蘭の三港市がある。函館市は本島の

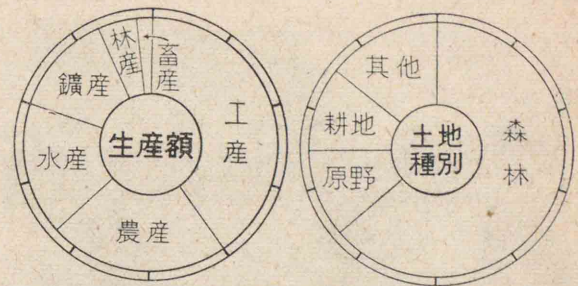


選出の子の數

としてゐる。鐵道は函館本線・室蘭本  
線・宗谷本線・根室本線・名寄本線・網走本  
線等を幹線とする。冬季は橇の利用  
が多い。  
海運は良  
港に乏し  
く、冬季は  
風波荒く  
且つ、結氷  
等の爲に



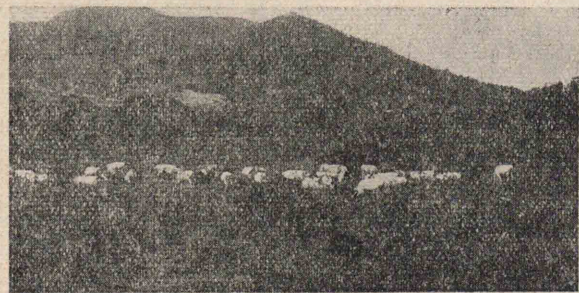
煉乳の製造(札幌市)



北海道の生産額と土地利用  
昭和十一年、7億圓

の製造が盛んである。  
盛で室蘭・釧路・根室・留萌と共に開港場である。  
交通 道路は一般に廣く市街地の街路は井然

牧畜は盛んで馬を主とし乳牛・綿羊も多い。森  
林地は本島面積の過半を占め、バルブ材・建築材等  
に利用される。鑛産は石狩炭田の石炭を主とし、  
静狩轟・鴻舞・珊瑚の金銀、硫  
黄山・幌別の硫黄等は名高  
い。近海は世界屈指の漁  
場で、水産は鮭・鱒・烏賊・昆  
布・鱈・蟹等の産が多い。工  
業は洋紙・鐵及び鐵製品・罐  
詰乳製品・砂糖・清酒・澱粉等  
輸移出入は函館・小樽が最



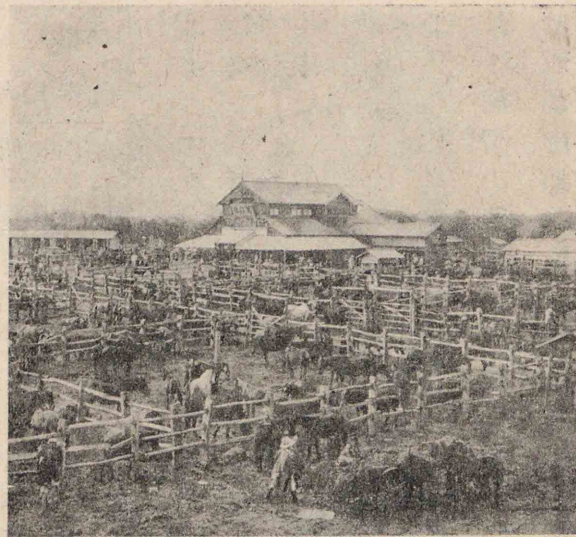
真駒内種畜場

位置

本州の北東部を占め東北地方とも呼ばれる。

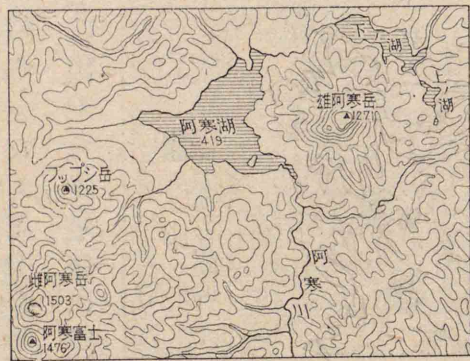
古の陸奥出羽の

第三章 奥羽地方

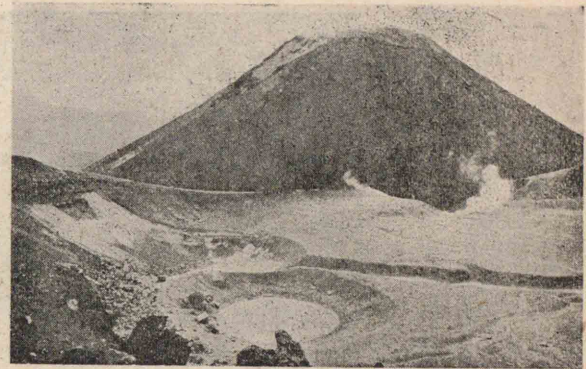


大樂毛の馬市

網走は漁港で野付牛は農産物の集散地である。千島列島は三十餘の火山島より成り、近海は漁獲が多い。米蘇領に近く交通上重要な地である。



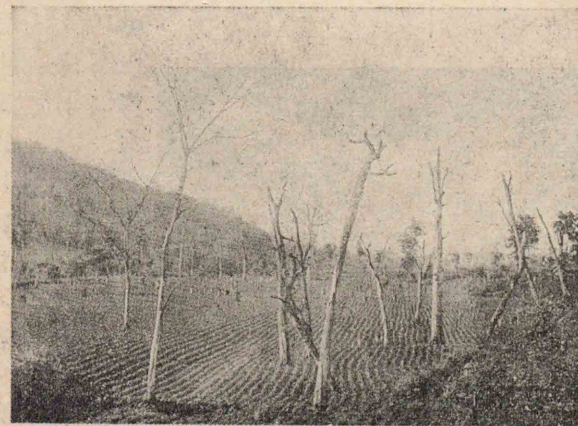
阿寒岳附近



阿寒国立公園

は未開地が多い。旭川市は上川盆地、帯廣市は十勝平野の中心地である。釧路市と根室とは共に開港場で漁業根據地である。

門戸で、小樽市と共に漁業根據地で製罐罐詰工業が行はれる。室蘭市は石炭を積出し製鋼製鐵が盛んである。石狩平野は本島開拓の中心地である。札幌市は其の中心をなし、岩見澤は交通の要地である。石狩炭田には炭坑聚落が發達してゐる。樞幹部

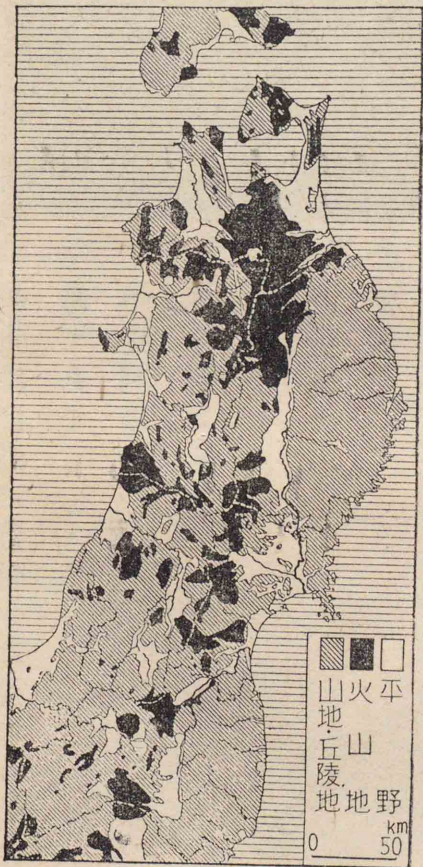


十勝の開墾地

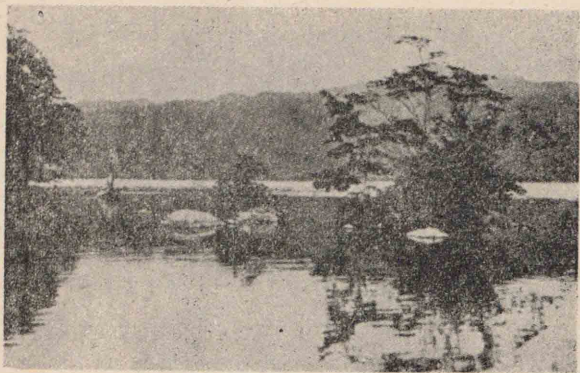
|        |        |     |     |
|--------|--------|-----|-----|
| 福山秋宮岩青 | 福山秋宮岩青 | 縣名  | 縣名  |
| 島形田城手森 | 島形田城手森 | 所在地 | 所在地 |
| 福山秋宮岩青 | 福山秋宮岩青 | 縣名  | 縣名  |
| 島形田城手森 | 島形田城手森 | 所在地 | 所在地 |

鳥海火山脈との合成で、南方に高く、中央山地との間には盆地列を作る。米代・雄物・最上・阿賀の諸川は西部山地を横

地で開拓が遅れてゐるので東北振興策が施されてゐる。  
**地勢** 南北に三條の山脈が走る。中央山脈は奥羽山脈と那須火山脈の合成で分水嶺をなし火山温泉が多い。東部山地は北上山地と阿武隈山地とより成り、高原状をなしてゐる。この兩山地の間は縦谷をなし、馬淵・北上・阿武隈の三川が流れる。西部山地は出羽丘陵・越後山脈と



奥羽の地勢



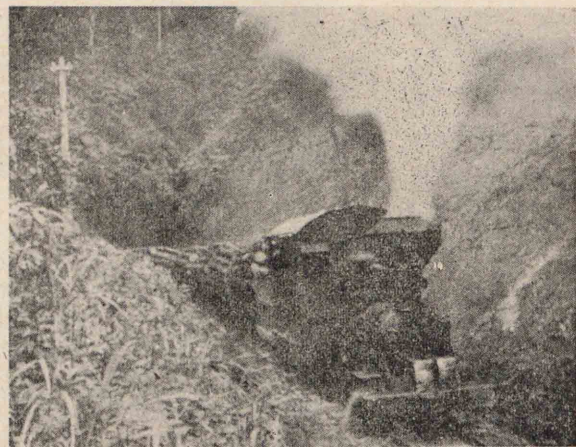
て高温で米作にも良いが時に著しく低温となり農作物に冷害を與へる。

**氣候** 氣温は本州中最も低い。夏季は概し

ぎり下流で海岸の諸平野を作る。是等の山地は鑛産の埋藏多く森林牧場が廣い。盆地及び河谷海岸の諸平野は重要な生産地で主要都邑發達し鐵道も之に沿うて走る。河川湖沼は發電に利用され盆地平野を灌溉してゐる。海岸は北部では津輕・下北の二半島が突出して陸奥灣を抱く。太平洋岸の中央部には牡鹿半島突出し、その北方はリヤス式海岸をなし、その南に仙臺灣がある。日本海岸は男鹿半島が八郎潟を抱く外は殆んど單調で砂濱が多い。此の海岸地形や海流の關係で太平洋岸の方に水産業が盛んである。



城縣に稍多い。工業は北部の製材・罐詰、南部の製絲・製織・鑛山地方の精鍊・精油及びセメント工業以外は概ね小規模の家内工業である。



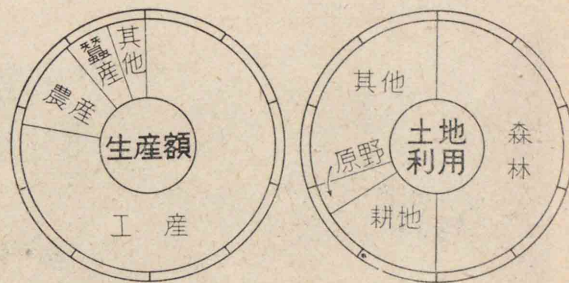
林用軌道(青森縣)

畜牧は馬の飼養を主とする。森林は北西部の杉・羅漢・柏等が著はれ、木炭は東部に多く内地第一の生産である。鑛産は銅・金・銀・石油・石炭・鐵鑛等の産が多い。漁業は太平洋岸に盛んで、水産製造物は宮



三春駒の放牧

粟等は雨量多く畑地の廣い東部に多く産する。また養蠶は氣候の關係で南部に行はれてゐる。



奥羽地方の生産額と土地利用  
昭和十一年8.5億圓

冬季は日本海斜面に積雪が多い。住民 開發が後れてゐる爲、人口密度は本州中最も粗である。然し河谷・海岸平野及び盆地は比較的人口稠密である。福島・山形の二縣は海外への出稼人が多い。

産業 一般に振はないが

農業は主産業である。米作は氣温の高い西部に發達してゐる。麥類・豆類・馬鈴薯・稗



奥羽の耕地面積と田畑の割合

奥羽地方主要牧馬地域(黒色)



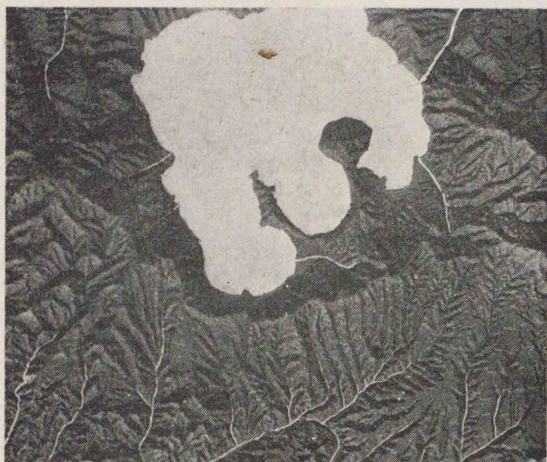
由してゐる。

交通 主要陸上交通線は地勢の影響を受け主に南北に縦貫する。東北本線・奥羽本線常磐線羽越本線は縦貫線で略古來の街道に沿ふ。横斷線は花輪・横黒・陸羽・仙山・磐越等の諸線で、中央山地の横谷を利用して東西を連絡してゐる。しかも鐵道網は本州中最も粗である。日本海斜面は冬季

國內商業は概ね東京の商圏内に屬し活潑な經濟都市は少い。開港場は青森・船川港・釜石・鹽釜・八戸の五港あるが外國貿易は主に横濱を經



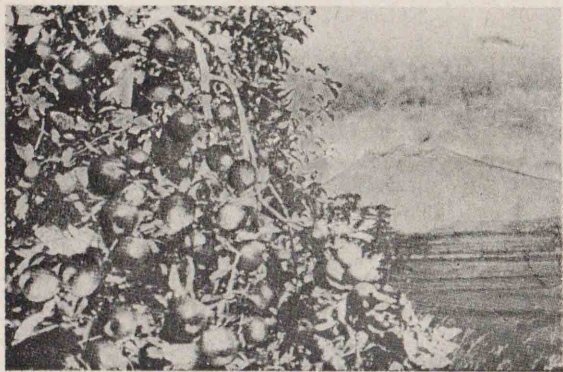
伐木景觀(青森縣)



十和田湖(模型地圖)



盛岡の馬市

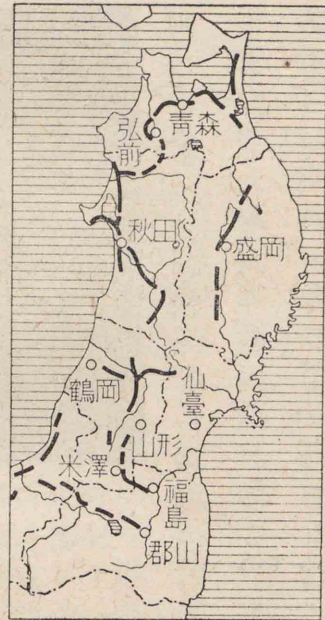


岩木山と苹果

處誌

がある。海上交通は一般に不振である。青森函館間には鐵道連絡船が通ふ。定期航空路は東京から札幌に通ずるが目下休航中である

**青森縣** 本州の最北縣で、北海道に渡る交通の要地をなし、苹果の産は名高い。東部平野は牧馬が盛んで、七戸・三本木等は其の中心地であ

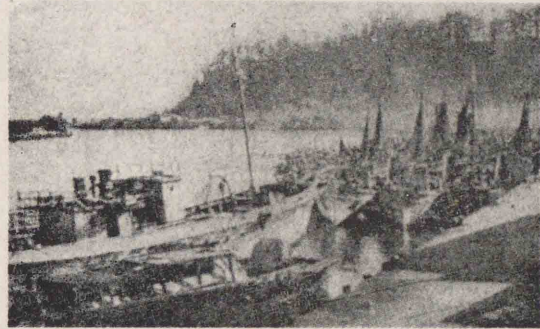


奥羽地方鐵道  
防雪林分布

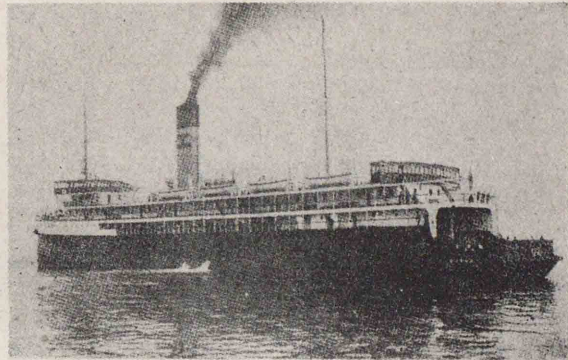
積雪多く、鐵道には處々に防雪柵・防雪林・雪除隧道を設けてゐるが、被害を受けること



鐵道防雪林



石巻漁港

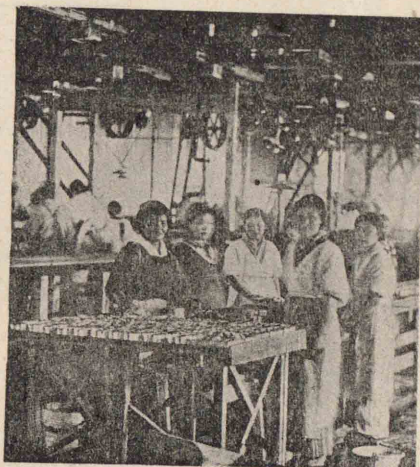


青函連絡船



櫻桃

る。八戸市は開港場で水産物を集散し、セメント・精錬工業も行はれる。中央の青森市は交通の要地で罐詰製造製材が盛んである。八甲田山十和田湖附近は国立公園で名高い。津軽半島の山地は羅漢柏、平野は米、苹果の産が多い。苹果は我が國第一の産額を有し、全國産額の半を占める。弘前市は其の中心都市である。



一部工場魚類を調理する處  
青森の罐詰する處

岩手縣 面積は全國府縣中最大であるが、人口密度は最小である。

岡市花巻一ノ關水澤等の諸都邑が並んでゐる。東海岸はリアス式で釜石市宮古市大船渡等の漁港がある。釜石市は開港場で釜石鐵山の製鐵所がある。此の兩者の間の北上山地は薪炭、粟稗の産多く、横斷線も通ずる。

西部山地の松尾鑛山は名高い。

### 宮城縣

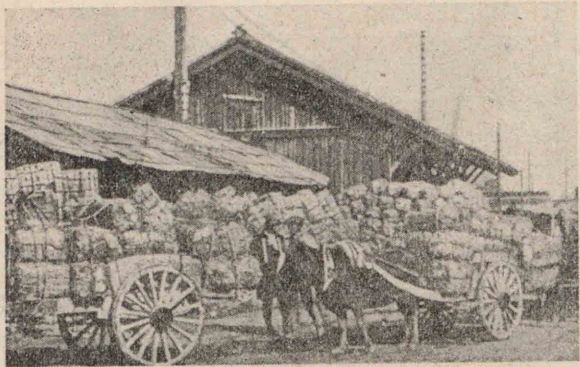
仙臺平野は米の大産地で、白菜の産は著はれる。仙臺市は伊達氏の舊城下町で奥羽第一の大都市である。

市の外港鹽釜は勝地松島に近い。石巻市は北上川口にある漁港である。古川は農産物の集散地で、小牛田は交通の要地である。

東部山地の尖端は牡鹿半島となり、氣仙沼・鮎川等の漁港がある。西部山地には鍛冶屋澤牧場・細倉鑛山等がある。

秋田縣 銅・金・銀・石油等の鑛産と米・杉材の産が著はれる。米代川流域は小坂を始め鑛山多く、銅・金・銀の産が多い。また杉材の産に富み、雄物川流域の横手盆地は米の産多く秋

代市大館は其の集散地である。



白菜の積出



秋田 農家の女と 蕎麦

田平野附近の石油の産出は著名である。秋田市は縣の中心都市で、外港土崎港は製油が行はれる。男鹿半島は陸繋島で船川港は開港場である。

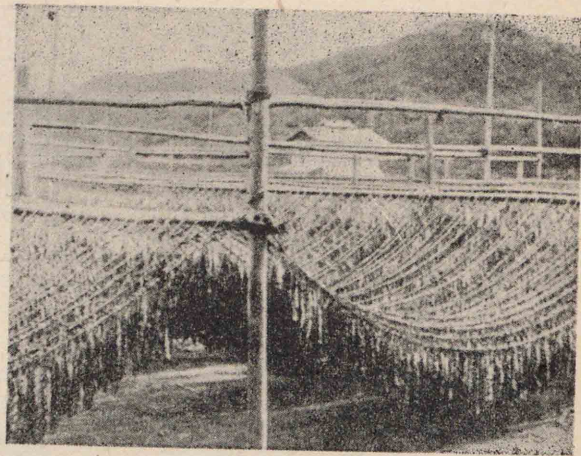
桃の特産がある。米澤・山形・新庄の諸盆地は養蠶と米作が行はれる。米

澤市は絹織業。山形市は櫻桃の産で名高い。庄内平野は米産多く、酒田市・鶴岡市は其の中心都市で、酒田市は新興工業都市でもある。

福島縣 面積廣く産業發達し、櫻桃・馬・綿羊の産は著名である。阿武隈山地は耕地開け牧馬



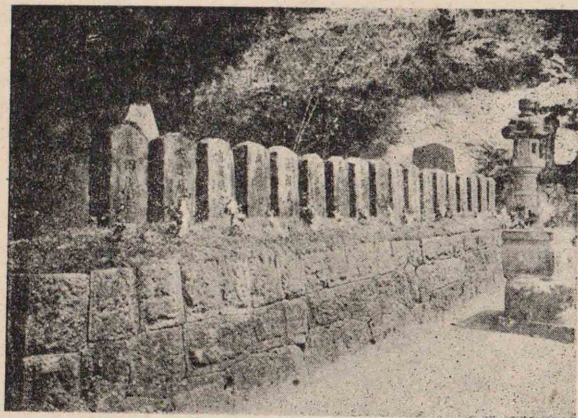
櫻桃主要産地



葉煙草の聯干(福島縣)

交通の要地で工業が著名である。白河は本地方の門戸で馬市が立つ。會津盆地の中心若松市は明治維新の戦蹟で名高い。

も行はれてゐる。常磐線の通ずる東海岸平野には小都市が並ぶ。平市は常磐炭田の中心都市である。阿武隈川流域は縣の主要地域である。福島市は生絲・繭の取引多く、郡山市は



白虎隊の墓

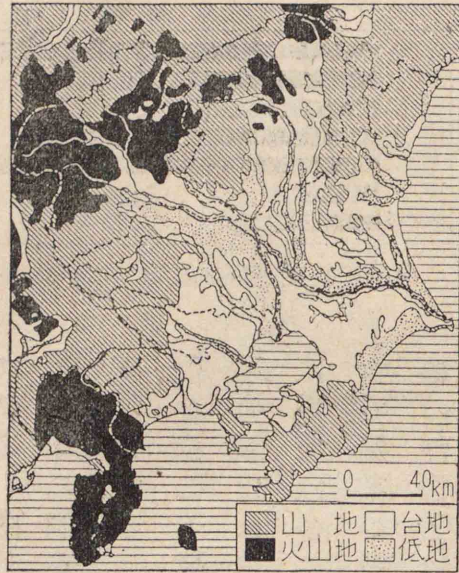
### 第四章 關東地方

**位置** 古の關八州の地で本州の中央部に位し、我が國の政治文化の中心地である。

| 行政區劃 |      |
|------|------|
| 府縣名  | 府縣廳  |
| 茨城   | 水戸市  |
| 栃木   | 宇都宮市 |
| 群馬   | 前橋市  |
| 埼玉   | 浦和市  |
| 千葉   | 千葉市  |
| 東京   | 東京市  |
| 神奈川  | 横浜市  |

**地勢** 北部と西部には帝釋三國・關東等の山脈が走り、自然・人文の障壁をなしてゐる。那須・富士等の火山脈地域には火山温泉多く觀光休養地として利用される。關東平野は本地方の大部分を占め、臺地と低地とより成る波狀地である。臺地は畑地・原野・牧場・軍用地等に、低地は河岸に沿うて樹枝狀に發達し米田に利用される。主要河川は何れも略南東流し、上流は發電、中流以下は灌溉運輸、飲料水等に利用される。海岸は一般に弧狀の砂濱海岸であるが、房總三浦の二半島は岩石海岸多く東京灣を抱く。

**氣候** 位置・地勢・暖流の關係で氣候溫和である。殊に南部の海岸地方は溫暖で休養地が多い。北西部山地は稍内陸性であるが、豆南諸島の南部は亞熱帶性氣候である。

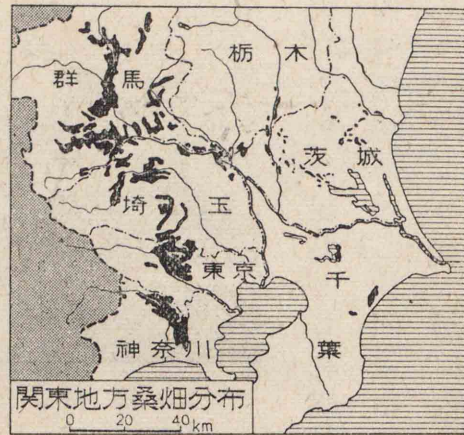


關東地方の地勢

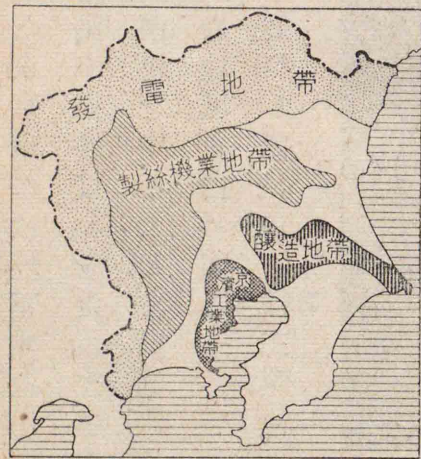
**住民** 關東地方は我が國の政治文化の中心地で各府縣の人口密度は何れも内地の平均人口密度より大である。特に京濱工業地帯と北西部の養蠶機業地帯とは人口稠密で、都市もこの地域に多い。

**産業** 各種の産業が發達してゐる。農業は盛んで米の産は多いが消費量が一層多いので他地方より移入する量も少くない。地勢上、畑は田より多く陸稻・大麥・小麥・甘藷・煙草

葉街道等の古い街道に沿うてゐる。東海道本線は我が國の鐵道中で最も設備よく速度も大で東北本線・山陽本線と共に本州の鐵道幹線をなしてゐる。京濱附近は鐵道も電化され、郊外電車の發達

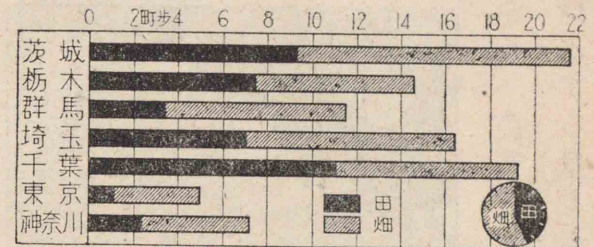


れるのが其の特色である。國內商業は東京を中心とし東北日本をその商圏とする。外國貿易は横濱で行はれる。  
**交通** 陸上交通は東京を中心として放射狀に發達してゐる。東海中央高崎東北常磐總武等の主要鐵道は東海道・甲州街道・中仙道・陸羽街道・陸前濱街道・千



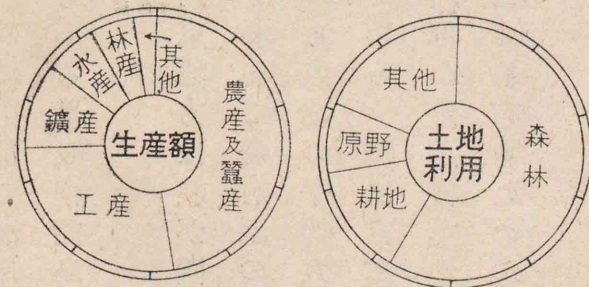
關東地方工業地帯

工業は京濱地帯を主とし、養蠶地帯の製絲・機業、利根川下流附近の釀造業も知られる。京濱工業地帯は化學・食料品・纖維・機械・出版等各種工業の行は

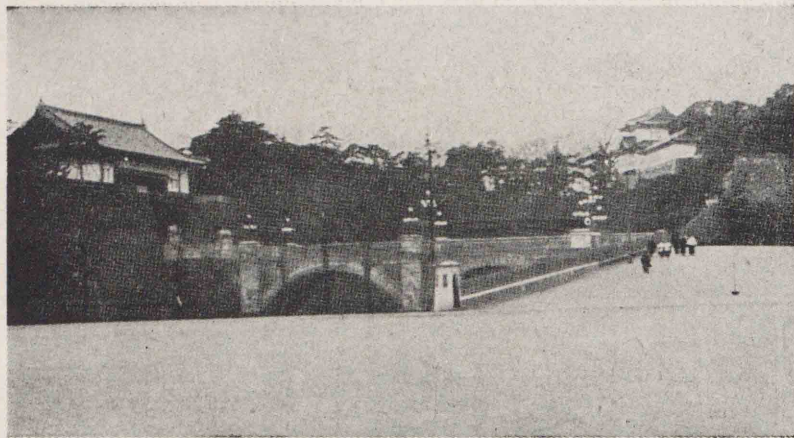


關東地方の耕地面積と田畑の割合

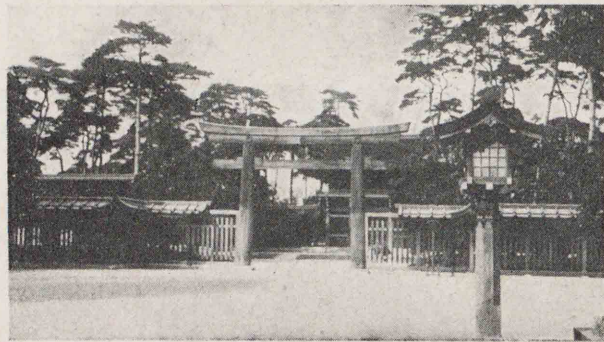
大麻等の畑作物を多く産出する。養蠶は西部北部の山麓に行はれ我が國養蠶最盛地帯の一部をなしてゐる。牧畜は京濱近郊で農家の副業として鶏・豚・乳牛等の飼養が盛んである。鑛産は北部に多く石炭・銅・金・銀を主とし、常磐炭田、日立足尾の鑛山は著はれる。水産は暖流魚多く且つ消費量が大きく、鮭・鱈の沖漁業は著名である。



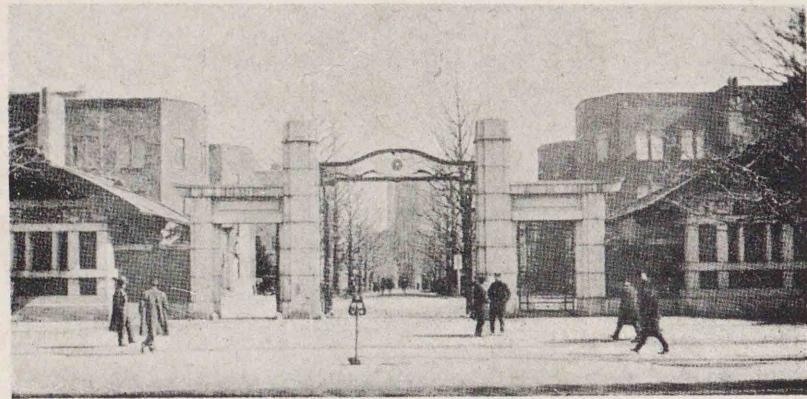
關東地方の生産額と土地利用  
昭和十一年 35.5 億圓



宮 城

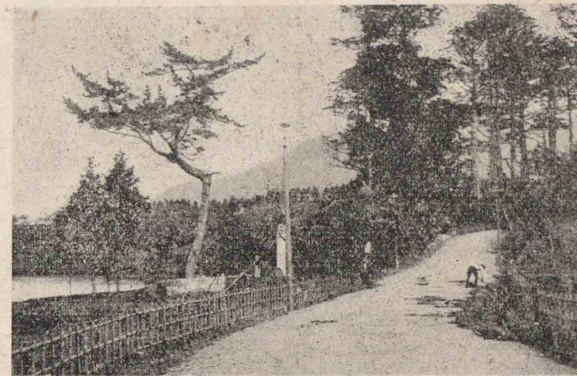


明 治 神 宮



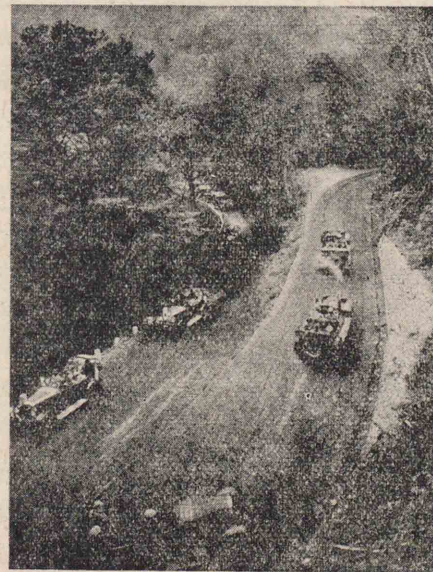
東 京 帝 國 大 學

東京羽田を起點とし札幌・新京・福岡等各地に通じ、横濱は南洋航空路の起點である。無線電信局・國



箱 根 舊 關 所 跡

て榮  
えて  
ある。  
航空  
路は

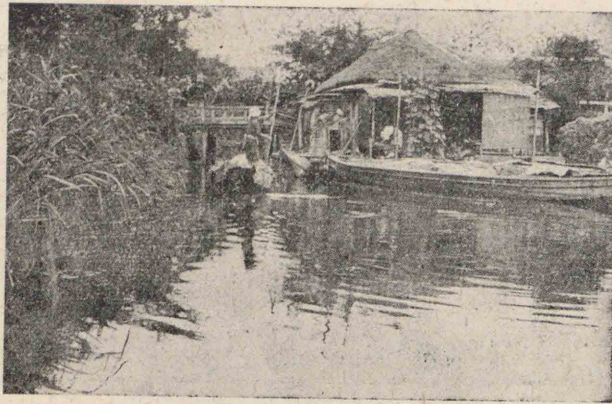


自動車交通(日光馬返よ  
り中禪寺湖へ)

も著しい。また東京市には地下鐵道も開通してゐる。自動車交通は年を追ふて發展する。海運は京濱港を中心とし、舊横濱港・東京港を含む廣大な地域を占めてゐる。京濱運河も漸次工事進行し、鶴見川崎は工業港とし



の湖港で醸酒業が行はれる。利根川沿岸は水郷の景觀で名高い。日光は自然美  
栃木縣 山地廣く、那須鹽原鬼怒川等の温泉は名高い。日光は自然美



水郷の景觀(潮來)

際無線電話局も發達してゐる。

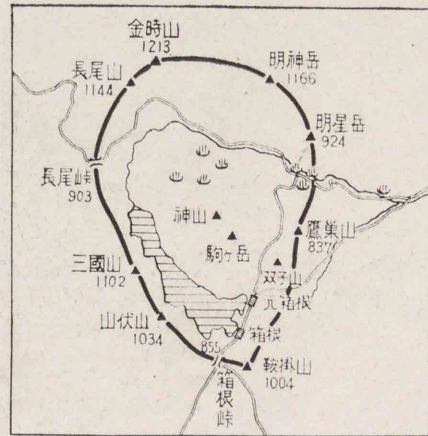
處誌

茨城縣 北部は阿武隈・八溝兩山脈の地域で常磐炭田南部と日立鑛山とは著名である。日立は自鑛山の鑛石の外、各地から集めた鑛石をも製鍊する。日立市は近年工業都市としての發展が著しい。久慈川流域の太田は煙草の集散地で、那珂川に臨む水戸市は舊城下町である。南部は關東平野の一部で臺地廣く畑作は盛んで、特に麥の産額は多い。また豚の飼養は著はれてゐる。土浦市は霞浦

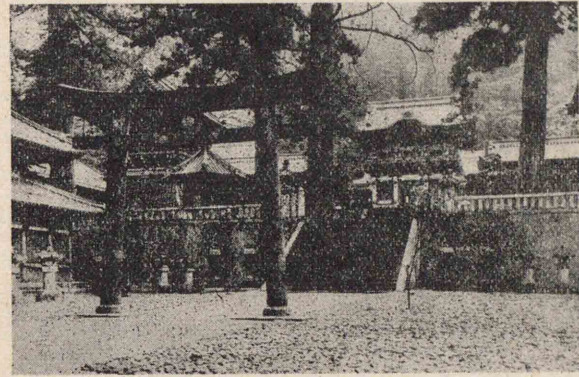


箱根山

上圖は箱根山附近の模型寫真で下圖は其の主要部の名稱を示す。

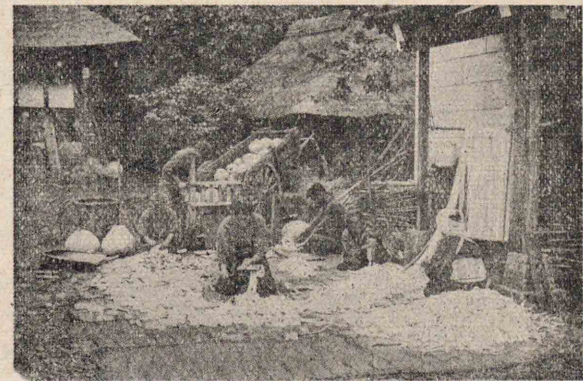


と人工美とを兼備した休養觀光地である。足尾は我が國屈指の銅山で、那須野ヶ原は著名の開墾地である。南部の山麓地帯は養蠶機業に



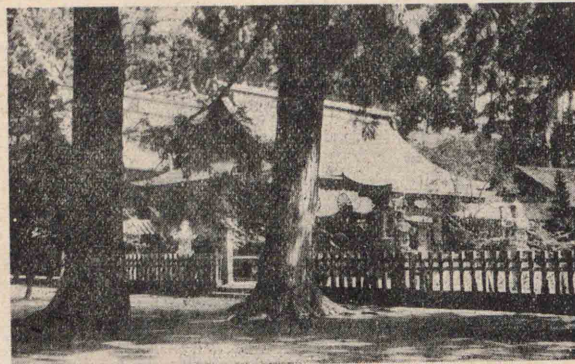
東照宮陽明門

名高く、足利市、栃木市等は其の中心都市である。宇都宮市は縣の中心都市で、鬼怒川以東には煙草、以西には干瓢カンビョウ麻の産が多い。  
**群馬縣** 我が國屈指の養蠶縣で南東部の低地は養蠶製絲機業が盛んである。富岡は製絲業地、高崎市は交通の要地で繭生絲を集



干瓢ひき

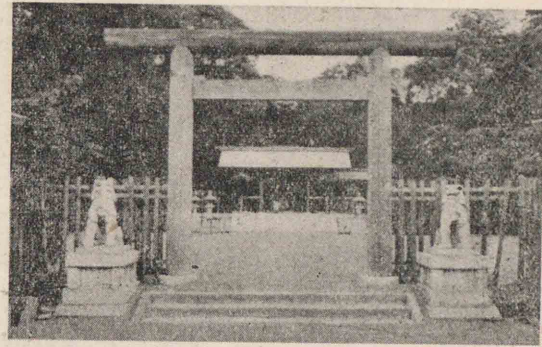
散し、前橋市は繭生絲を取引する。桐生市、伊勢崎市は共に有名な機業都市である。北西部山地は火山温泉多く休養觀光客を呼ぶ。



香取神宮御本殿

**埼玉縣** 西部山地の秩父盆地は養蠶機業が盛んで秩父はその中心地である。山麓臺地も養蠶が盛んで、熊谷市、川越市は其の中心都市である。東部低地は農産が豊かである。浦和市は帝都の郊外住宅地で、川口市は京濱工業地帯の北端に當り鑄物業が盛んである。大宮市は鐵道の分歧點に當る。

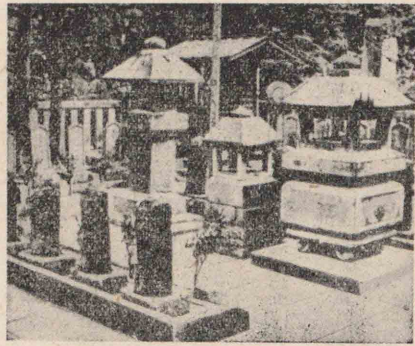
される。利根川、江戸川沿岸低地は水運が便で米作と醸造業が盛んである。下總臺地は心地で、船橋市はその西方にある。下總臺地は森林、原野多く、原野の一部は軍用地、牧場に利用



乃木神社

る。野田と銚子市は醤油、佐原は清酒の産が多い。又銚子は關東第一の漁港、市川市は東京の住宅地として著はれる。九十九里濱の低地は米作と漁業が行はれる。南部は丘陵多いが、乳牛が飼養され、牛乳製品の産が多い。氣候溫暖で房總線が通じてから沿岸地は休養客が年増加する。館山市、木更津、勝浦は漁業及び保養都市である。

東京府 東京市は我が國の政治、軍事、學藝、經濟の大中心地であり、世界屈指の大都市である。地勢上、山ノ手と下町に分れる。宮城は市の中央にあり、帝都の大玄關、東京驛が其の正面にある。附近丸ノ内、霞ヶ關一帶の都心地域は近代的高層建築が多い。下町は商業、工業地域をなし、山ノ手は住宅地域をなしてゐる。山ノ手線は模

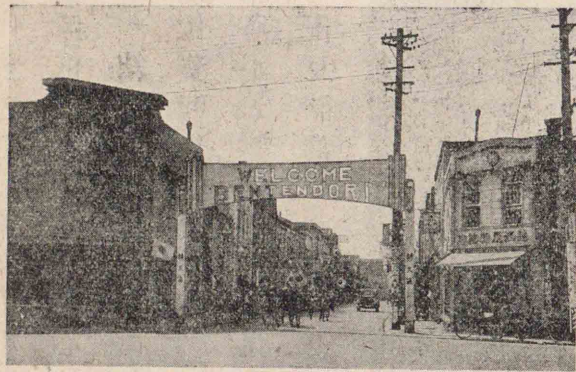


泉岳寺四十七士の墓

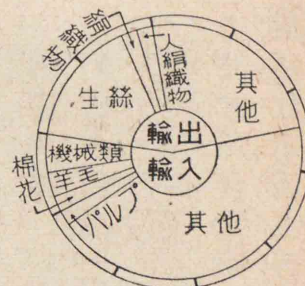
は養蠶が盛んで、八王寺市は絹織業地である。

神奈川縣 横濱市は神戸、大阪と共に我が國三大貿易港の一で、北部の鶴見附近は工業が盛んである。川崎市は其の北に續き工業都市としての近年の發達は目覺しい。三浦半島には横須賀市、浦賀等の都市がある。相模灣沿岸の

式的の環狀線で、東京、上野、新宿等の各驛は西日本、東日本、中部地方への鐵道起點である。また地下鐵道、郊外電車も發達する。近年東京港の發達目覺しく、羽田は空港である。立川市は新興工業都市として名高い。山麓地方



横濱辨天通(貿易商店家屋並ぶ)



横濱の貿易 (昭和十二年)

湘南地方は京濱に對する休養地帯で藤澤市・小田原市等の都邑が並ぶ。平塚市は工業の一中心地で、鎌倉市は観光客が多い。箱根山は標式的の二重式火山で温泉も湧出し休養観光客で賑ふ。

府の管轄で富士火山脈に屬する火山島である。伊豆諸島は主に甘藷を栽培し、乳牛の飼育が盛んである。

近海は漁類多く千葉・静岡等の諸縣よりの出漁者が多い。大島には活火山三原山がある。小笠原諸島は亞熱帶的景觀を呈する。父島の二見港は交通上の要地である。



伊豆大島風俗

第五章 中部地方

**位置** 本州の略中央に位し東日本と西日本との接觸地帯で、此の事は自然・人文によく現はれてゐる。

**地勢** 南嶺・北嶺兩山系の會する處で本州中最も幅廣く且つ高峻である。地勢上、中央高地・北陸低地・東海低地の三區に分れる。中央高地は更に東部山地・中部山地・西部山地に分れる。東部山地は越後・三國・關東の三山脈と那須火山脈とより成る。中部山地は富士火山脈が走り、西部山地は飛騨・木曾・赤石の三山脈と乗鞍火山脈より成る。山地は森林繁茂し、夏季は登山避暑で賑ふ所が多い。山間の低地は桑園多く我が國第一の養蠶製絲地帯をなしてゐる。北陸低地には越後・富山・金澤・福井等、東海低地には濃尾・三河

| 縣名 | 縣廳所在地 |
|----|-------|
| 新潟 | 新潟市   |
| 富山 | 富山市   |
| 石川 | 金澤市   |
| 福井 | 福井市   |
| 長野 | 長野市   |
| 山梨 | 甲府市   |
| 静岡 | 静岡市   |
| 愛知 | 名古屋市  |
| 岐阜 | 岐阜市   |

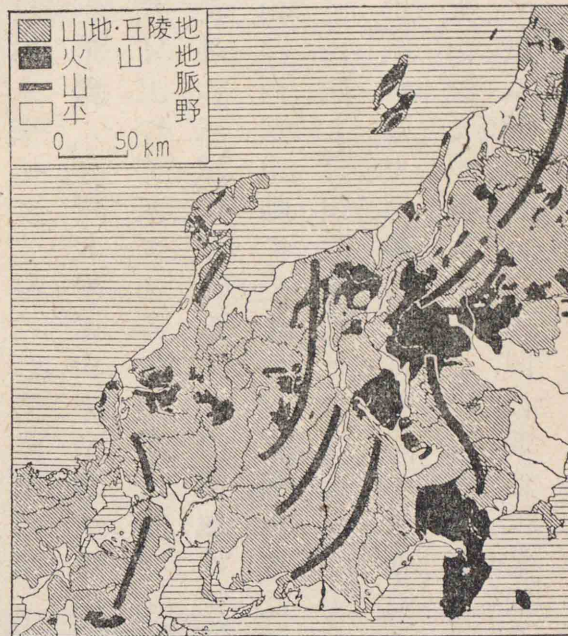


槍ヶ岳



白馬岳の御花畑

しいが、水力発電に大いに利用されてゐる。  
**氣候** 日本海斜面は冬季北西風強く積雪も多  
 いので、交通に障害を與へ麥作に不適である。然



中部地方の地勢

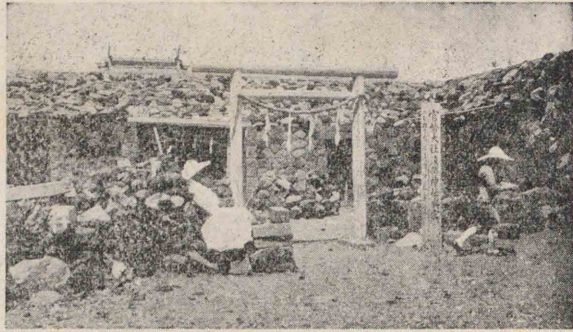
等の諸平野がある。是等の諸  
 平野は農業工業が盛んで、特に  
 東海低地は人口密度も大で交  
 通も極めて便利である。  
 河川は地勢上水運に乏



十國峠より望む国立公園富士

者が多い。

少い。尙北陸地方では他地方に出稼する



富士山表口頂上淺間神社奥社

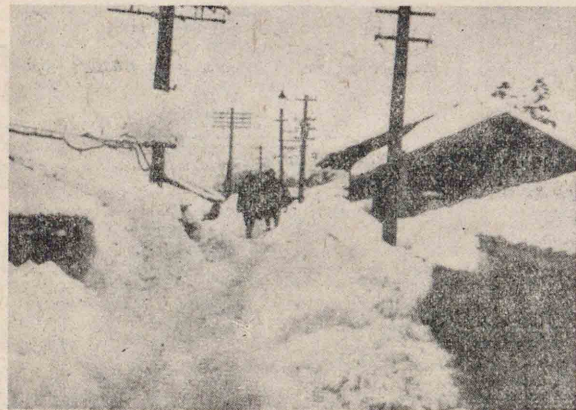
し夏季は高温で米作によい。中央高地は高山性  
で且つ稍内陸性氣候である。太平洋斜面は冬季  
は晴天續くが夏季は南東風吹き雨が多い。然し  
一般に氣候溫暖で  
茶柑橘類も栽培さ  
れる。

住民 人口は東

海低地が最も多く、

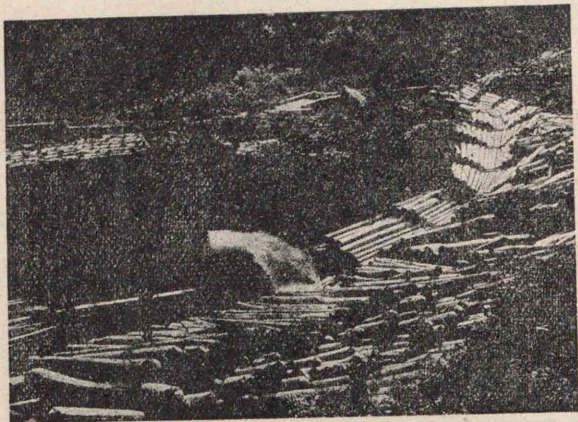
北陸低地は之に次

ぎ、中央高地は最も



北陸の積雪(富山市)

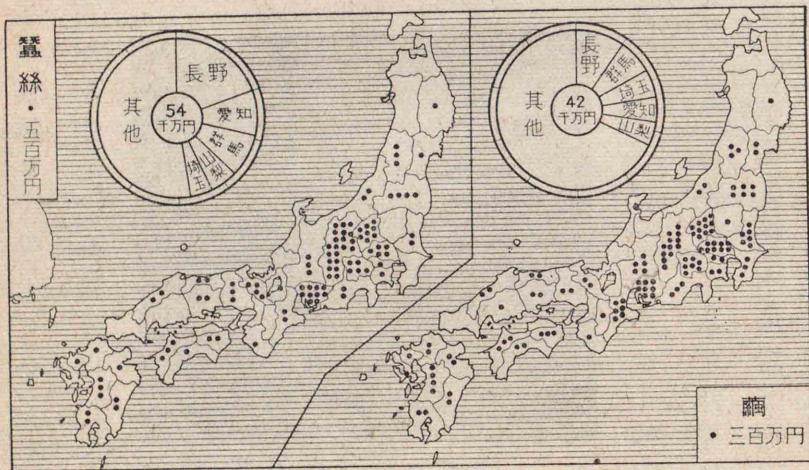
織物は愛知・岐阜・製陶業は愛知・岐阜等の



木材の搬出

工業は本地方の最重要産業で繊維工業は最盛を極める。製絲は長野・愛知、絹織物は人絹織物は福井・石川、毛

山の鉛・亜鉛・銀・土肥・持越の金は名高い。水産も多く駿河・富山の兩灣は名高い漁場である。



内地の蠶絲と繭の産額分布(昭和十二年)

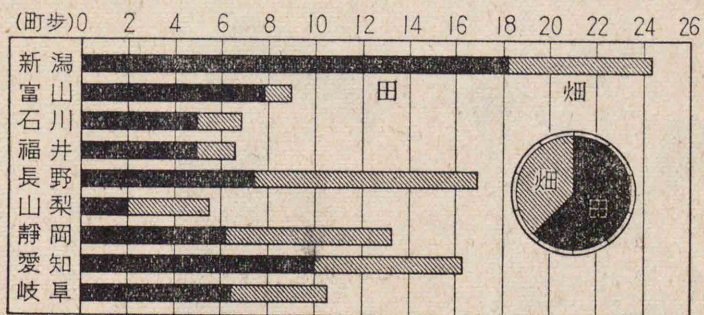


モンペイ姿

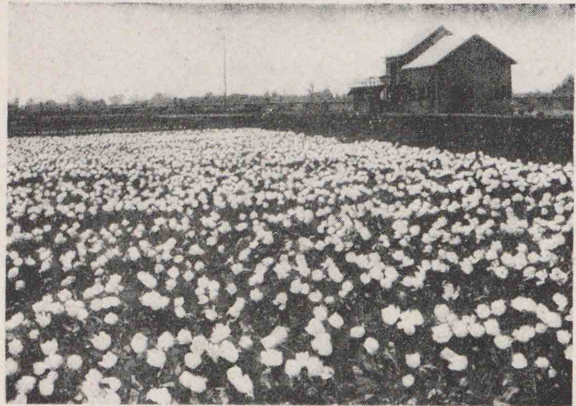
濃尾の平野から多く産出する。又中央高地の苹果・葡萄・櫻桃・東海地方の茶果樹等の栽培は名高い。養蠶は中央高地の諸盆地と濃尾平野の周縁山地とに盛んで桑園が多い。牧畜は愛知縣の養鶏以外は不振である。林業は中央高地を主とし木曾の森林は名高い。鑛産は新潟縣の石油・金・神岡鑛

が、工業・農業・養蠶業は著名である。農産では米が特に著はれ越後・富山

産業 各種産業が発達してゐる



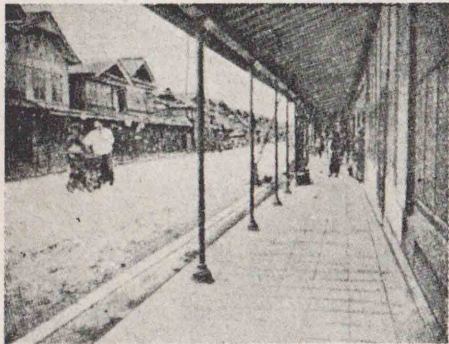
中部地方の耕地面積と田畑の割合



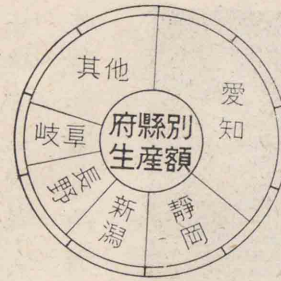
新潟縣の花卉栽培



長岡の大雪

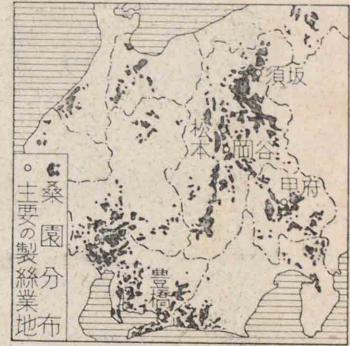


長岡の市街

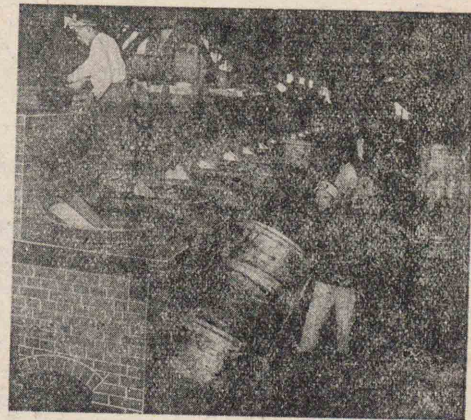


昭和十一年

とし、東は濱松、西は三重縣に及ぶ所謂名古屋工業地帯を形成してゐる。内國商業は東京・大阪の二大商圏に分屬するが、名古屋はこの兩商圏の間に商圏を擴大しつゝある。外國貿易は名古屋が最盛である。この外に、太平洋岸には清水・武豊、日本海岸には新潟・兩津・伏木・東岩瀬・七尾



諸縣に盛んで、何れも我が國の主産地である。又、綿紡績・綿織物は名古屋を中心とし盛んに行はれ、其の産額は近畿地方に次いで我が國第二位である。かくて名古屋を中心

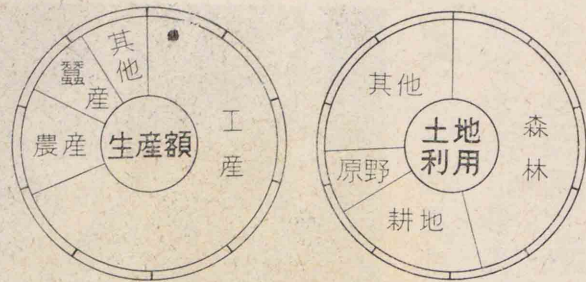


静岡の再製茶工場



處誌

港は著はれ、日本海方面は不振であるが新潟・伏木・敦賀等の諸港は大陸との連絡上重要である。尙空港には名古屋・下田・新潟・富山・長野等がある。



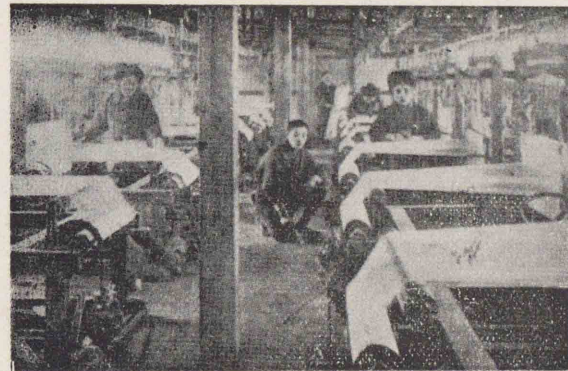
中部地方の生産額と土地利用  
(昭和十一年28億圓餘)

敦賀の開港場がある。日本海岸の諸港は近年滿洲國との貿易で稍活氣を呈してゐる。  
**交通** 鐵道東海道本線・中央本線・北陸本線は各古來の道路の東海道・中仙道・甲州街道・北陸街道に沿うて東西の交通を計つてゐる。南北交通には上越線・信越本線・高山本線等がある。鐵道電車網は名古屋附近が最も密である。北陸地方は冬季積雪多く、種の防雪設備を施してゐるが、往交通の杜絶することがある。

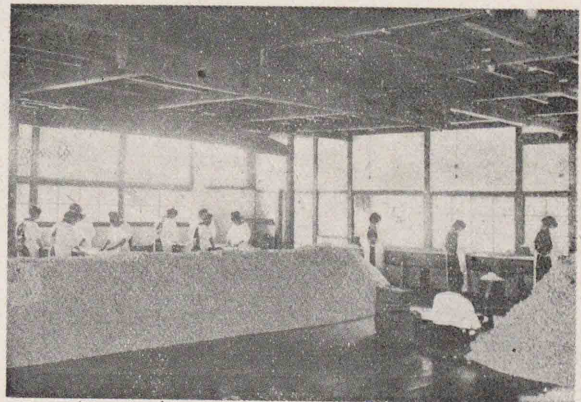
海上交通は太平洋方面に盛で、名古屋・清水等の



立山連峯

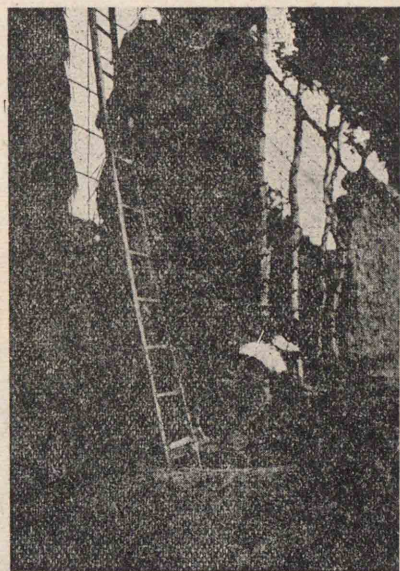


羽二重工場内部

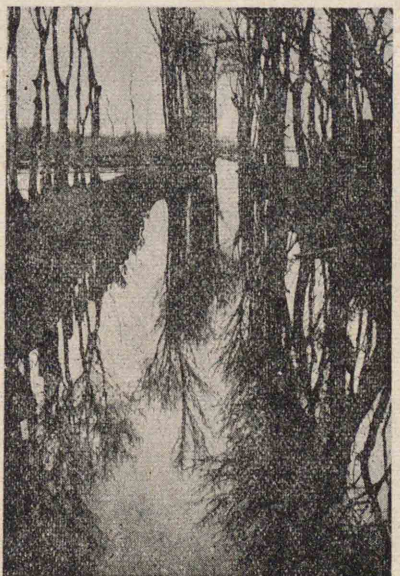


岡谷製絲工場繭選別

新潟縣 越後平野は米の主産地で、新津・大面・東山・西山等の油田は著名である。新潟市は信濃川河口に臨む古い開港場である。附近の砂丘と河畔には梨花が栽培される。長岡市と三條市は商工業都市で、南東の



越後の稻の乾燥



越後平野低地の景觀

山麓には機業都邑が多い。柏崎市は精油業が行はれ、高田平野には高田市がある。妙高山麓の赤倉・關・燕等は温泉とスキーで知られる。佐渡島は氣候溫暖で枇杷・無花果・蜜柑等の果實を産し、北國では珍しい景觀を呈

してゐる。兩津は新潟の避難港で、相川は古い金山である。

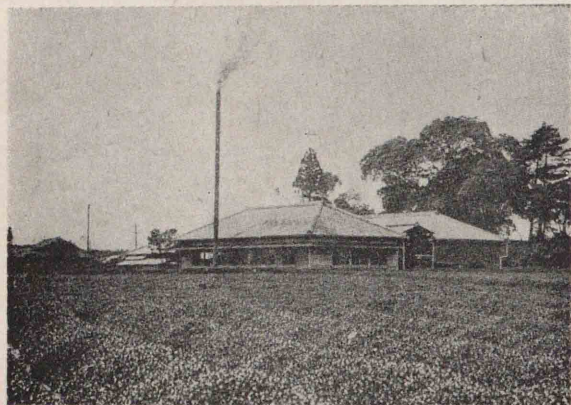
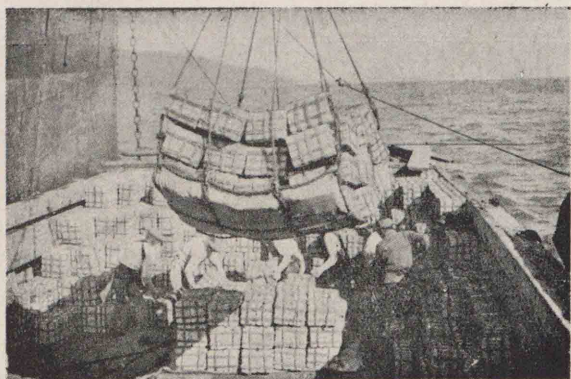
富山縣 富山平野は諸川の複合扇狀地で灌漑水路網よく發達し、米の産出が多い。平野は吳羽丘陵により東西に分される。富山市は東部、高岡市は西部の中心地で富山は賣藥、高岡は銅器・漆器を産する。海岸には漁港多く、山地は發電の發達が著しい。

石川縣 能登半島は臺地性で輪島は漆器を産する。開港場七尾市は半島頸部の邑、知瀉地溝の東端にある。加賀地方の金澤市は前田氏百萬石の舊城下町で、北陸第一の都市である。また小松市・大聖寺附近と共に絹織物・人絹織物・九谷焼の産地である。南部の山中・山代・粟津は温泉地として名高い。



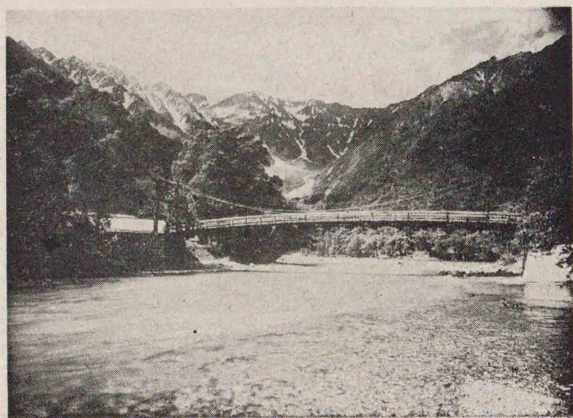
東尋坊

清水港蜜柑積出

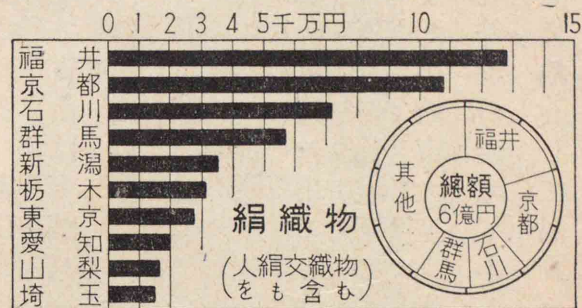


茶畑

上高地



に平と呼ぶ盆地がある。松本市上田市長野市は夫の平の中心都市である。諏訪湖畔には上諏訪市と製



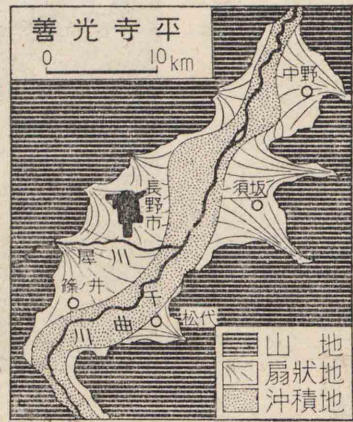
昭和十一年

**福井縣** 福井平野は羽二重人絹織物絹紬等の機業が盛んで福井市はその中心地である。大野勝山は機業地、武生は蚊帳和紙を産する。若狭灣岸はリアス式海岸で、小灣頭には農漁聚落發達し敦賀市・小濱の良港もある。

**長野縣** 我が國第三の大縣で諸盆地には養蠶製絲が盛んである。犀川千曲川流域には所々



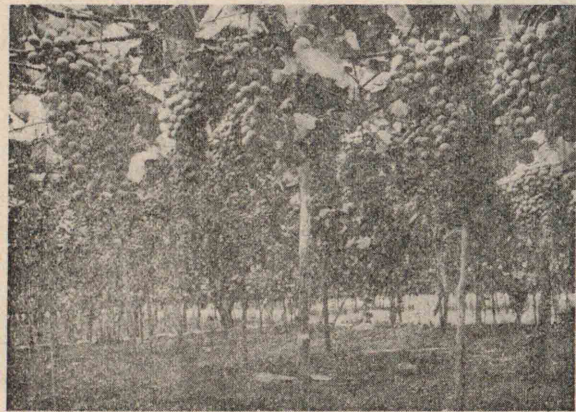
黒部峡谷奥鐘吊橋



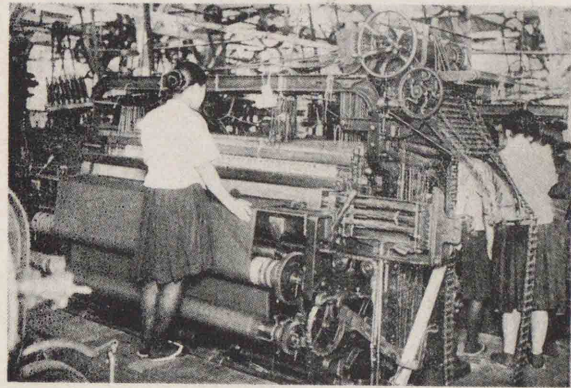
地である。郡内盆地の桂川流域は発電所が多く京濱地方に送電する。谷村はその中心地で甲斐絹の産がある。

静岡縣 伊豆半島は火山温泉等多く、氣候も良好で、熱海市伊東等の休養地が多い。南端の下田港は我が開國史上に名高い漁

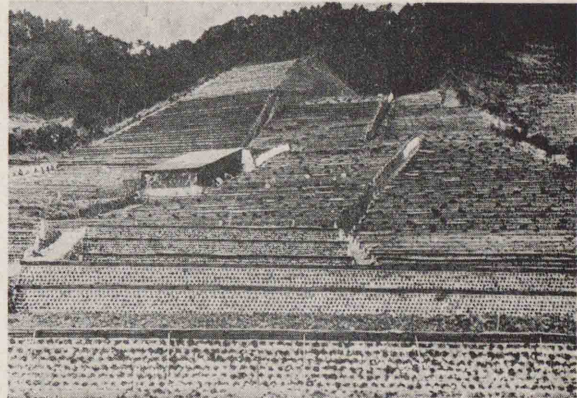
絲業の大中心地岡谷市とがある。木曾谷は美林で著はれ伊那谷には飯田市がある。  
**山梨縣** 甲府市は甲府盆地の中心都市で、葡萄酒水晶細工の産がある。  
**勝山・鹽山**は葡萄栽培の中心



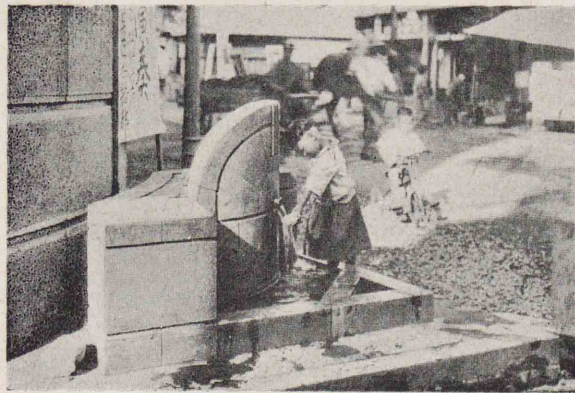
第一位 府縣 第二位 大阪 第三位 山梨 葡萄産額 畑葡萄



名古屋の毛織物工場

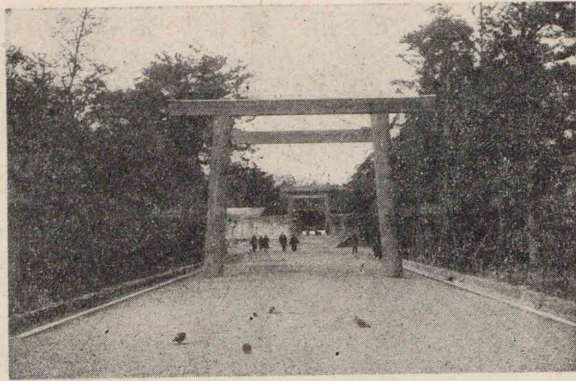


苺の石垣栽培(久能山)



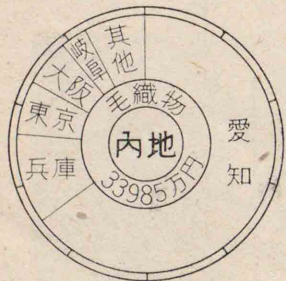
大垣の自噴井(大垣市)

揖斐三川の氾濫原である。岐阜市で絹織物・毛織物の産がある。多治見市は製陶地である。飛騨山地は内地第一の高原で、高山市



官幣大社熱田神宮

域で、養蠶養鶏が盛んである。豊橋市は製絲、岡崎市は綿織物、人造絹絲等を産する。安城附近は多角的農業と養鶏が盛んで、日本のデンマークと稱せられる。濃尾平野の名古屋市は徳川親藩の舊城下町で、中京と呼ばれ、大商工業都市である。一宮市・津島起は毛織物を産し、瀬戸市は我が國第一の製陶地である。知多半島の半田市は醸造地、常滑は土管を産する。



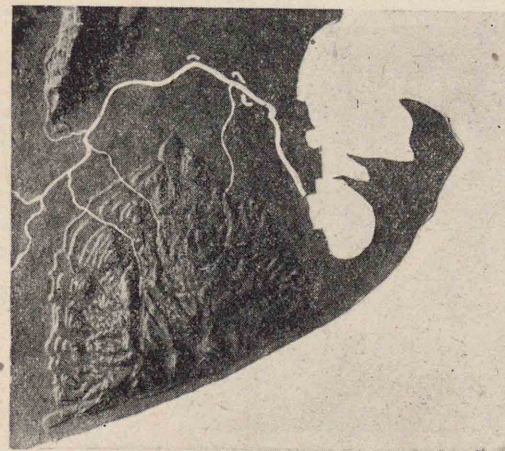
昭和十一年

工業都市で、濱名湖には養鰻業が行はれる。愛知縣 三河平野は豊川・矢作川の流



静岡蜜柑箱詰

港である。三島市は昔の宿場町である。駿河灣岸には沼津市・興津等の景勝地が多い。静岡市は茶の再製及び取引行はれ、清水市は之を輸出する。茶は大井川・安倍川流域、蜜柑・梨・桃は富士川流域に多く産する。焼津は鰹漁業、大宮は製紙業で知られる。濱松市は新興の



三保松原と久能山(模型)

はその中心都市である。

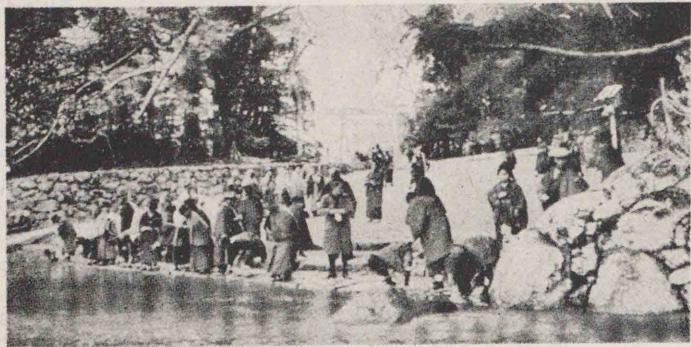
第六章 近畿地方

位置 古への畿内及び附近の地方で、我が國の略中央に位する。我が國で文化の最も早く開けた地方で人口も稠密である。

地勢 本地方は地勢上、北西部山地、中央低地、南部山地の三部に大別される。北西部山地は中國山脈の東部で高原状を呈し、南流する河川は播磨平野を作る。近畿中國の漸移地帯で景觀は中國的色彩を多く有してゐる。中部低地は瀬戸内地溝帯の東端で、地壘山地と地溝盆地とより成る。琵琶湖は我が國最大の湖で、こゝに發源する淀川は京都伊賀兩盆地の水を集め、大阪平野を貫流して大阪灣に注ぐ。是等の低地は農業よく開け、阪神地方は現代日本の商工

| 行政區劃 |        |
|------|--------|
| 府縣名  | 府縣廳所在地 |
| 三重   | 津市     |
| 滋賀   | 大津市    |
| 京都   | 京都市    |
| 奈良   | 奈良市    |
| 和歌山  | 和歌山市   |
| 大阪   | 大阪市    |
| 兵庫   | 神戸市    |

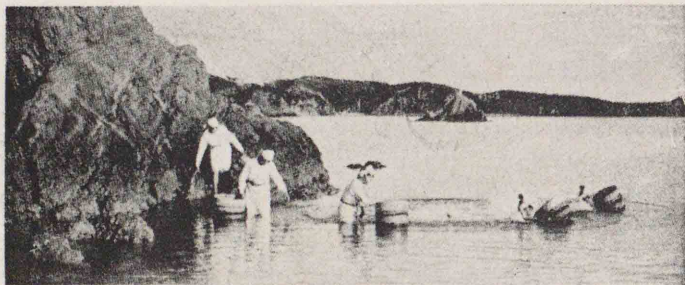
神宮神苑



二見ヶ浦



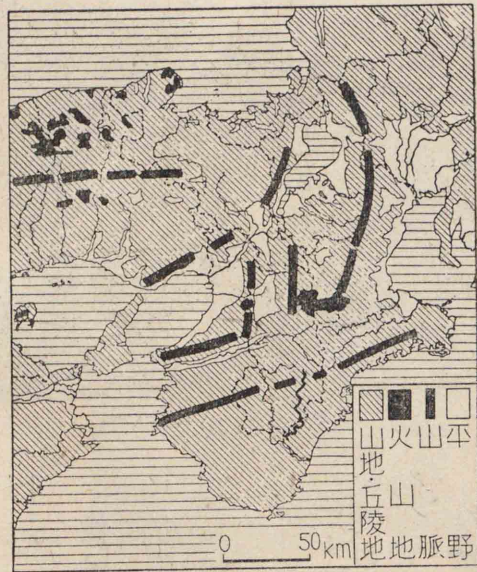
海女



17

17

は孤状の砂濱である。淡路島は大阪湾と播磨灘との間に横はる。  
**氣候** 日本海斜面は裏日本式で冬季積雪が多い。中部低地は稍内陸性で、瀬戸内海沿岸は一般に雨量の少い

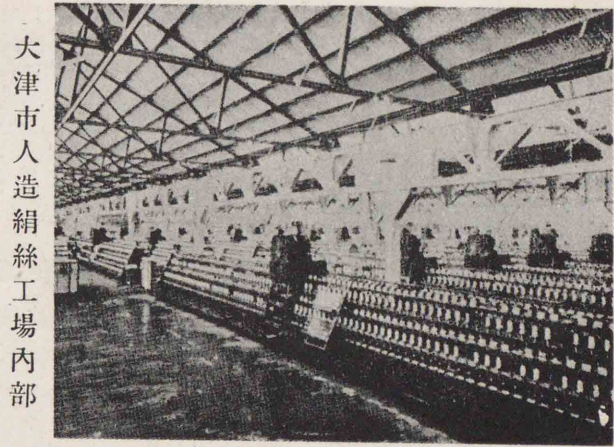


近畿地方の地勢

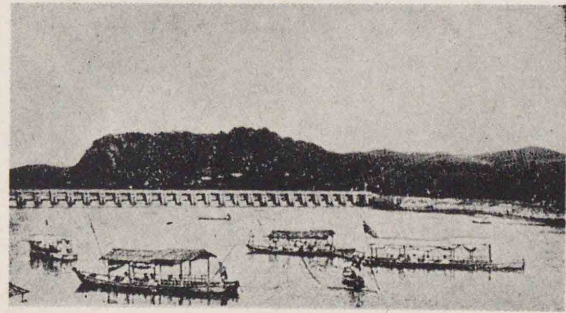


城崎温泉

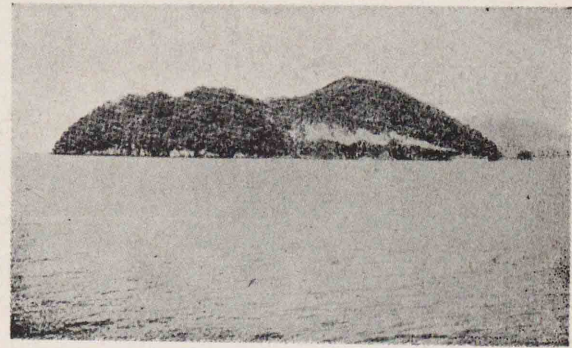
業の最盛地である。南部山地は紀伊山脈の連互する地域である。地勢高峻で北山川・十津川間の山地は特に大和アルプスと呼ばれる。森林よく繁茂するが、交通は不便で人口も少い。  
 沿岸は小出入に富み、岩濱多いが、伊勢海・大阪湾及び播磨灘沿岸



大津市人造絹絲工場内部



南郷洗堰



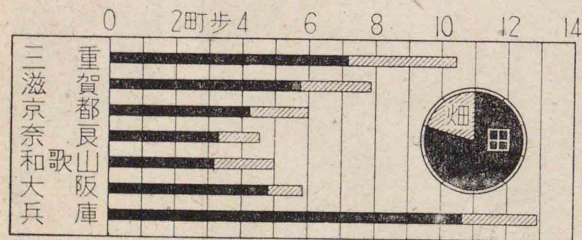
竹生島

端をなしてある。林業は南部山地に盛んで杉・檜の良材を出す。鑛業は他地方に比し不振であるが、生野の銅・金・銀、明延の錫は稍著はれてゐる。水産業は太平洋沿岸に盛んで、鱈・鯉・鰯・鮒等が獲れ、志摩半島では眞珠貝の養殖が行はれる。瀬戸内海沿岸では鯛の漁獲と製鹽とが著はれる。工業は全國第一の最盛地である。



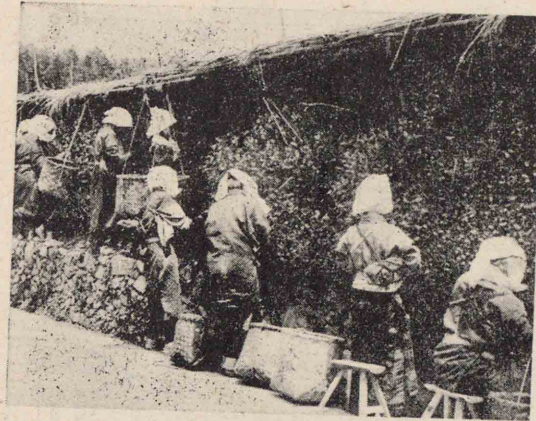
京都の竹藪

業は中部低地に發達し、米・麥・蔬菜の産が多い。この外、京都附近の茶筍、大阪和歌山附近の密柑・葡萄の産も名高い。牧畜は北西部に行はれ、中東牧牛地帯の東



近畿地方の耕地面積と田畑の割合

瀬戸内式である。之がため内海斜面は灌漑地多く、又製鹽も促進された。太平洋斜面は表日本式で、氣温高く、夏季は多雨で亞熱帶性植物さへ繁茂する。



宇治の茶摘景觀

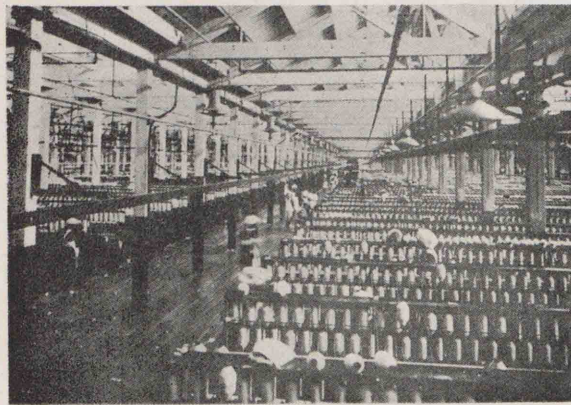
住民

中部低地は古い文化の中心地であり、今は商業も盛んで人口は稠密である。殊に阪神地帯は京濱地方と共に我が國屈指の人口稠密地である。北西部は人口が疎で季節的出稼多く、南部は更に疎で海外移民が多い。農業が最盛で農業は之に次ぐ。農



大原女

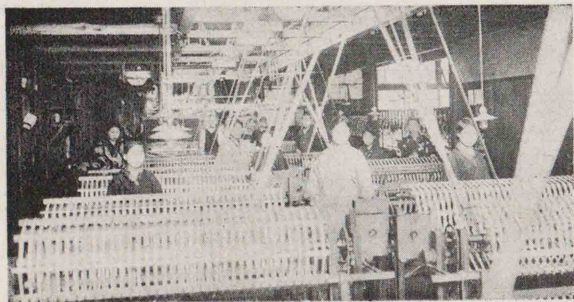




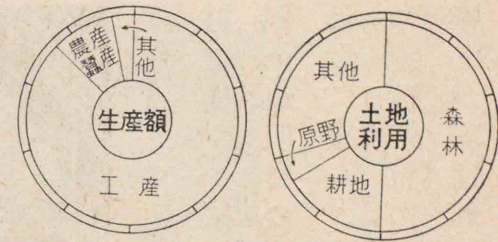
紡績工場内部



清水寺



西陣織工場



近畿地方の生産額と土地利用  
昭和十一年41億圓

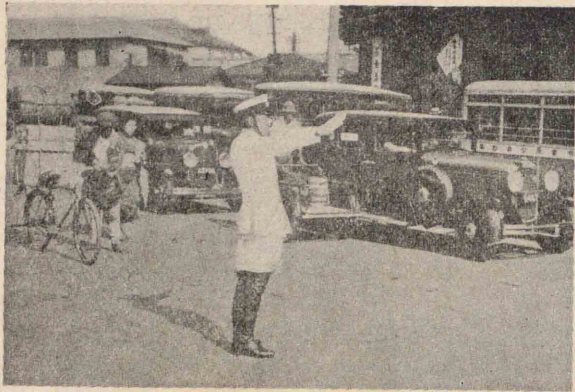
地帯は名古屋工業地帯の一部で綿絲綿織が著はれる。内國商業は大阪を中心とし、東京と共に我が國の二大經濟都市である。其の商圏は西南日本は勿論滿洲支那にまで及んでゐる。外國貿易は神戸大阪の兩港が著は

工業地帯は阪神<sup>京滋</sup>三重の三地帯に分れる。阪神工業地帯は大阪神戸を中心とし、西は姫路、南は和歌山、海南に及ぶ。纖維工業を始め機械造船化學工業の特色である。京滋工業地帯は人造絹絲絹絲絹織物染織麻織等が發達してゐる。三重工業



清酒貯藏大桶の洗滌(灘地方)

神戸・大阪を中心とする。



交通整理(大阪市)

航空路は大阪を中心とし、東京・福岡・米子等へ

線の全通が待望される。

内陸水路は琵琶湖と淀川を主とし、海運は

れ京濱港と共に我が國の三大貿易港と稱せられてゐる。

交通

陸上交通は中部低地が最盛で、道路網は京都を、鐵道電車網は大

阪を中心とする。主要鐵道幹線には東海道

本線・山陽本線・山陰本線・關西本線・北陸本線等

がある。電車は高速度と長距離と設備の優

良とて著はれる。又山岳名勝地にはケーブ

ルカーが發達してゐる。従つて京濱地方と

同じく、京阪神の休養地帯は著しく擴大され

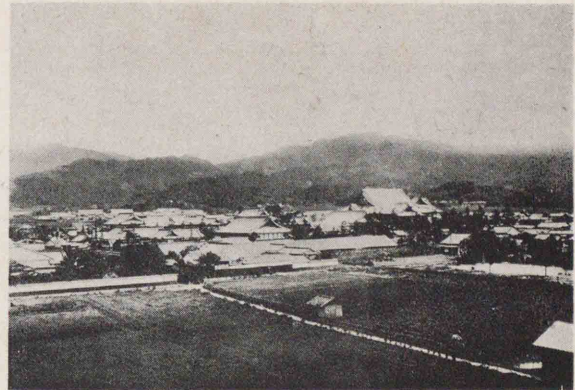
てゐる。北西部山地は鐵道も漸次發達して

來た。南部山地は極めて不便で紀勢線・五新

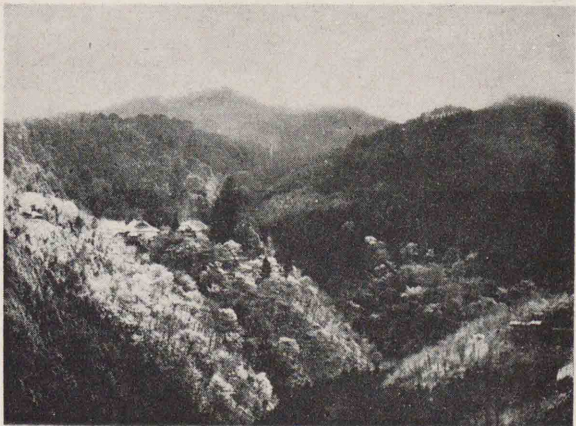
奈良



丹波市(天理教本部附近)



吉野山



航空路を通ずる。

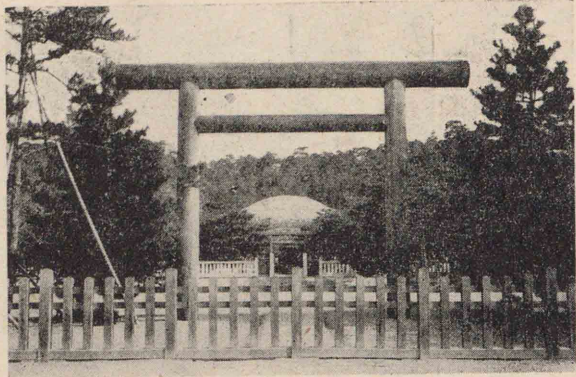
處 誌

三重縣 伊勢平野は縣の主要部で主要都邑は南北に並ぶ。桑名市は鑄物工業の盛んな新興都市で龜山は交通の要地である。四日市津松阪の三市は何れも綿工業が盛んで、四日市はその貿易港でもある。宇治山田市は神都で四時參拜者が絶えない。志摩半島には鳥羽波切の漁港があり、西方の尾鷲は熊野灘沿岸第一の港市である。

滋賀縣 全縣が琵琶湖を中心とする一大盆地である。湖北は養蠶が盛んで、長濱は縮緬の産地である。湖東の米原草津は交通の要地、彦根市は舊城下町、八幡は蚊帳の産地である。湖南の天津市は湖上交通の起點で、人造絹絲の産多く、京都との關係が深い。其の北西の比叡山には延曆寺がある。

京都府

京都市は京都盆地の北部を占め、名所史蹟に富み、観光都市學



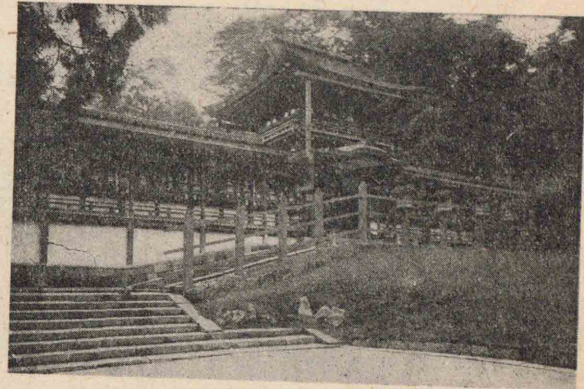
伏見桃山御陵

術都市・美術工藝都市として發達してゐる。市の南部の伏見は酒造業が

盛んで、その東方の桃山には明治天皇、昭憲皇太后の御陵がある。宇治は茶の産地で發電所、人造絹絲工場もある。巨掠池は近時干拓され、良田となつた。丹波山地の山間盆地は養蠶製絲が行はれ、福知山市、綾部はその中心都邑である。若狹灣岸の舞鶴市は良港で、其の東方に東舞鶴市がある。宮津は開港場で、天橋立も近い。峯山は絹織物業地として著はれる。

奈良縣

奈良盆地は西瓜、賣藥の特産がある。奈良市は盆地の北東隅に位し、東部の春日山、若草山、三笠山を負ふ地域には神社佛閣多く、観光都市として賑ふ。郡山は舊城下町で金魚を産

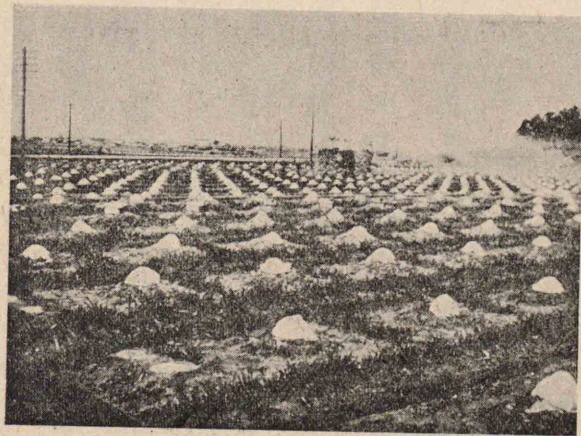


官幣大社春日神社

し、丹波市は天理教の宗教都市、高田は工業都市である。盆地内は京都盆地と同じく史蹟に富み、橿原神宮、神武御陵、法隆寺等は名高い。南部山地は吉野杉の産地で、吉野山は櫻と史蹟に著はれる。

### 和歌山縣

紀ノ川口の和歌山市は徳川親藩の舊城下町で製材綿ネル工業が盛んである。海南市は漆器傘を産し、高野は門前町である。有田川流域は



大和西瓜畑(幼苗時代の促成栽培)

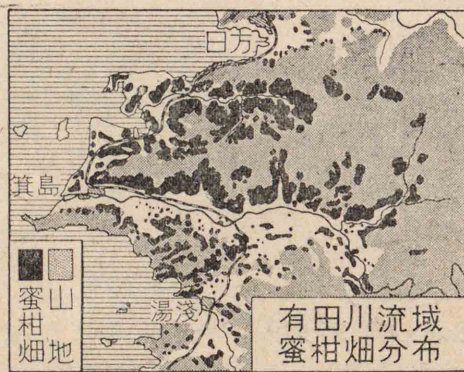


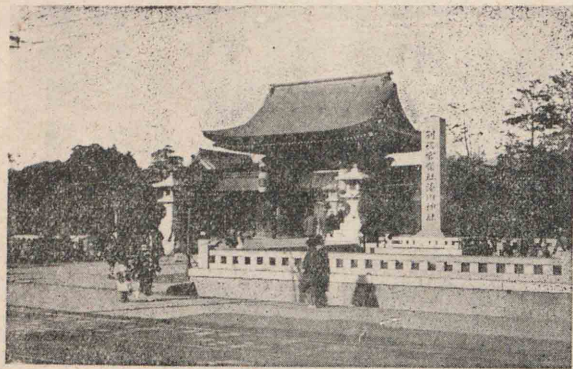
蜜柑栽培(有田川北岸)

紀州蜜柑の本場で箕島湯淺は其の集散地である。田邊は沿岸航路の寄港地で南方に白濱温泉がある。潮岬は本州最南端の陸繋島で、新宮市は木材の集散地である。住民は進取の氣象に富み海外に發展するものも多い。

### 大阪府 全国府縣中

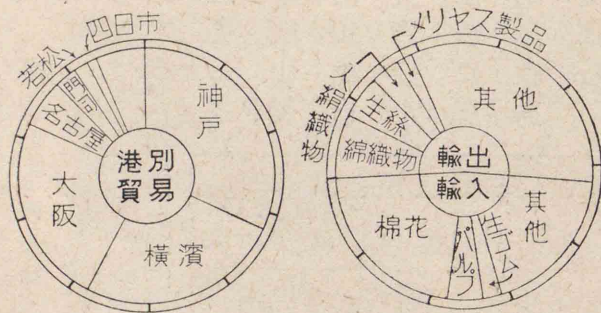
面積は最小であるが、商業盛んで人口は東京府に次いで第二位である。大阪市は淀川三角洲の低地と南東部の臺地にある。低地は淀川分流の河川運河網縦横に通じ、工場多く、阪神工業地帯の核心をなし、煙突林立して煙の都と稱せられ



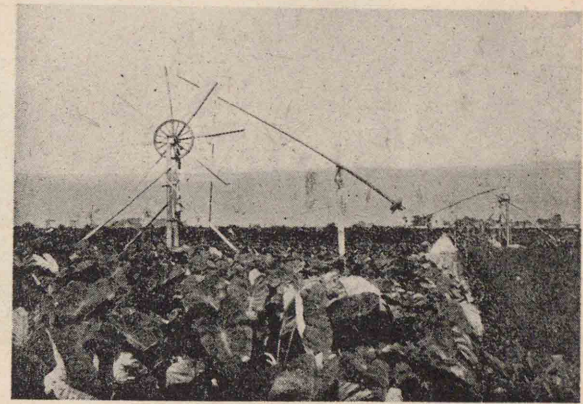


別格官幣大社湊川神社

兵庫縣 大阪灣沿岸は阪神工業地帯の一部で、工業都市が並んでゐる。尼ヶ崎市は綿絲、綿織物、硝子等の工業が行はれる。西宮市、御影は灘地方の中心地で、伊丹市と共に我が國第一の清酒醸造業地である。神戸市は我が國屈指の貿易港で、造船を始め各種工業も行はれる。六甲山南麓の高燥な扇状地は阪神の住宅地で、蘆屋市は其の代表的なものである。明石市は綿絲業が著はれ、加古川は毛織物を産する。姫路市は舊

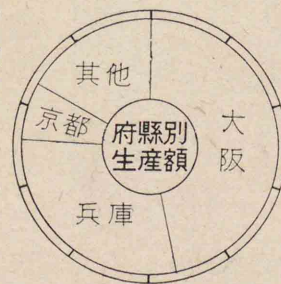


昭和12年 内地港別貿易割合 神戸港の貿易

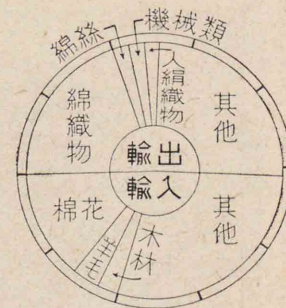


大阪平野の風車

に工業都市としての發達は著しい。大和川に臨む堺市は古い商港で工業都市として新生し綿絲、足袋の産が多い。大津岸和田、貝塚附近にも綿織物の産がある。臺地には大阪城址、四天王寺、高津宮址等があり、主に住宅地域となつてゐる。住宅地は郊外電車の發達により近郊へ進展しつゝある。外國貿易は近年急速に發展してゐる。新興の豊中市、布施市は住宅都市で輕工業も行はれる。吹田市は麥酒、池田市は清酒の醸造業地で共に工業都市として新生し綿絲、綿織物の産がある。



近畿の府縣別生産額



大阪港の貿易 昭和12年

城下町で工業都市、飾磨市は工業都市として近年の發展が目覺しい。赤穂は製鹽、龍野は醬油の産地である。豊岡は柶柳細工を産し、城崎は温泉で名高い。淡路島には首邑洲本市と福良等の都邑がある。

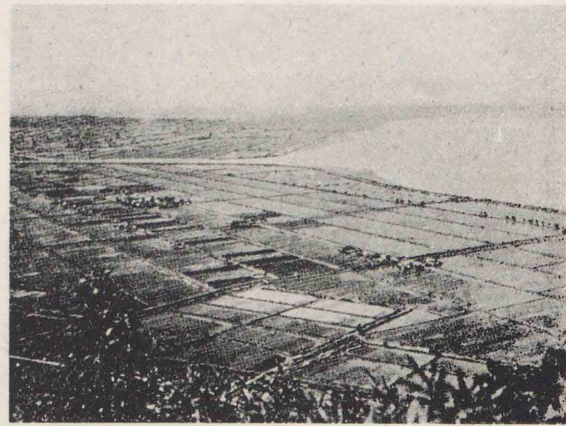
第七章 中國・四國地方

位置 中國と四國とは瀬戸内海を隔てて相對する。瀬戸内海斜面は

近畿と九州との廊下をなし、古來人文よく發達してゐる。

地勢 中國地方は一般に高原性で、分水嶺の中國山脈は北偏して東西に走り、山陰・山陽に分たれる。河川は自ら南北に分流するが、江ノ川のみは山陽の水を集め分水嶺を横斷して日本海に注ぐ。山陰には白山火山脈に屬する大山・三瓶山等の火山があり、温泉も多い。沿岸は島根半島の外は出入少く、北方海上には隱岐島が横はる。

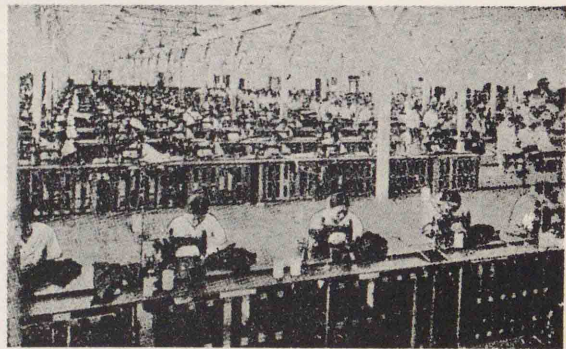
| 行政區劃 |      |
|------|------|
| 府縣名  | 縣所在地 |
| 鳥取   | 鳥取市  |
| 島根   | 松江市  |
| 岡山   | 岡山市  |
| 廣島   | 廣島市  |
| 山口   | 山口市  |
| 香川   | 高松市  |
| 愛媛   | 松山市  |
| 徳島   | 徳島市  |
| 高知   | 高知市  |



兒島農場



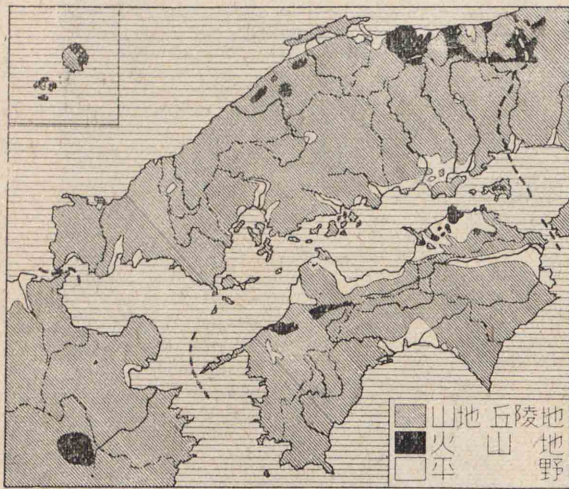
蘭刈り



學生用小倉服製造  
(兒島半島)

氣候

山陰地方は北陸と同じく裏日本式であるが、積雪は北陸より遙



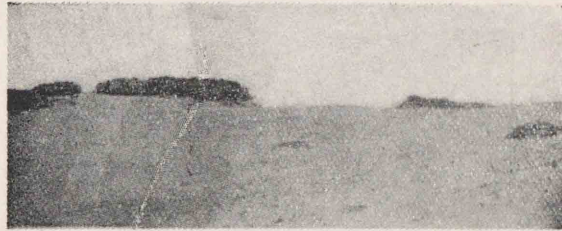
中部地方の地勢

山陽には高原廣く、高原上もよく利用されてゐる。且つ、高原中には盆地の發達が著しい。四國は吉野川と佐田岬を結ぶ線で南北に二分される。

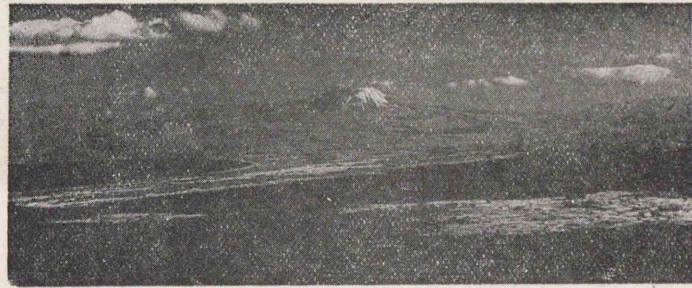
北四國は主に讃岐山地と高繩山地とより成る。南四國は高峻な四國山脈連互し、南方では室戸足摺の兩岬突出して弧狀の土佐灣を抱く。

瀬戸内海は屈曲に富み島嶼も多く、所謂多島海をなしてゐる。風光明媚で世界的公園をなし、屋島鞆を中心とする瀬戸内海國立公園を始め、嚴島等の勝地が頗る多い。又古來交通上の要路をなし船舶の往來が頻繁である。

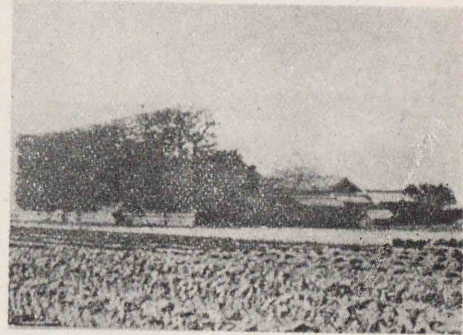
鳥取砂丘



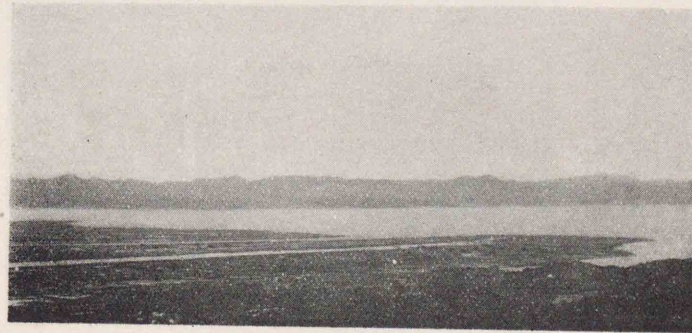
大山



出雲平野民家  
北と西に防風林  
(松)がある。



出雲平野



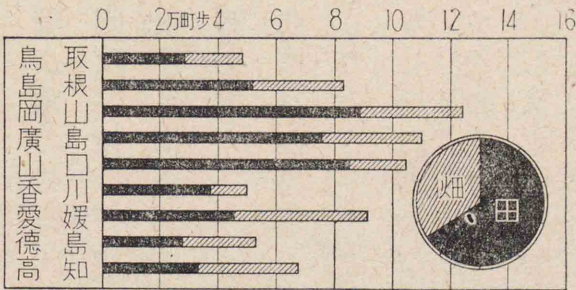
かに少い。瀬戸内海斜面は比較的高温で晴天多く少雨の瀬戸内式である。南四國は表日本式で、沿岸には蒲葵・樟榕樹等の熱帯性植物の自生してゐる處がある。



製造田真稈麥

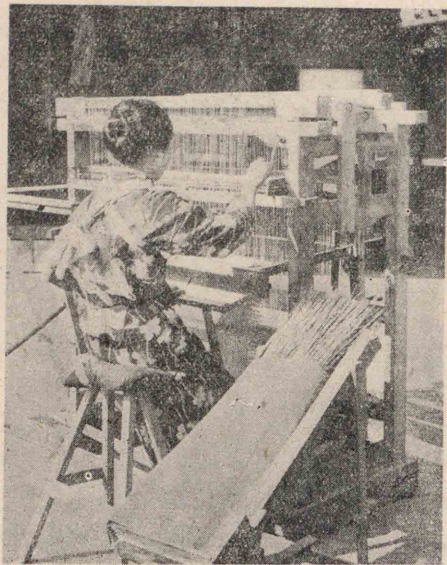
住民 瀬戸内海斜面の山陽と北四國とは人口稠密で都市も多い。山陰と南四國とは共に文化の中心より離れ稀薄である。廣島・山口・高知・愛媛の四縣は海外への移民が多い。

工業地域としての發展が著しい。農業は耕地が少ないので集約的で、山腹



中國四國の耕地面積と田畑割合

は階段耕作が發達してゐる。山陽北四國の瀬戸内海斜面は米麥作が盛んで灌漑用溜池が多い。廣島岡山二縣には蘭の栽培が行はれる。又果樹栽培の盛んなのも瀬戸内海斜面の一特色である。山地には三桎楮が栽培され和紙の原料となる。



製造田真稈麥

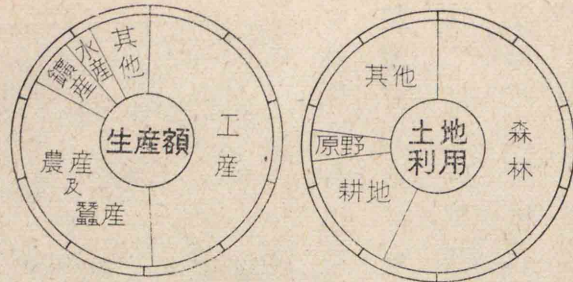
る。水産業は隱岐の烏賊、瀬戸内海の鯛、牡蠣、土佐沖の鮪、鰹が著はれ、下關は鮮魚の大集散地である。又瀬戸内海沿岸は本邦無比の製鹽地であ

栽培され和紙の原料となる。

牧畜は中國地方に盛んで、内地第一の牧牛地帯をなし、特に廣島岡山の二縣は多い。多く舎飼で肉牛として阪神地方に移出し、又廣島で牛肉罐詰に使用される。林業は山地の多い割合に不振である。鑛業は別子銅山、宇部、大嶺炭田等が著はれ



端に開港場境がある。  
**島根縣** 出雲地方の松江市は山陰第一の都會で風景がよい。大社は出雲大社の門前町で今市は商工業の中心地である。石見地方の濱田市

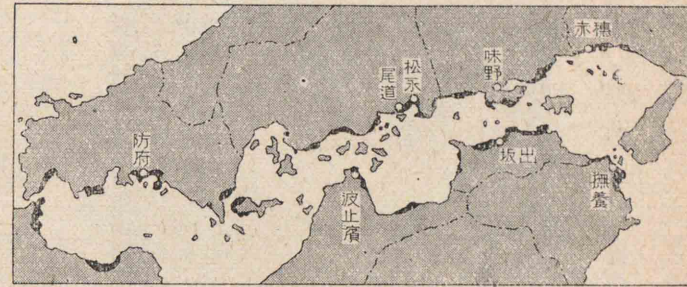


四國地方の生産額と土地利用  
 昭和十一年6億圓餘

鐵道幹線は豫讃本線・土讃線・徳島本線・高德本線等である。海上交通は瀬戸内海沿岸が盛んで他は不振である。鐵道連絡航路は宇野・高松間・下關・門司間・下關・釜山間に通ずるのが主なものである。航空路は大阪・福岡間の通路に當り、米子は日滿航空路の空港である。

處誌

**鳥取縣** 千代・天神・日野等諸川の下流には小平野が開け、鳥取市・倉吉・米子市は各其の中心都市である。夜見ヶ濱の砂嘴は耕地よく開け、尖



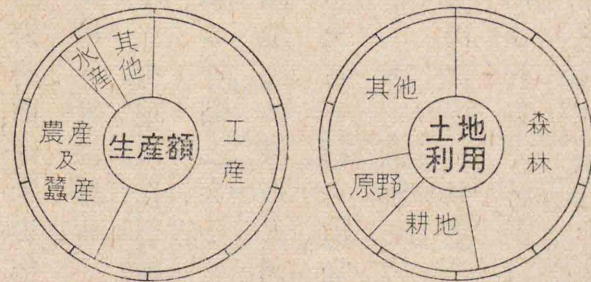
瀬戸内海沿岸鹽田分布

つて中國高原の東西交通を計つてゐる。四國の

る。工業は瀬戸内海沿岸に盛んで、東部は綿工業・人絹工業、西部は化學工業が発達してゐる。内國商業は大阪の商圏に屬してゐる。外國貿易は神戸の後背地で宇野・尾道系・崎宇部・下關・萩・濱田・今治・高知等の開港場は何れも餘り振はない。

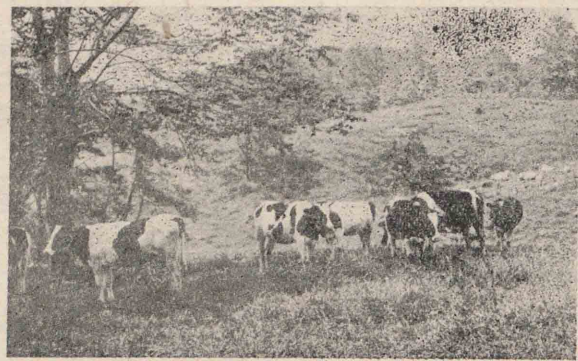
交通

中國地方は山陽・山陰兩本線が東西に走る。之を結ぶ横斷線には美彌・山口・伯備等の諸線がある。姫新線と藝備線は相連な



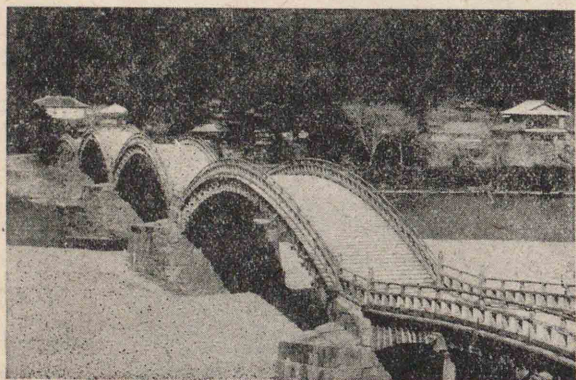
中國地方の生産額と土地利用  
 昭和十一年10億圓餘

に跨る廣島市は舊城下町で、中國の最大都市である。學術・商工業都市として活氣を有し、水の都と稱せられまた前面に良港を有して



七塚原牧場

北部山地の津山市・勝山は同名の小盆地にある中心都邑である。  
**廣島縣** 福山平野は花筵・疊表・除蟲菊の産多く福山市・尾道市はその集散地である。三原市は人造絹絲を産し、鞆は景色のよい港町である。  
太田川の三角洲



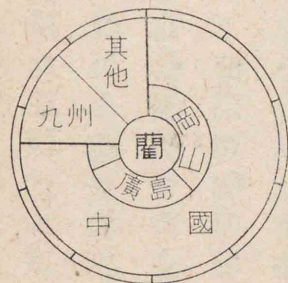
岩國錦帶橋



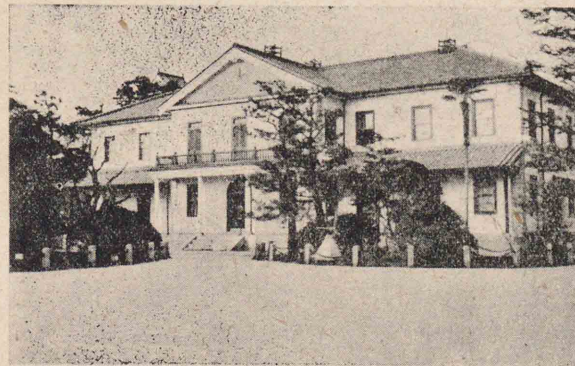
畑 牧

は開港場である。隱岐は牧畑と鰯が著はれ、島後の西郷は主邑である。  
**岡山縣** 岡山平野は耕地よく開け、兒島灣岸は干拓進み美田が連なる。岡山市は旭川に跨る舊城下町で商工業が盛んである。兒島半島の玉野市は四國への連絡地

で造船も行はれ、味野は製鹽で知られる。倉敷市・玉島・笠岡は共に紡績業地で、高粱は花筵・麥稈・真田の集散地である。



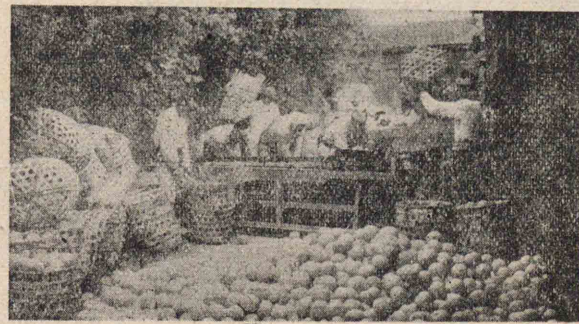
昭和十二年  
7928 萬噸



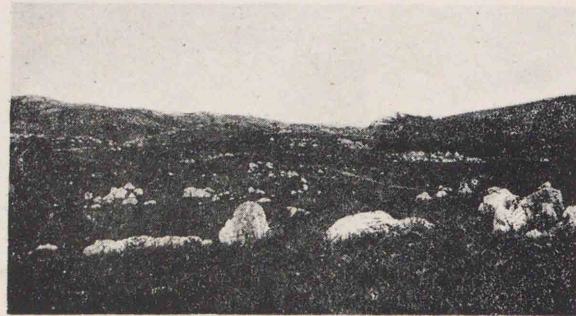
廣島大本營跡

ある。吳市及び廣は共に工業都市である。海上の嚴島は古くから勝地として著名である。北部山地では牧牛が行はれ、三次は同名の盆地の中心地である。

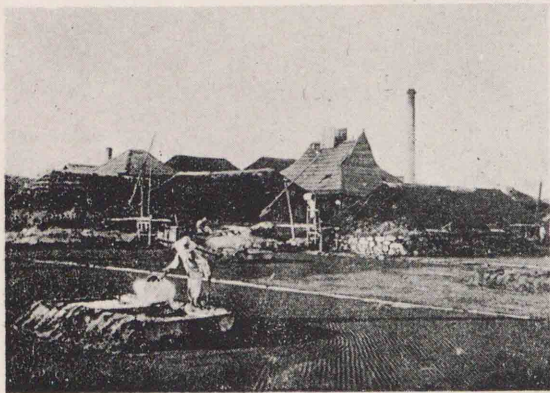
山口縣 瀬戸内海沿岸には新興の工業都市が非常に多い。岩國市は最近發達した工業都市で錦帯橋は名高い。徳山市・下松市は共に新興の工業都市である。宇部市は開港場であり炭坑都市で、小野田市と共にセメントを産出する。防府市は製鹽と新興工業で發達した。下關市は交通の要地で、水産物の集散が多い。市の一部である彦島は北九州工業地帯の東端で造船・セメント工業が著はれる。關門海底隧道は此處を通る豫定である。山陰方面の萩市は舊城下町で有名な松下村塾がある。山口市は



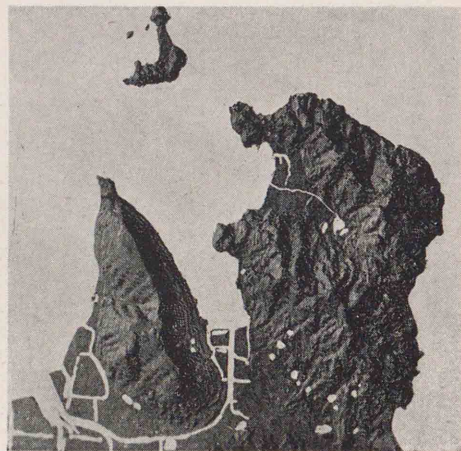
萩の夏密柑



秋吉臺



鹽田

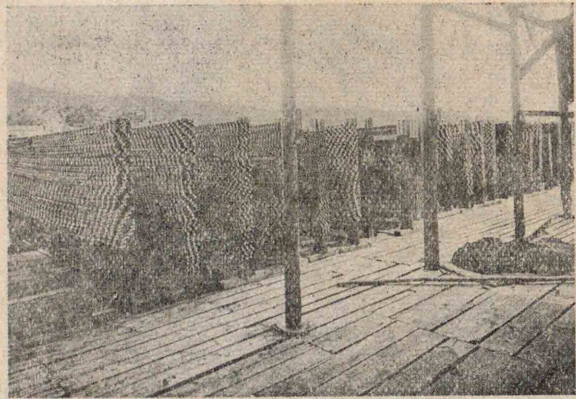


屋島と五劍山模型

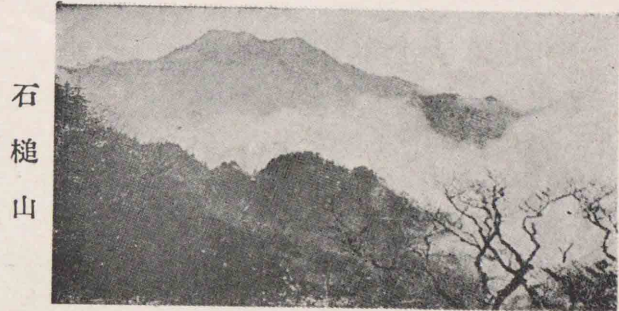
教育縣政の中心地である。秋吉臺は名高い石灰岩地で大理石の産がある。

香川縣 讃岐平野は灌漑用溜池耕地よく開け農産も多い。高松市は交通の要地、丸龜市は商工業が盛んで共に舊城下町である。坂出は製鹽地、多度津は港町で鐵道工場がある。琴平は階段的門前町である。小豆島は寒霞溪の勝地と醬油の産地名高く、直島には製鍊所がある。

愛媛縣 燧灘斜面の新居濱市は別子銅鑛の積換港で化學機械工業も行はれる。今治市は開港場で、西條市と共に綿工業地である。伊豫灘斜面の松山市は舊城下町で伊豫紆を産し三津濱高濱はその門戸である。道後温



伊豫紆干場



石槌山



吉野川峽流  
圖は大崩壞(大歩危)峽谷



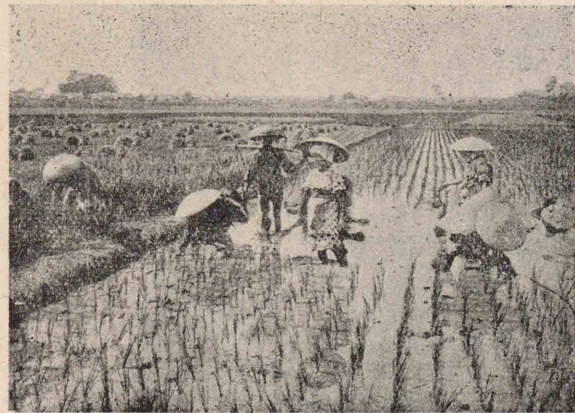
經節の製造

泉は松山市の東方にある。豊後水道斜面は繭水産物を産し、宇和島市・八幡濱市はその集散地である。

**徳島縣** 吉野川地溝帯が主要地である。

池田は煙草栽培脇町は養蠶業の中心地である。徳島市は舊城下町で綿紡工業が行はれる。小松島はその外港である。撫養は製鹽地である。祖谷は隔絶聚落の適例である。

**高知縣** 高知平野は促成栽培が盛んで、一部では米の二期作が行はれる。三桎楮の栽培も盛んで伊野を中心として和紙の製造が行はれる。高知市は舊城下町で開港場である。沿岸には室戸浦戸須崎清水宿毛等の漁港多く、土佐節は名高い。



高知の二期米作(左は收穫・右は植付)

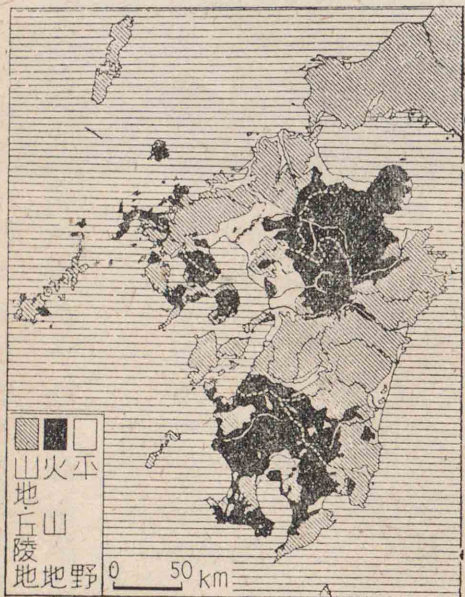
### 第八章 九州地方

**位置** 内地の最西端に位し、アジア大陸に對する好位置を占める。

**地勢** 北九州は筑紫山脈が連互し、數箇の小山塊に分れ、石炭の埋藏が多い。筑後川流域の筑紫平野は九州第一の平野である。肥前半島は出入に富み、良港多く水産業が盛んである。中九州は阿蘇火山地域で

| 行政區劃 |      |
|------|------|
| 縣名   | 縣所在地 |
| 福岡   | 福岡市  |
| 佐賀   | 佐賀市  |
| 長崎   | 長崎市  |
| 熊本   | 熊本市  |
| 大分   | 大分市  |
| 宮崎   | 宮崎市  |
| 鹿児島  | 鹿児島市 |
| 沖縄   | 那覇市  |

火山温泉熔岩臺地に富む。火山裾野・高原は牧場に利用される。

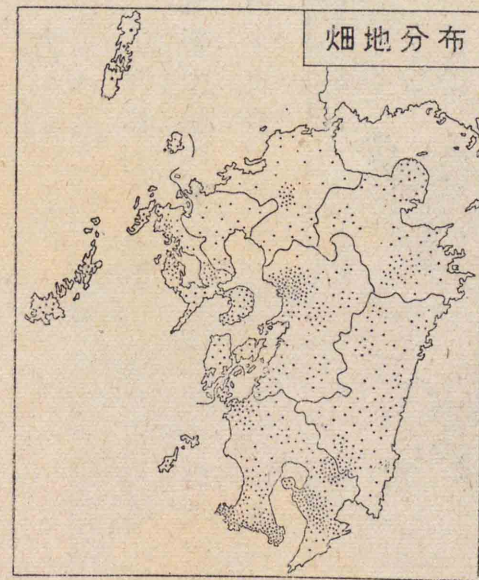


九州地方の地勢

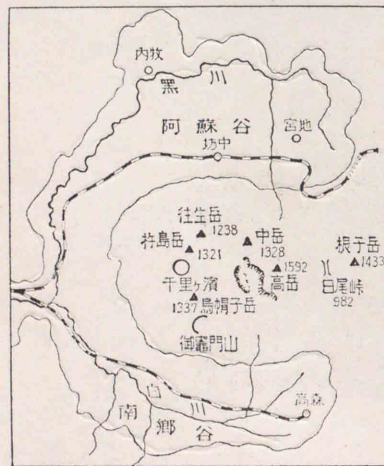
熊本平野は中九州最大の平野である。南九州は九州山脈と霧島火山脈の地域で地勢高峻である。貴金屬鑛物に富み、畑地が多い。薩南諸島琉球列島は南西に長く弧状を描く。

**氣候** 北九州の玄海灘沿岸は裏日本式に類似するが降雪は少い。中九州の熊本平野は稍内陸性である。南九州は表日本式で特に高温多雨である。薩南諸島琉球列島は亞

熱帯性で終年霜雪を見ない。  
**住民** 北九州は古來大陸との交通開け且つ近代的工業勃興し、人口稠密で工鑛業都市が多い。中南九州は未開墾地廣く人口稀薄である。沖繩熊本福岡の三縣は海外への移民が多い。

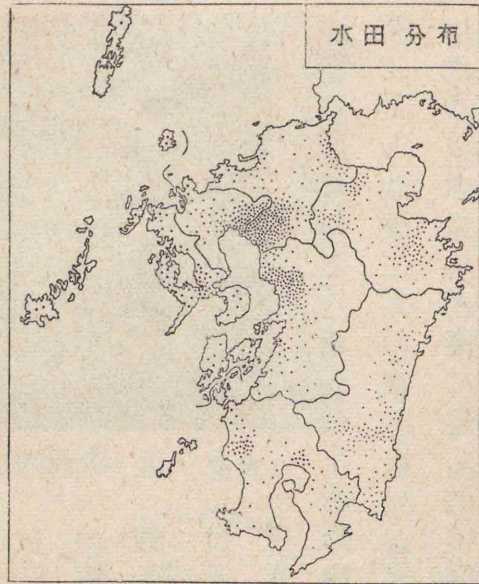


一點一千町歩

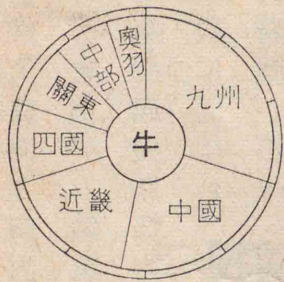


阿蘇山  
 外輪山は東西約一八軒、南北約二四軒世界最大の火山口である。上圖はその模倣型圖で、下圖は其の略圖である。

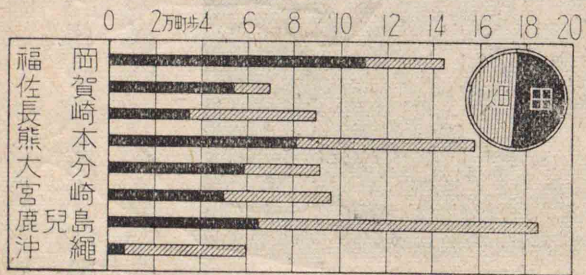
牧畜は中南九州に盛んで、火山裾野・高原には好牧畜地が多い。牛は鹿兒島・大分・熊本・長崎・馬は鹿兒島・熊本・宮崎・豚・山羊は沖繩・鹿兒島の諸縣が主産地である。



一點一千町步



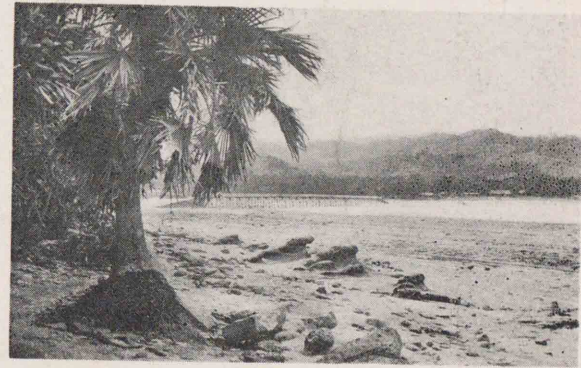
内地地方別牛産額 (昭和十一年)



**産業** 農業は特に筑紫平野・熊本平野に發達してゐる。北九州は米作が盛んで米菜種麥の二毛作が行はれ、中南九州は地勢上、甘藷・粟・甘蔗・烟草等の畑作を主とする。



別府海地獄



青島

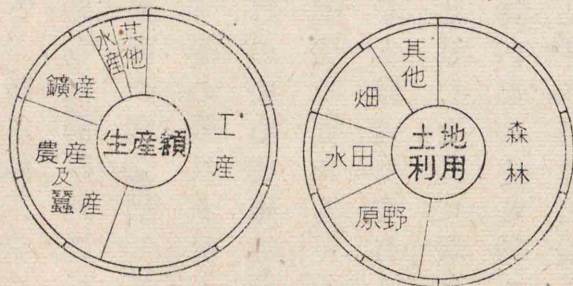


霧島火山群の一峯 韓國<sup>カクニ</sup>岳から高千穂峯を望む。

岡を中心とし東京・臺灣・朝鮮・北支那・中支那に通じてゐる。



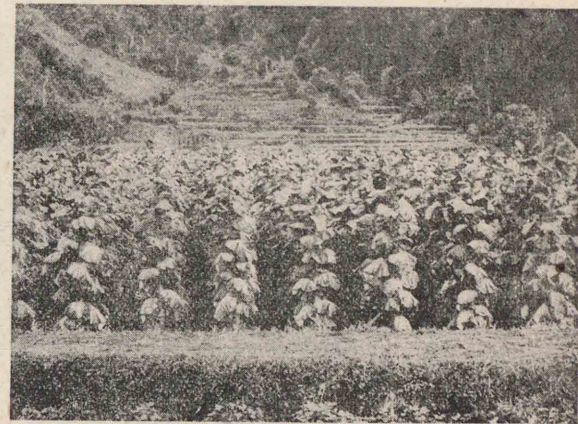
豊後表を織る(國東半島一農家)



九州地方の生産額と土地利用  
昭和十一年22億圓

交通 鐵道は鹿兒島本線・日豊本線・長崎本線が幹線で、前二者は相連なつて九州を一周する。久大線・豊肥本線・肥薩線はその連絡線である。海上交通は北九州に盛んである。航空路は福

は地方的商業の中心地である。外國貿易は門司・若松・長崎等の諸港が稍盛んで、貿易港の大部分は北西部にある。



薩摩煙草栽培

に發達してゐる。北九州工業地帯の特色は重工業と化學工業の盛んなことである。内國商業は大阪の商圏に屬し、福岡・熊本・鹿兒島

林業は南九州山地に發達し、木材・薪炭・椎茸等を出す。鑛業は北九州の石炭・大分縣の金・銅、鹿兒島縣の金が名高い。水産業は一般に著はれ、長崎縣が第一位で、鹿兒島縣の鰹節は世に名高い。工業は石炭供給の豊富な北九州



大分縣椎茸栽培

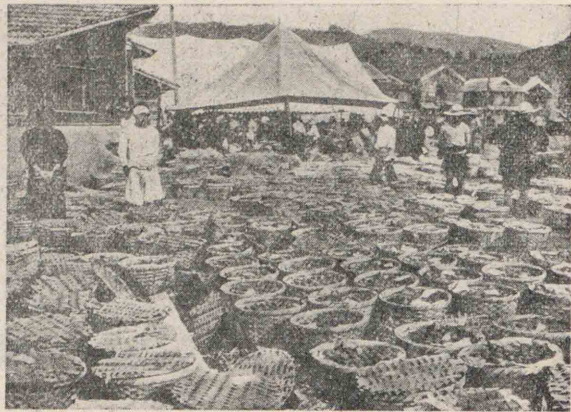


處 誌

福岡縣 各種産業發達するが特に鑛工業は著はれ、都市は十を數ふ。北九州工業地帯の核心地である洞海附近には、門司、小倉、戸畑、若松、八幡等の諸都市が連続し、一大工業都市の觀を呈してゐる。遠賀川流域の筑豊炭田には直方市、飯塚市、後藤寺等の炭坑都邑がある。この地域は鐵道網が頗る稠密である。福岡平野の中心都市の福岡市は九州文化の中心地で、その一部の博多は商工業が盛んである。筑紫平野は大農産地帯で、久留米市は其の中心都市で工業も發達してゐる。南端の三池炭田は我が國屈指の炭田で、大牟田市はこれによつて發達した工業都市である。

佐賀縣 佐賀市は筑紫平野西部の中心地で、鳥栖は交通の要地である。有明海では牡蠣等が養殖され、住江港は石炭を積出す。唐津市は開港場で石炭を積出し、有田は製陶業地、伊萬里は漁港である。

長崎縣 半島部は畑作と牧畜が行はれ石炭も産する。長崎市は古い



枇杷市場 枇木茂

平戸島の平戸、壹岐の勝本、對馬の嚴原等は漁港として著はれる。

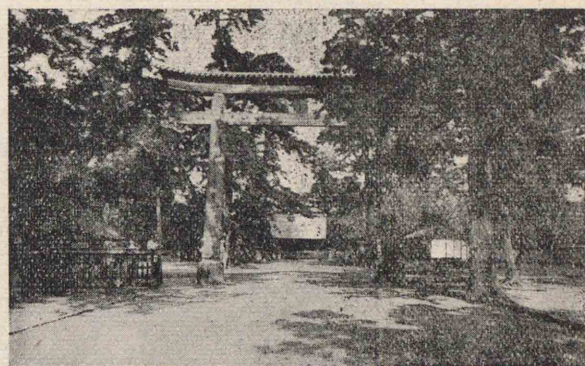
熊本縣 米作畑作牧畜が著はれる。熊本

港町で、異國情緒に富み、日支連絡航路の起點に當る。諫早市は交通の要地で佐世保市は工業都市である。島原半島には雲仙國立公園があり、東岸に

島原市がある。沿岸及び島嶼は漁業が盛んで其の水産額は府縣中第一位である。五島の福江、富江、



羊 雲仙白雲牧場



官幣大社宇佐神社

んで、本渡牛深は天草島の主邑である。  
大分縣 周防灘沿岸の中津市は綿工業  
地で、東方に宇佐神社がある。 國東半島に



別府の竹細工

市は舊城下町で熊本平野の中心地である。  
三角は開港場で、球磨川口の八代市は半紙・セ  
メントを出す。 附近には西瓜の産多く、干拓  
事業も發達し  
てゐる。 東に  
阿蘇國立公園、  
南に人吉盆地  
がある。 南部  
海岸の水俣は  
窒素工業が盛



官幣大社宮崎神社

材が盛んで、南方に霧島國立公園がある。  
鹿兒島縣 畑作牧畜鑛産水産は著名である。 鹿兒島市は舊城下町で、  
垂水國分出水指宿は煙草を産する。 三井串木野山ヶ野は金山で、谷山は

は七島蘭が栽培され杵築は疊表・莫産製造の  
中心地である。 別府市は標式的の泉都で、大  
分市は政治都市で、日田市は筑後川上流の新  
興都市である。 佐賀關は日立と並稱され精  
鍊所がある。 その南方のリアス式海岸には  
臼杵津久見佐伯市等の都邑がある。

宮崎縣 開發は古いが未だ十分でない。  
延岡市は人絹窒素肥料の産があり、細島は良  
港である。 宮崎市は宮崎神社があり、青島の  
勝地も近い。 都城は茶・蘭の産多く、小林は製

錫鑛山である。川内市は米の集散が多い。枕崎・山川は漁港で、開聞岳は美しい火山錐である。鹿屋市は新興都市である。



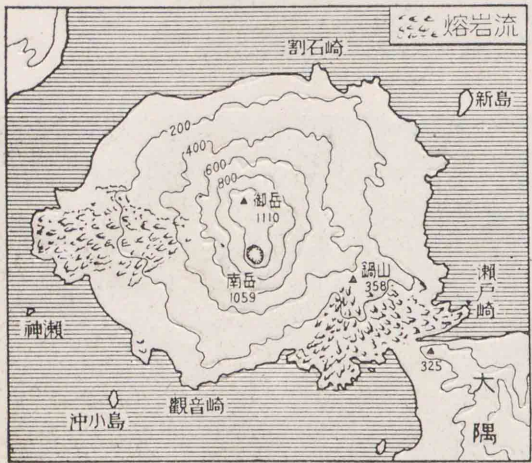
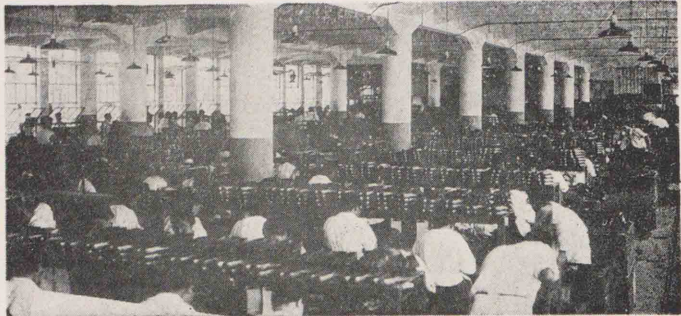
琉球パナマ帽製造



● 櫻島大根

久島は屋久杉と八重岳で著はる。奄美大島は紬を産し豚の飼養多く名瀬は良港である。  
沖繩縣 沖繩宮古八重山の三諸島から成る。亞熱帯性植物繁茂し、米田に乏しく、甘藷・甘蔗の栽培が盛んである。また豚・山羊の飼養は全国に冠絶する。人口稠密で海外に移住する者が多い。首里は舊王城

足袋工場内部(久留米)



櫻島の  
大熔岩流  
(大正三年の噴出)



豚飼養

|     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 澎湖廳 | 臺東廳 | 高雄州 | 臺南州 | 臺中州 | 新竹州 | 臺北州 | 州廳名 |
| 馬公街 | 花蓮港 | 臺東街 | 高雄市 | 臺南市 | 臺中市 | 臺北市 | 所在地 |

行政區劃

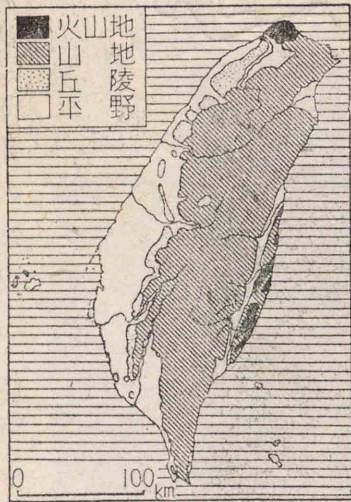
するが開發は遅れてゐる。西部平野

の所在地、那覇は開港場である。大東島は燐鑛を出す。

第九章 臺灣地方

位置

日本列島の最南端に位し、我が南方發展の策源地である。南方はバシー海峡を隔ててフィリピンに隣り、西は臺灣海峡の彼方に中華民國の福建省がある。



臺灣の地勢

の所在地、那覇は開港場である。大東島は燐鑛を出す。



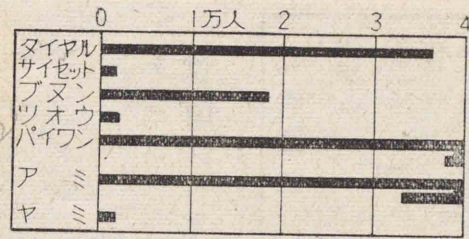
鮪の港(宮崎縣油津)



ババヤ賣



墳墓(那覇市郊外)



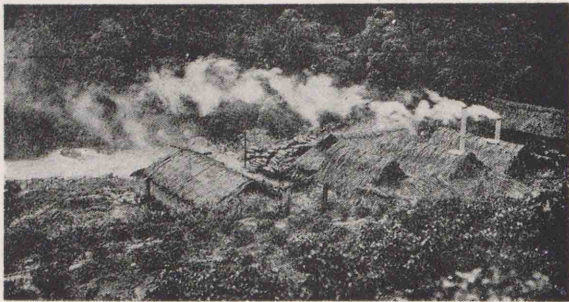
高砂族

風下は乾季と成る。  
**住民** 大部分は支那族の本島人で、内地人・高砂族は之に次ぐ。本島人は閩族・粵族の子孫である。内地人は指導的位置にあるが、其の数は僅か二十

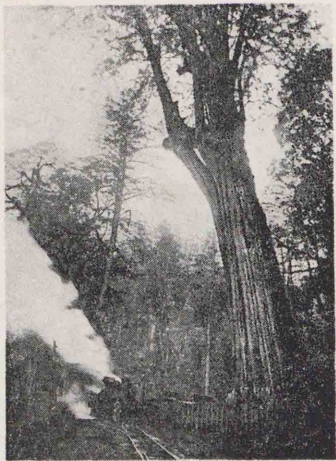
は重要な生産地であるが、各河川は積原廣く水運に乏しい。西海岸は遠浅で砂嘴・潟湖が發達し、東海岸は絶壁多く、共に良港に乏しい。  
**氣候** 亞熱帶性で四季の變化に乏しい。雨量は多く、乾季と雨季との區別が明かである。夏は南西、冬は北東の季節風吹き各風上に當る處は雨季で



高砂族と其の家屋



樟腦製造所

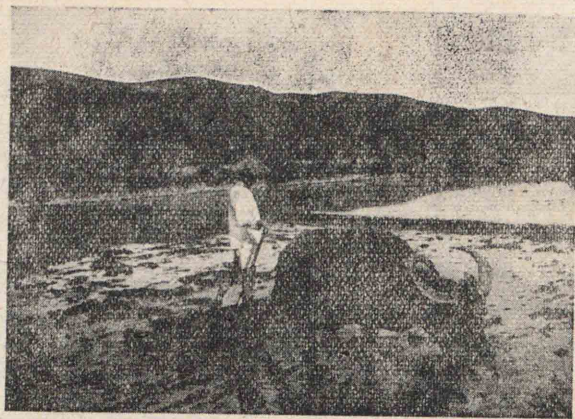


阿里山の巨檜



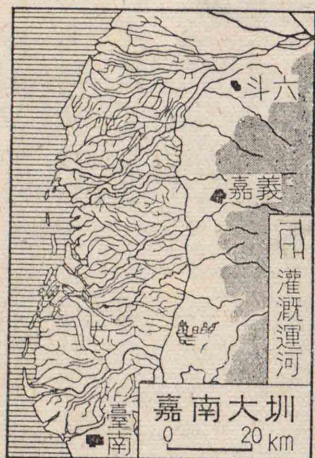
鳳梨畑

に中部以北に多く産出する。飼養が盛んで、水牛・黄牛は農耕運搬に使用する。林業は阿里山・八仙山・太平山等に大



臺灣の水牛耕作

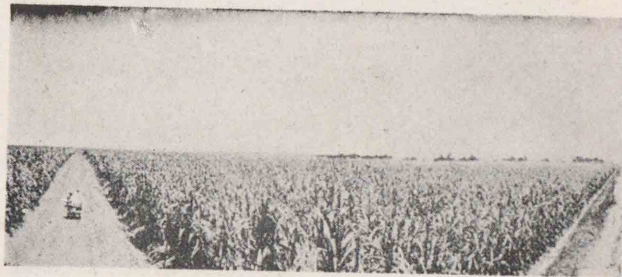
産も多い。米は年二回の收穫があつて主



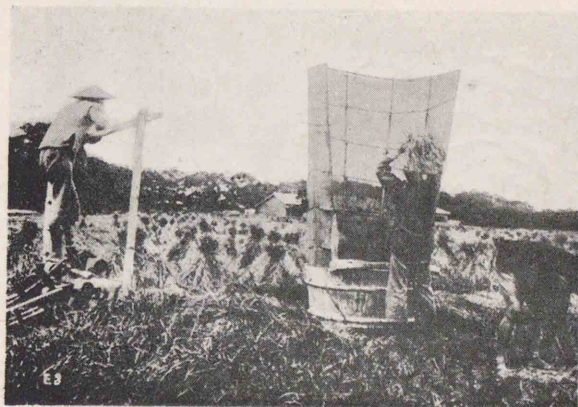
七萬人に過ぎない。高砂族は馬來人種に屬する先住民で、生蕃と熟蕃に分たれる。

**産業** 農業と其の附隨工業とが主なものである。農業は主に西部平野に行はれ、大規模の埤圳工事の完成、耕作法の改善、品種の改良、内地の需要等により、耕地と收穫量は激増した。米・甘蔗・甘藷を三大農産とし、果實茶の

甘蔗の栽培

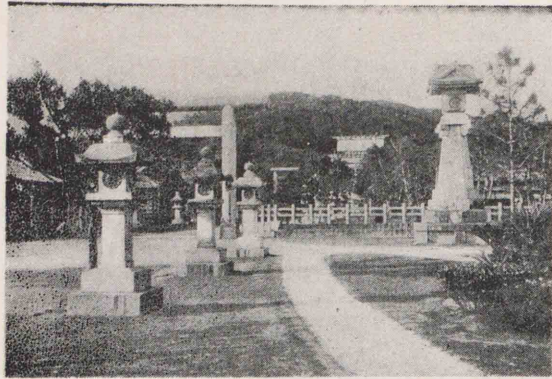


米收穫



臺南市街  
(亭仔脚に注意せよ)





臺灣神社

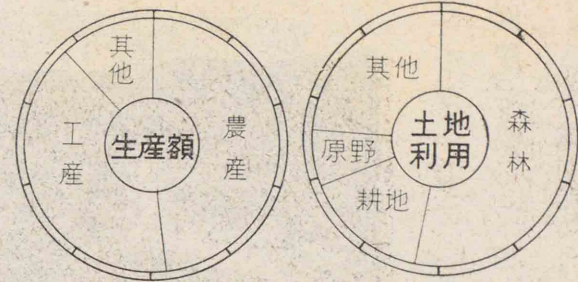


臺北市街(表町通)



天日製鹽

取引が主で砂糖・米・バナナ・鳳梨罐詰等を出し、肥料・織物・鐵材・紙・乾鹽魚等を入す。開港場は基隆・淡水・高雄・安平・花蓮港の



臺灣の生産額と土地利用  
昭和十二年8.5億圓

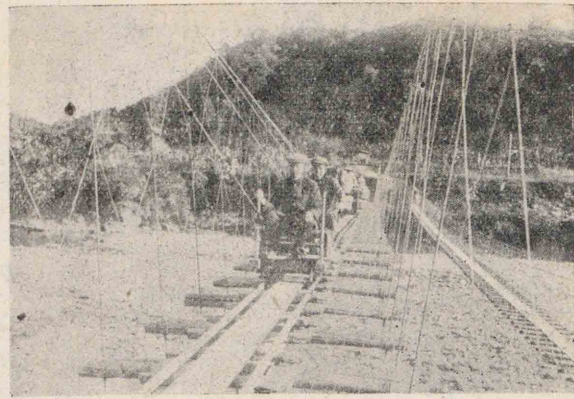
森林があり、檜紅檜の良材を出す。樟は中北部に多く樟腦樟腦油を製し、其の産額は世界第一である。鑛産は石炭・金・石油等である。水産業は近年盛んで基隆の鱈節製造は名高い。中南部の少雨地では天日製鹽が行はれ、鹽水養魚も著はれる。工業は製糖業を第一とし、製茶・鳳梨罐詰が主なるものである。

商業は内地との



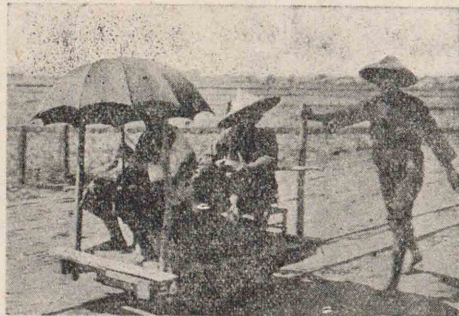
バナナツプル採集

中心で、西海岸、河川では竹筏ツクシを使用する。航空路は内地及びパラオと連絡する外、臺北より廣東を経てタイ國に通じ、また島内を一周する。無線電



鐵線橋

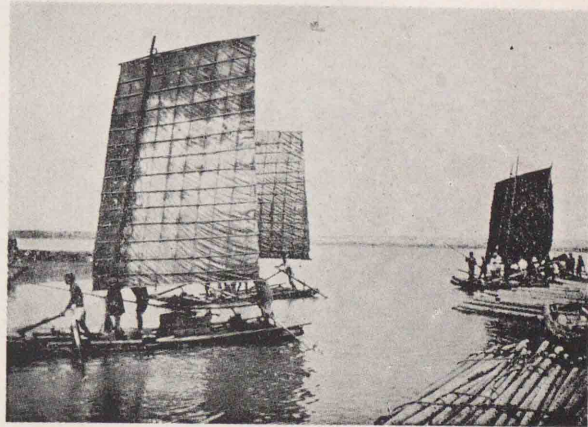
五港で、戎克ジヤクに限つて入港を許す特別開港場は三つある。  
交通 在來の交通機關には内地と異なるものが多い。鐵道は西部平野によく發達する。縦貫線を幹線とし、淡水、臺中、宜蘭、潮州線等の諸線がある。南部の製糖地には甘蔗運搬専用の私設線多く、鐵道網は密である。基隆、高雄は航路の二大



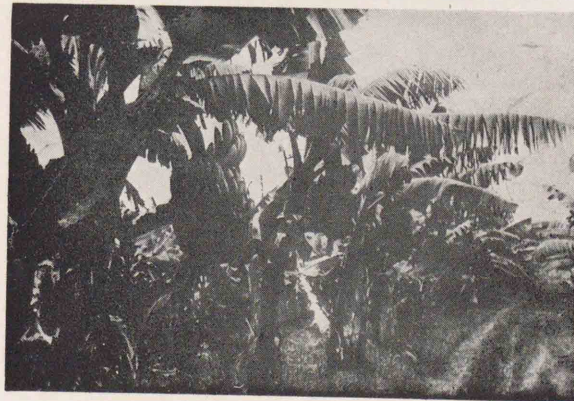
臺車



茶摘



竹筏

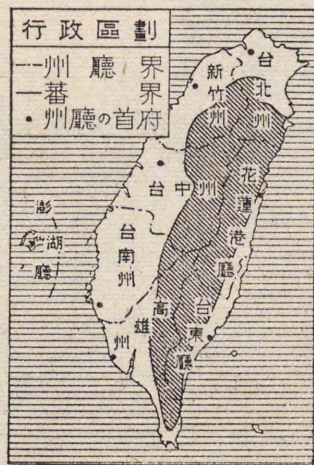


バナナ畑



話も内地との間に連絡する。  
政治 臺北市に總督府を置き全島を統べ、其の下に五州三廳があつて地方の政務を掌る。州の下に市(市尹)郡(郡守)廳の下に支廳があり、それ等の下に街(町)庄(村)がある。

處誌 西部は本島の主要地である。淡水は嘗て本島の最大港であつたが、今は基隆市が其の繁榮を奪つた。臺北市は本島の政治經濟文化の中心地である。桃園中壢は茶、新竹市は柑橘の集散地である。臺中市は彰化市と共に米、砂糖を集散しバナナの大市場である。嘉義市は阿里山の木材を集散し、臺南市は本島の古都である。高雄市は本島の南門で、屏東市は製糖が行はれる。恒春は本島最南の都市である。  
澎湖諸島の馬公は自然の良港である。

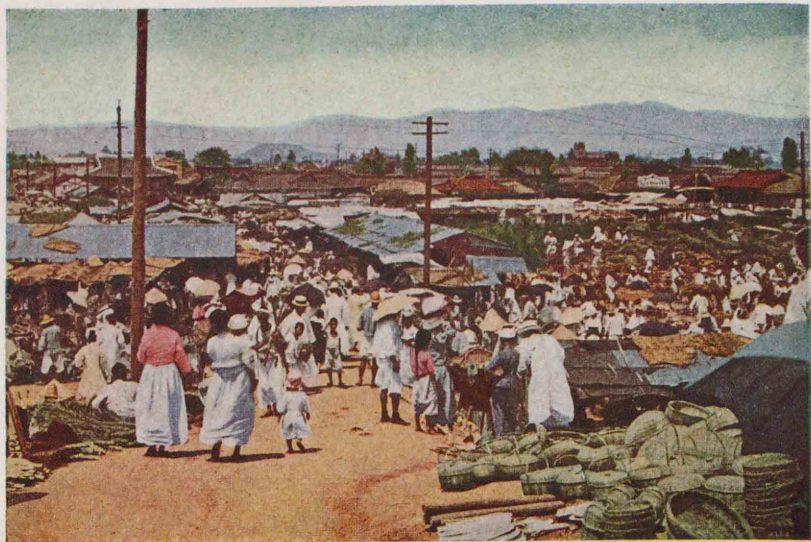


東部には宜蘭市、蘇澳、臺東、花蓮、港市等の都邑がある。

〔附〕新南群島 南支那海にある大小二十數個の群島で、長島は最大である。古くから無主の珊瑚礁島嶼として知られてゐたが昭和十四年高雄市の管轄となつた。椰子樹の繁茂する南國情緒の豊かな處で、嘗て燐礦の採取と漁業で知られ、今はグアノの採取が行はれる。經濟價値は少いが我が國の南方發展の根據地として重大な意義を有してゐる。

### 第十章 南洋群島

南洋群島はミクロネシアの大部分を占め我が國の成長尖端、海の生命



市場情景(大邱東門)



バガン島(マリアナ群島)



ヤルト島民のコブラ製造

パンの質芋類を食糧とし、裸體又は軽い衣服を着る。内地人は八萬餘で、沖繩縣よりの移民多く、産業の發展に貢獻する

線である。數多の島嶼より成るが、マリアナ・パ  
ラオ・カロリン  
マーシャルの  
四群島に分た  
れる。主に火  
山島・珊瑚島で  
熱帯海洋性気  
候である。住  
民は原住民が  
約五萬で椰子

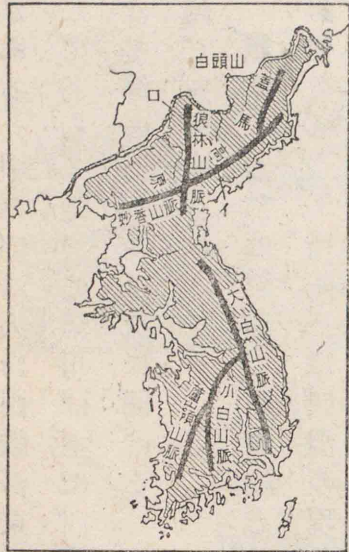


土人集會所



ボナベ島民とカノー

線である。數多の島嶼より成るが、マリアナ・パ



朝鮮の地勢

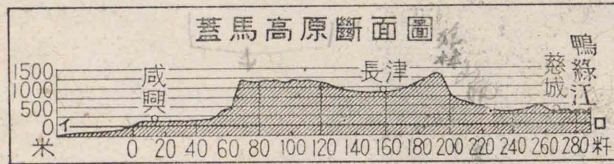
地勢 北部は高峻  
で長白山脈蓋馬高原

特に日滿支經濟プロ  
ック結成の今日其の  
廊下的位置は益重要  
となつた。

位置 日本列島とアジア大陸間の陸橋的位置にあつて、  
古來大陸文化の輸入路、日本文化の進出路ともなつてゐる。

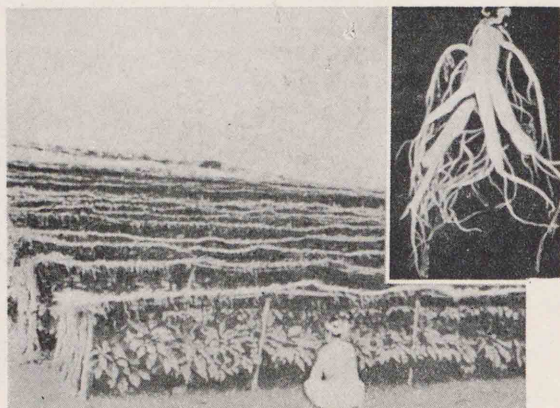
### 第十一章 朝鮮地方

所が大である。粗糖、コブラ、燐礦、ボーキサイトは重要産物で、鯉漁業も著  
はれる。貿易は主に内地との間に行はれる。定期航空路は横濱からサ  
イパン・パラオを経て淡水に通ずる。





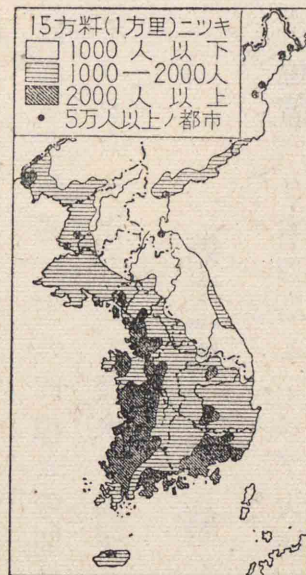
耕作



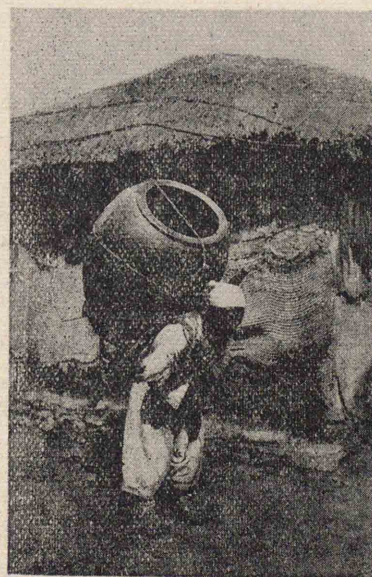
人参



綿羊の飼育



人口密度

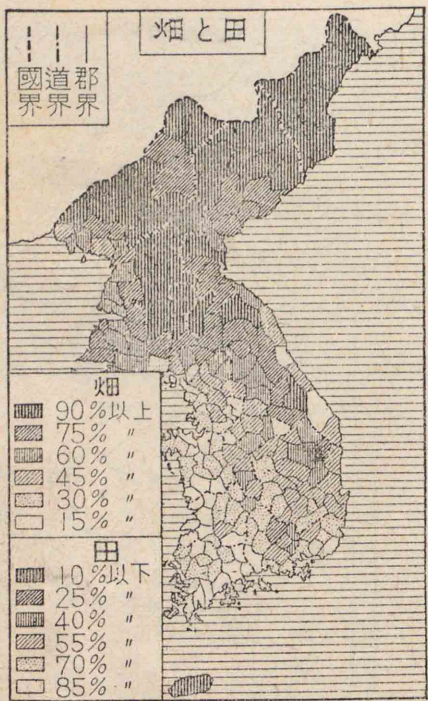


朝鮮家屋と朝鮮人

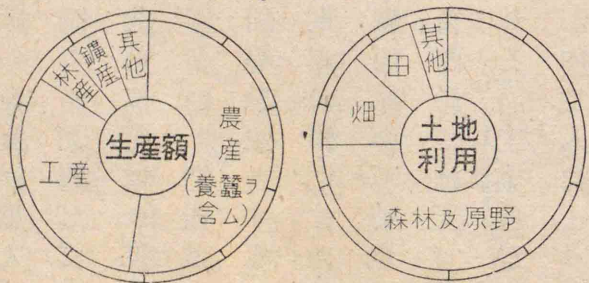
がある。中南部は大白山脈が東岸に沿うて縦走し、分水嶺は著しく東偏してゐる。従つて河川は主に西流し鴨綠江を始め長流が多い。小平野は是等の河川の下流に開ける。海岸は東岸の斷崖單調に對し、西岸は遠淺で屈曲に富む。

**氣候** 南部は溫和で中國地方と大差はない。北部は寒冷且つ大陸性氣候であるが、所謂三寒四溫の現象があつて割合に凌ぎ易い。

**住民** 大部分は朝鮮族で、内地人



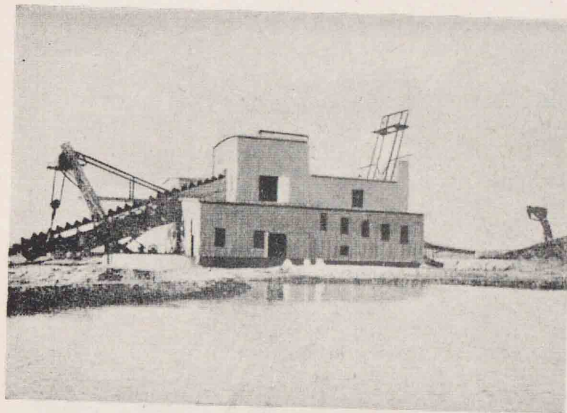
米・大麥・裸麥・棉花は南部に多く、小麥・粟・玉蜀黍・燕麥・馬鈴薯は北部に多い。牧



朝鮮の生産額と土地利用  
昭和十一年26億圓

は約五十八萬餘に過ぎない。人口密度は略、奥羽地方に等しく、北鮮より南鮮、裏朝鮮より表朝鮮に密である。朝鮮人の滿洲國への移民は約百萬で、國境地帯に多く、主に水田耕作に従事する。

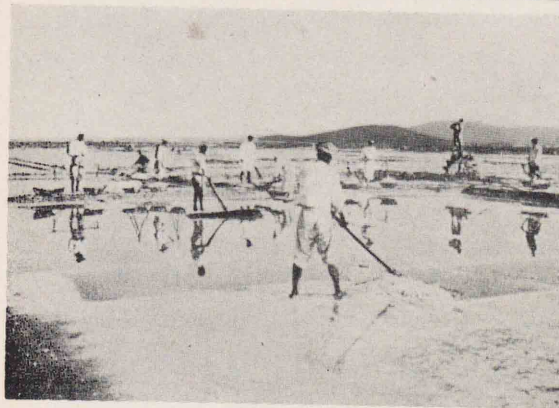
**産業** 農業は主産業で、田は南部に畑は北部に多い。主要農作物は米、麥類、豆類、棉花、馬鈴薯等である。



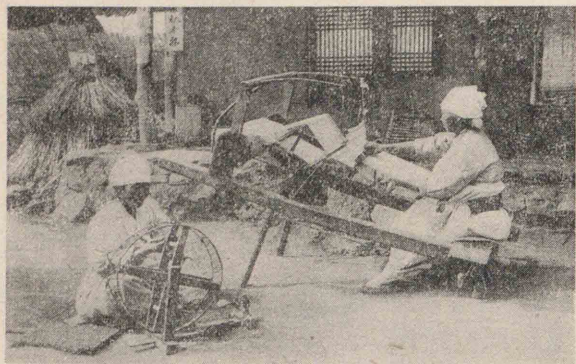
砂金の採集



釜山の魚市場



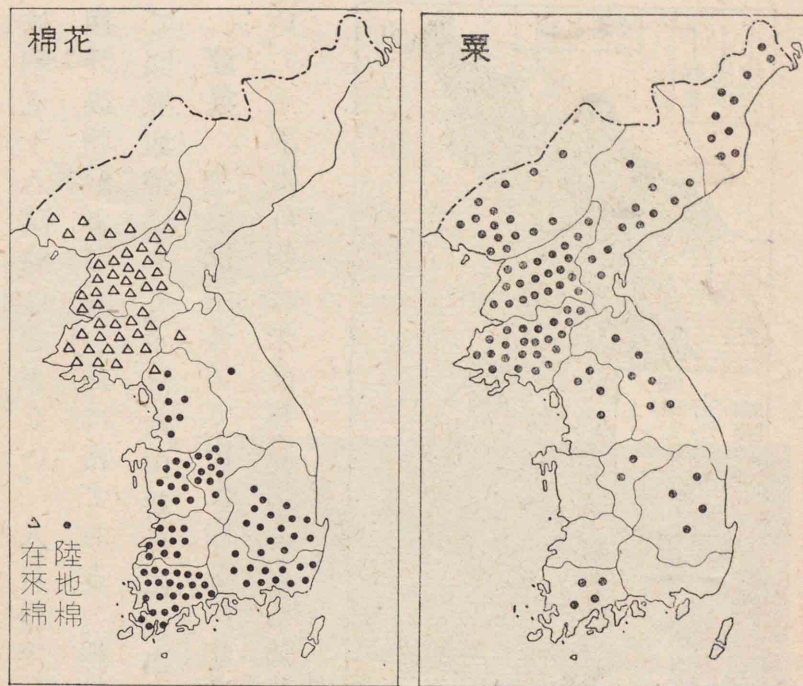
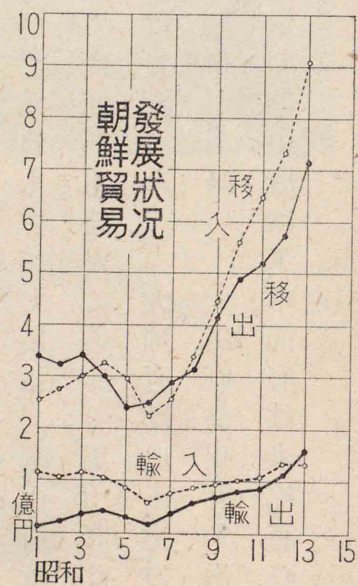
鹽田



機を織る農家の女(朝鮮)

内地の狭軌より廣い。内陸水路は表朝鮮の諸洲國の京圖線を結ぶ。鐵道は主に標準軌道で京元咸鏡北鮮線は相連絡して、この縦貫線と滿幹線をなし、内地滿洲間の連絡をなしてゐる。港あるが、釜山仁川鎮南浦等が著はれる。交通 近來道路整備し自動車交通が盛んになつた。鐵道は京釜京義兩本線が半島縦斷の

で行はれたが、次第に常設の商店が出来てきた。貿易は移出入を主とし、米、肥料、鐵等を出し、織物類、鐵、機械等を入れる。貿易港は十二



畜は牛豚の飼養が盛んで、近年綿羊飼育が勃興してゐる。林業は北部に行はれ、寒帯性針葉樹が多い。鑛産は金石炭、鐵、黒鉛等を主とする。水産業は東岸の鱈、明太魚、鯨、南岸の鯖、鯛、西岸の石首魚が名高い。又西岸では天日製鹽が行はれる。工業は幼稚であつたが、内地人によつて製鐵、製材、紡績、製紙、肥料製造等の近代的工業が勃興しつつある。商業は各地の定期市



景福宮慶會樓(京城)

河川に見られ、海運は釜山・仁川・元山・羅津の諸港を中心とする。航空路は

内地・滿洲・北支間の通路に當り、大邱・京城・平壤・新義州等に空港がある。

**政治** 總督は政務を、軍司令官は軍事を統べる。地方は十三道に分け、各道に知事を置き、道の下に府・郡・島、その下に邑・面がある。

**處誌** 南鮮は慶尙・全羅・忠清各南北道を含む所謂三南の地で、人口も稠密である。釜山府は交通の要地で、商工業も盛んである。馬山府は漁港で、鎮海は良港である。大邱府は農産物の集散地で、定期市が名高い。大田府・全州府・光州府は共に農産物の集散地である。西岸の群山府は米、木浦府は米、棉花の積出が多い。



棉花の收穫

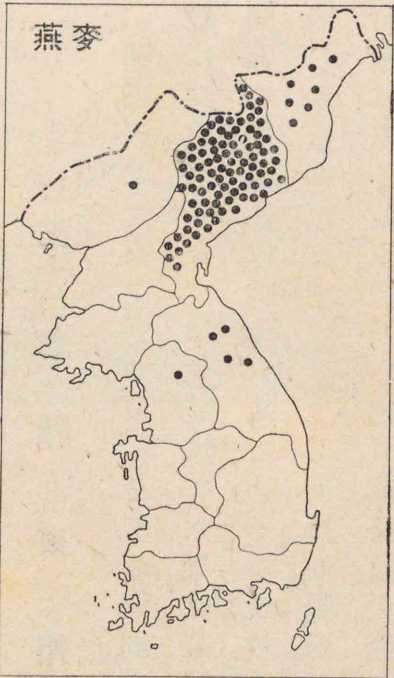


木浦の繰綿工場

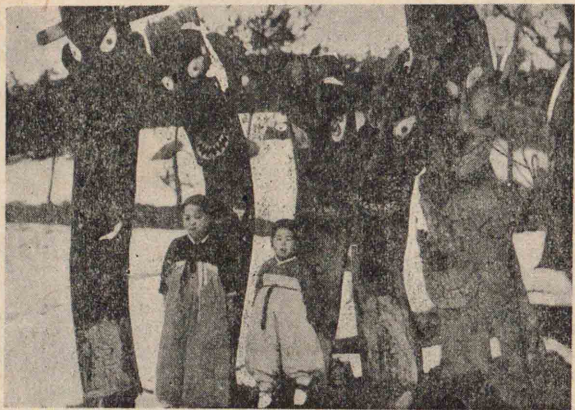


渡舟

る。仁川府はその外港である。開城府は人蔘の特産があり、兼二浦には製鐵所がある。北鮮は平安、咸鏡南北道の地である。平壤府は工業市で、鎮南浦は鐵石炭を積出す。新義州府は製材、製紙工業が盛んである。



一點五千石



將軍標と鮮童

中鮮は京畿江原黃海三道の地である。京城府は政治學術經濟交通の中心地であ



京城

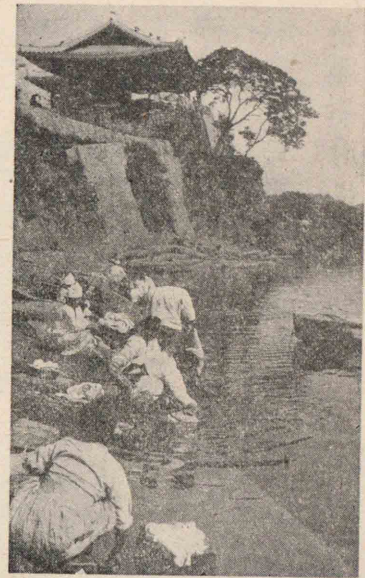


城津に於ける大豆の積出



豆滿江の筏





ける濯に於ける朝鮮婦人の洗濯

元山府は裏朝鮮屈指の開港場である。咸興府は農産物市場で、興南は新興の工業都市である。雄基羅津府、清津府は何れも北滿の門戸で、羅南、會寧は共に北方の要地である。

第十二章 關東州

關東州は遼東半島の南端を占め、滿洲の關門をなしてゐる。地勢は一般に丘陵性で、氣候は大陸性で雨量は夏季に多い。住民の大部分は滿洲國人で内地人は約十六萬である。土地よく開け玉蜀黍、落花生、粟、高粱を産し、水産物にも富む。工業は搾油、製粉工業が盛んで、貿易は主に大連で行はれる。連京線及び内外航路は大連を起點とし、航空路も内地、滿洲國、

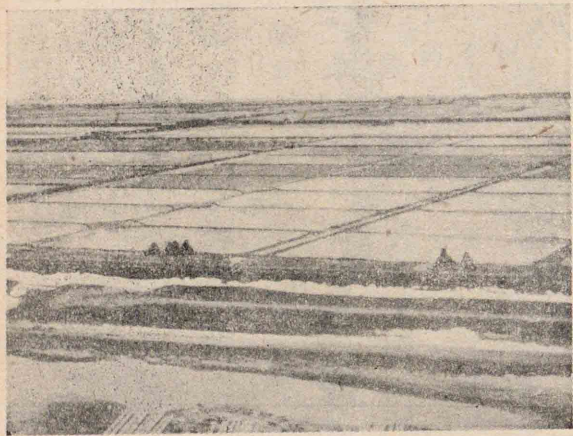


街市州金

北支等に通じる。政治は駐滿全權大使の下に關東州廳を大連に置き、長官之に當る。大連市は整然たる近代的城市で、政治、交通、商工業の大中心地である。旅順市は日清、日露の戦蹟多く、教育の中心地である。

金州は金城鐵

道の分岐點に當り、附近の南山は日露の戦跡地である。貔子窩と普蘭店とは天日製鹽の中心地として著はれる。



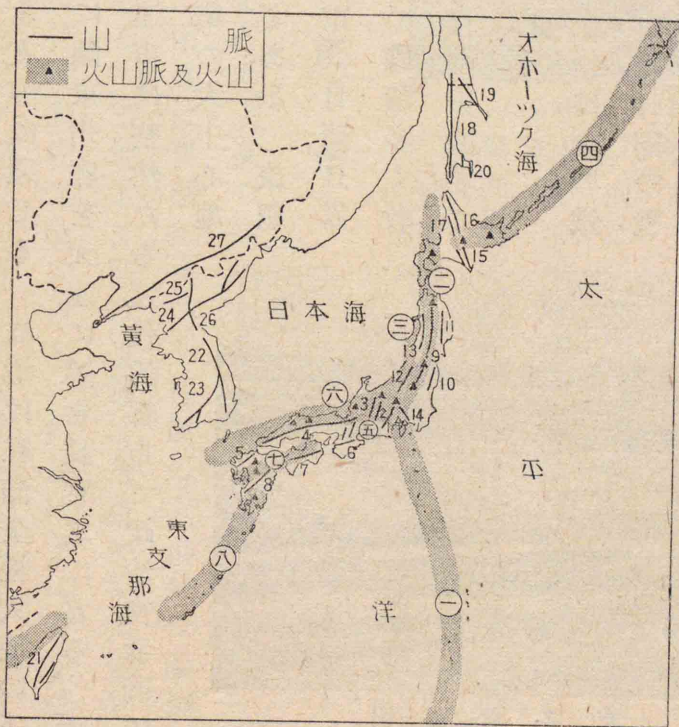
田鹽窩貔子

總括

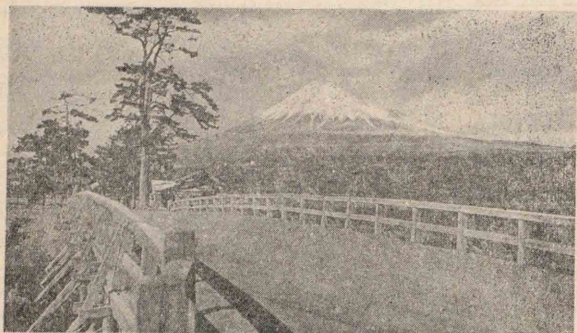
第一章 自然

(1) 地勢 山脈 日本列

島は東日本を形成する北  
彎山系と、西日本を構成す  
る南彎山形とより成る。  
その兩山系の合する處は  
大地溝帶をなし、その中に  
富士火山脈に屬する諸火  
山が噴出してゐる。朝鮮  
半島は日本列島と大陸と



日本の山脈及び火山脈



橋畔に立ちて靈峯富士を望む

(2) 海洋

海岸の出入多く、海岸線の總延長は約五萬四千料に達し、島嶼

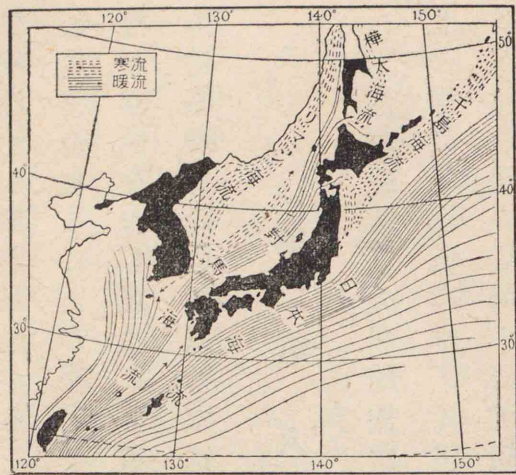
の漸移地帯で他の系統に屬してゐる。國內は山地多く産業交通の發達  
に不利多いが、秀麗な火山温泉多く休養觀光に適する。

河川平野 日本列島の河川は太平洋オホ

ツク海日本海瀬戸内海東支那海の五斜面に分  
たれ、朝鮮半島の水系は日本海朝鮮海峡黄海の  
三斜面に分たれる。我が國は地形が狹長で傾  
斜が急なため、急流多く舟運の便に乏しい。然  
し水量多く水力發電灌漑の利は多い。國內は  
山勝ちて諸外國の如き大平野に乏しく、何れも  
小規模である。是等の平野は勿論山間の小盆  
地もよく開墾され、産業發達し、人口都邑も稠密  
である。

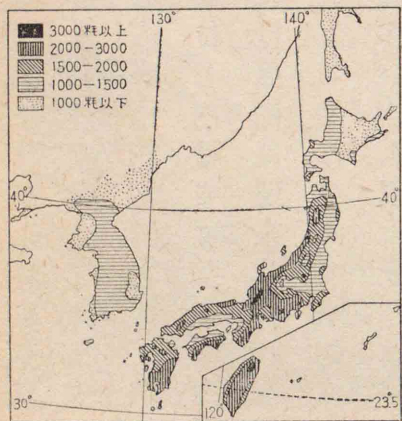
る處は屢濃霧を發生し航海を妨げるが、魚族を豊富ならしめ、氣候に及ぼす影響も大きい。

(3) 氣候 大部分温帯に位し、周圍に海を



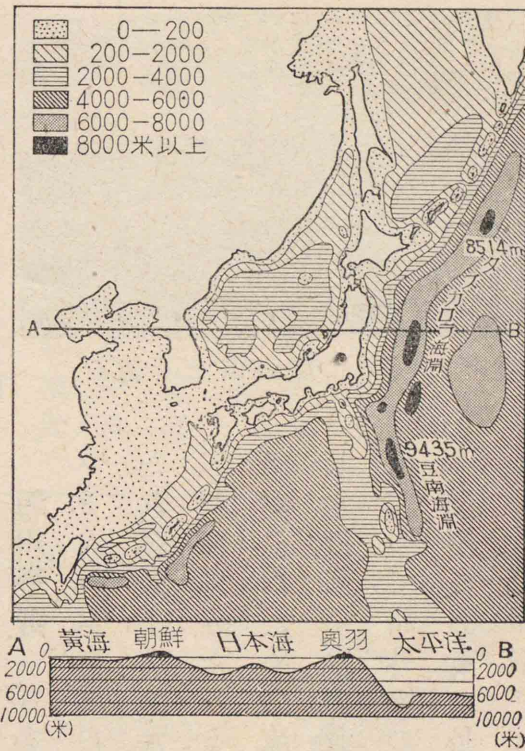
日本近海の海流

一に黒潮と稱し、赤道附近から來て、太平洋岸を洗ひ、犬吠崎附近で東に折れ、その分流の對馬海流は裏日本の海岸を北上する。寒流の千島海流は千島列島から本州の東岸を南下し、樺太海流は樺太の東岸、リマン海流は朝鮮東岸に沿うて流れる。寒暖二海流の接觸する處は、



年降水量

は四千三百餘に及ぶ。瀬戸内海・九州北西部・表朝鮮等は特に出入多く、日本海沿岸・臺灣・樺太は比較的變化に乏しい。一般に天然の良港灣に富み



日本近海の深度

海運は頗る便である。

海深 日本列島はアジア大陸の東縁をなし、その外側は深海をなし、日本海溝・琉球海溝等があるが、内側の縁海は極めて浅い。深海は地震の誘因となるが、浅海は水産業發達の一因とな

つてゐる。

海流

我が近海には寒暖の二海流が流れてゐる。暖流の日本海流は

環らしてゐるので一般に海洋性で氣候適順である。然し南北に狭長で、樺太・北朝鮮は亞寒帶性である。臺灣・南洋群島・小笠原諸島等は熱帶性である。また地形・海流・風向等の變化で列島の表裏に相當顯著な氣候的變化を示す。我が國は南東アジア季節風帯に位し、内地では夏季は南東風、冬季は北西風が卓越する。また夏秋の候には屢、颱風襲來し、西日本は其の災害を被ることが多い。雨量は一般に南より北に少く、又卓越風と密接な關係を有し、夏は表日本に、冬は裏日本に多い。初夏の候には樺太・北海道・臺灣を除いた以外では梅雨の現象が現はれ米作を促進する。

### 第二章 人 文

(1) 住民民族 大和民族は國民の大部分を占め、主に内地に居住する。北の樺太・北海道にはアイヌ、樺太には大陸民族のオロック族・ギリヤーク族等が住み、南の臺灣には漢族と高砂族、南洋群島にはミクロネシア族が住



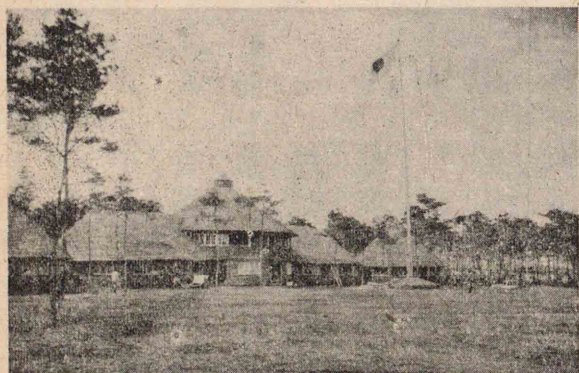
民族別比較

んでゐる。また朝鮮には朝鮮民族、關東州には漢族がある。是等の諸族は大和民族を中心とし、之に同化し相融合し優秀な日本民族を結成し輝かしい國民文化を建設してゐる。

人口 昭和十五年の

國勢調査によると總人口は一億五百二十三萬人、昭和十年の國勢調査より六百三十萬人の増加である。内地は七千三百十一萬人を算し、人口増加の著しいことは世界有數である。人口密度は一方料につき全土は百五十六人、内地は百九十一人である。

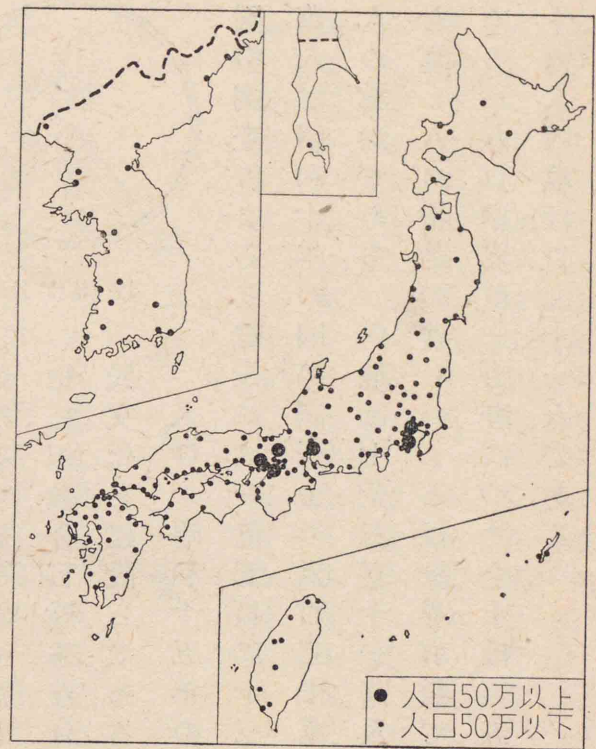
海外在住の邦人中、内地人は百萬を超え、滿洲・アメリカ合衆國・ブラジル・中華民國・馬來諸



滿蒙開拓青少年義勇軍本部  
内原訓練所

島ペル！カナダ等に多く、朝鮮人は滿洲に約百萬餘在住する。

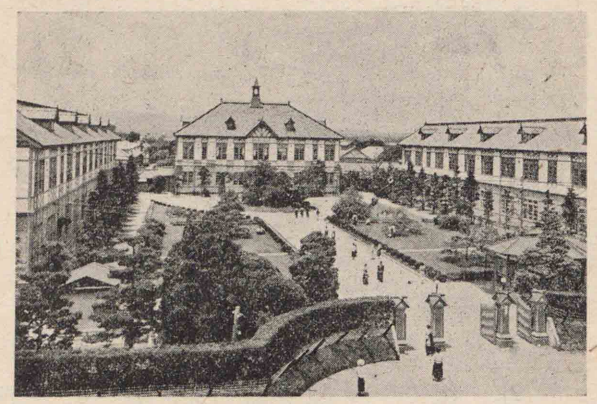
都市 我が國の内地は農業國より工業國へ進展するに従ひ、人口の都



都市分布圖

海道には街路整然たる新式都市がある。

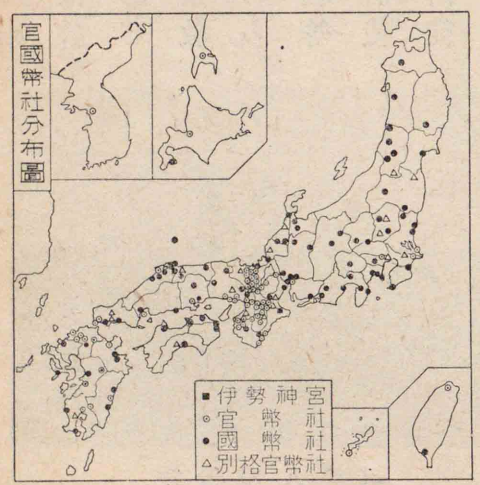
市集中が著しくなつた。人口百萬以上の都市は四を數へ、市制實施は全國で百七十を超えてゐる。都市の多くは舊城下町で、新興の交通、軍事、商工業都市も少くない。是等の都市の大部分は街路の不規則なものであるが、新開地の樺太、北



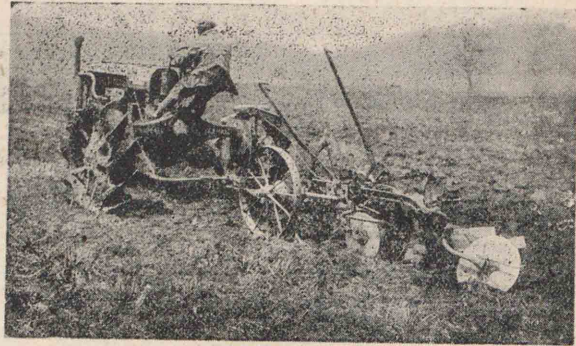
奈良女子高等師範學校

**教育** 我が國の教育機關の完備、教育の普及せることは世界有數である。特に國民學校は全國到る處に設けられ、學齡兒童の就學歩合は九九・五八％で世界第一の好成績を示してゐる。各種の中等學校も年々増加し、高等學校、専門學校、大學も多い。女子教育も近年著しく進歩して來た。

**神社宗教** 我が國民は建國以來敬神の念篤く、皇室の祖宗を始め國家社會の忠賢氏族の祖先を神として祀る美風がある。



北と北陸は寒氣厳しく積雪が多いので一毛作であるが、西南日本の平野は二毛作である。國民の主食物である米は北海道以南の各地に産するが、内地は稍不足するので朝鮮、臺灣か

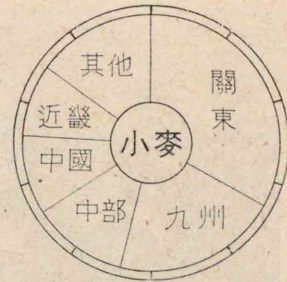


フアムオールトラクター耕作の實況(北海道真駒内)



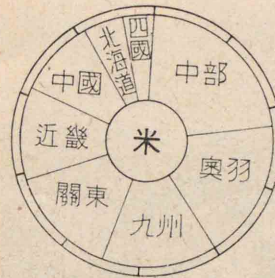
に從ふ。耕地面積は全土の十七%に過ぎないが農業者は全國民の四十八%を占める。従つて農家一戸當り耕地は僅かに一ヘクタールで、歐米に比し著しく狭小で農法は集約的多角的である。耕地は田が約五百四十萬ヘクタール、畑が六百九十萬ヘクタールである。道府縣中耕地面積の多いのは北海道及び新潟、茨城、千葉の諸縣で、總面積に比し耕地の多いのは埼玉、千葉、茨城、愛知、大阪、福岡の諸府縣である。奥羽以

全國到る處鬱蒼たる森に包まれた鎮守の社殿は國民の精神生活の結晶である。神社には神宮を始め官幣社、國幣社等があり、古い歴史ある



別地方別小麥産出割合

近畿地方に多い。宗教は信教の自由を認められて神道、佛教、基督教等並び行はれ、佛教の信徒數最も多く、神道の信徒數は之に次ぐ。



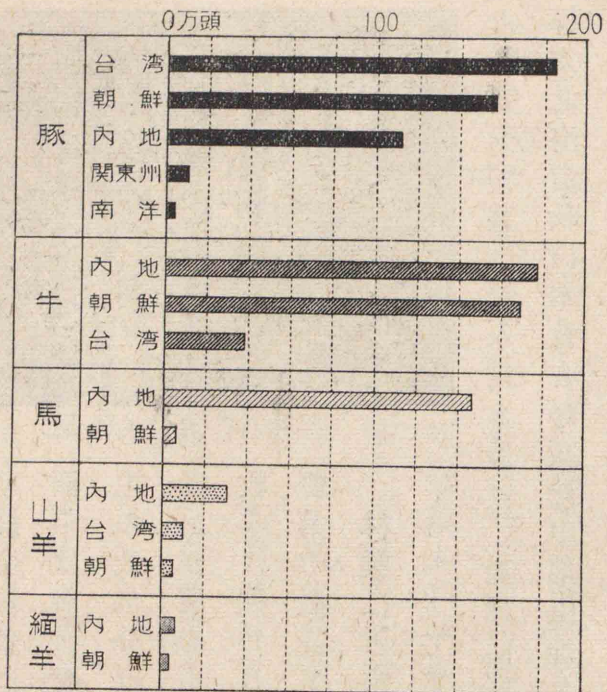
別地方別米産出割合

(2) 産業 我が國の産業は農業國より工業國へ躍進しつつある。最近新東亞建設上需要激増し、生産擴充の必要に迫られてゐる。農業は古來我が立國の大本で國民の過半は之



朝鮮人の耕作

等の關係上衣食の資源と勞力を畜類に求めることが少かつたこと、廣大な牧場に乏しく且つ氣候が稍溫潤に過ぎること等は不振の主な原因で

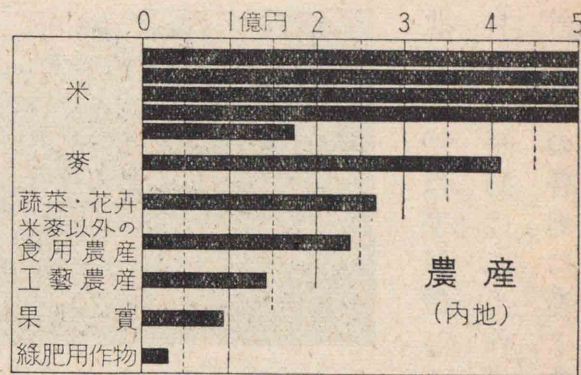


本邦主要家畜(昭和十一年)

養蠶は農家の重要な副業で中部・關東地方に盛んである。その生産品たる生絲・絹織物は重要輸出品であるが、其の消長は米國の消費と人絹工業の盛衰とに關係が深い。牧畜業は列國に比し不振である。古來宗教・風習

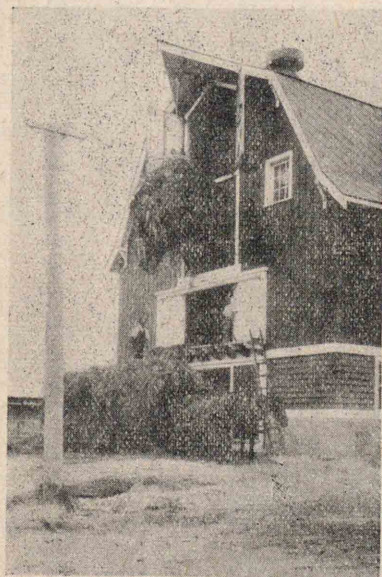
るが、棉花等の工業原料農産は少く、滿洲・北支に其の増産が計畫されてゐる。

は西日本に多く栽培され、よい對照である。是等の食糧的農産は大體自給自足の状態にあ

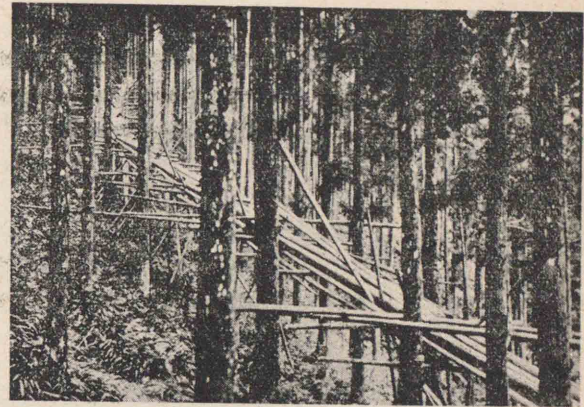


昭和十二年

らの移入で需要の大體は充されてゐる。麥類は多く裏作の冬麥で、寒地では夏麥を作り、高くな臺灣や、深雪地の裏日本には少い。大麥は關東・朝鮮に、裸麥は内地の中部以西に、小麥は關東・九州・朝鮮を主とし最近著しく産額を増した。大豆・馬鈴薯・甜菜・苹果等は東日本と朝鮮に多く、茶・蜜柑・甘蔗・甘藷



眞駒内種畜場飼料搬入實況



木材搬出(修羅)

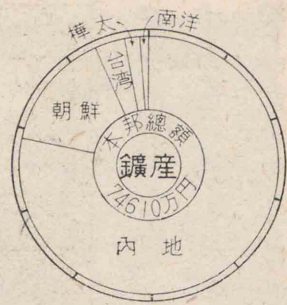
り需要大で其の輸入量も多い。森林面積は全土の半を占め、樺太・北海道・秋田・木曾・吉野・臺灣中部山地・北朝鮮には大森林がある。森林は木材を供給する外、水源涵養・水害防止・防風・風景

ある。近年需要の激増に従ひ盛んになつたが、尙農家の副業の域を脱しない。牛は内地・朝鮮に、馬は内地に、豚は臺灣・朝鮮・内地に多い。緬羊は飼育を奨励してゐるが極めて少く、羊毛の大部分は濠洲から輸入してゐる。將來益之が奨励を計ると共に滿蒙の牧羊に期待されてゐる。又有畜農業の振興も叫ばれてゐる。

林業は古來發達してゐるが、近年バルブ工業・建築物増加等によ



昭和十二年



昭和十一年

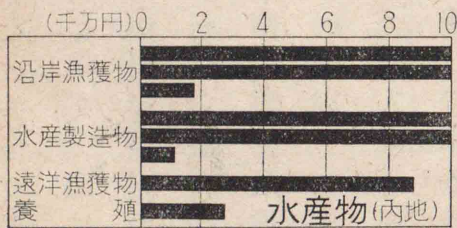
の保護等にも必要である。

鑛業は鑛産物の種類に富むが、産額は少い。近時各種工業躍進し其の需要激増するので、各鑛山の増産と大陸の諸鑛山開發に苦心してゐる。鑛産中第一の石炭さへ供給不足で撫順炭開平炭の

輸入を見る。石炭の主産地は九州・北海道である。鐵鑛は内地の産出極めて少く大部分は支那・馬來等より輸入する。石油は秋田・新潟等に産するが需要の大部分は輸入に仰がねばならぬ。

水産業は世界第一の産額を有し、國民の食糧を補給し、更に水産製造物を輸出する。

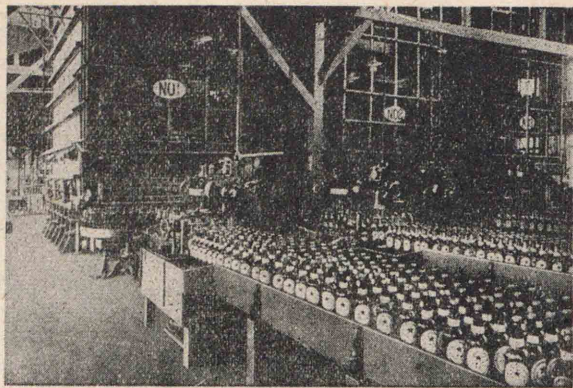
一般に東日本には寒海魚多く、西日本には暖海魚が多い。内地で漁獲高の多いのは北海道で、長崎・静岡・山



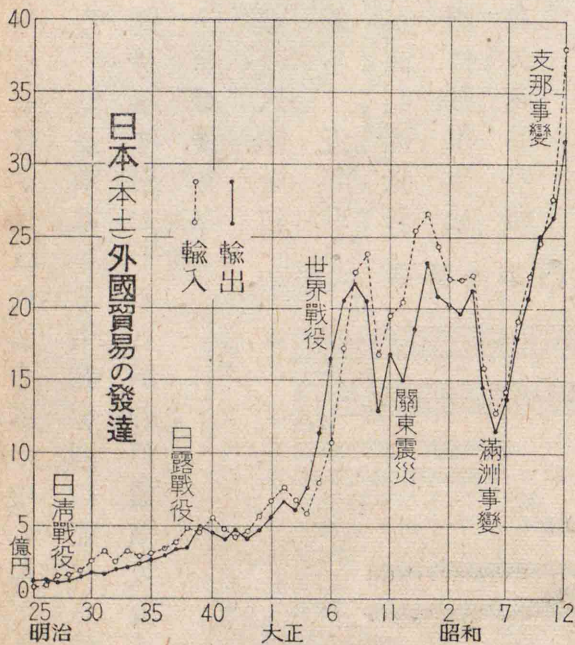
昭和十二年



京濱名古屋北九州の四地帯である。  
内國商業は二大商圏に分れ、東



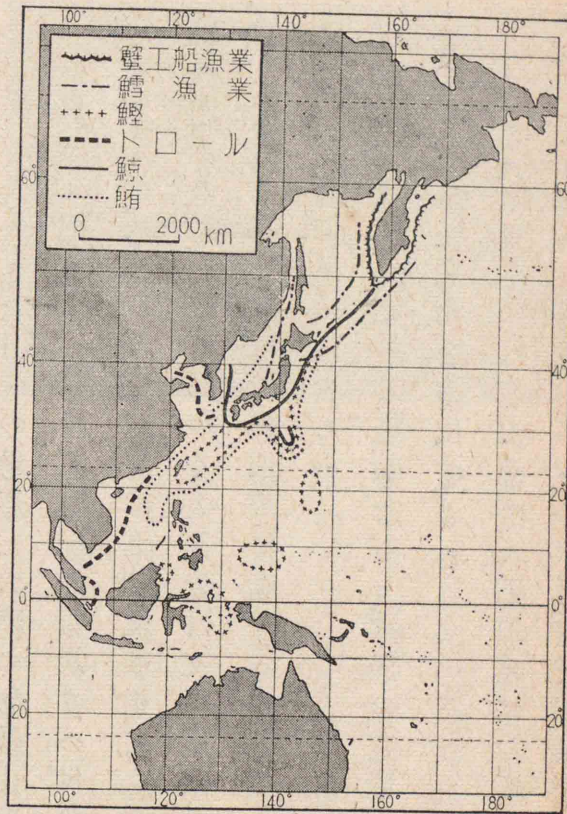
ビール醸造工場(札幌)



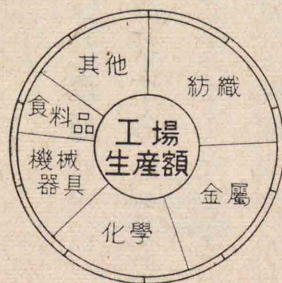
占むるは纖維工業で、金屬・化學・機械等の諸工業は之に次ぐ。纖維工業中綿絲紡績と綿織物は我が工業界の巨星で綿織物は輸出品中

の大宗である。主要工業地は阪神

發展し、其の生産額は我が生産總額の約七割を占めてゐる。斯くて我が國は世界屈指の工業國で、其の製品は世界的に進出するに至つた。工業中首位を



主要漁業地域



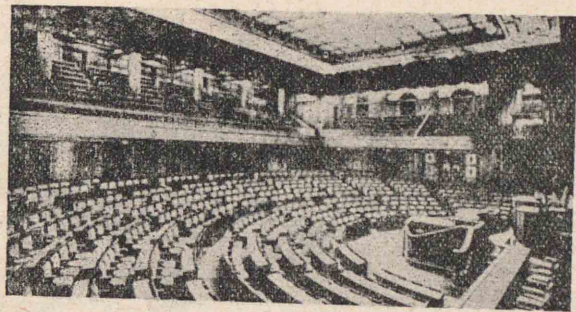
昭和十二年

口三重岩手等の諸縣は之に次ぐ。鹽は瀬戸内海沿岸臺灣朝鮮、關東州から採れるが、工業鹽の需要激増し、中華民國・東アフリカよりの輸入量も多い。工業は近年急激に



戸内海である。郵便・電信・電話は何れも歐米列強に遜色のない程度に完備してゐる。空運は歐米に比して著しく遜色あつたが最近の發達著しい。主要航空路は札幌・仙臺・東京・名古屋・大阪・福岡に達し、こゝより臺灣・朝鮮・關東州・滿洲・中華民國へ達する。

達する。



帝國議會事堂(東京)

司法・文部・農林・商工・逓信・拓務・鐵道・厚生の十三省がある。各省大臣は行政

政治 我が國は建國以來萬世一系の天皇の統治し給ふ立憲君主國で、國體の尊嚴なることは萬邦無比である。天皇は統治の大權を統べさせ給ひ、其の下に立法・司法・行政の三機關がある。立法機關は帝國議會で、司法機關は裁判所である。行政機關は中央と地方とに別れる。中

を監督し、内閣總理大臣と國務大臣とは内閣を組織し、天皇を輔弼し奉り政務の責に任ずる。地方行政機關としては内地を一道・三府・四十三縣に分ち、外地を樺太・臺灣・朝鮮・關東州・南洋群島に分ち、知事・長官又は總督をして統治せしむ。

軍備は國內の秩序を維持し他國の侮を受けない爲に必要である。我が陸海軍は大元帥陛下之を統率し給ひ國民皆兵の制度が布かれてゐる。私等女子は直接戰線に立たなくても銃後の守りを堅め以て舉國一致堅忍持久・盡忠報國の至誠を捧げねばならぬ。

## 結語

私等は日本地理を學び我が國勢の大要を知つた。我が國はアジア大陸を負ひ、太平洋に双手を擴げた好位置に位し、その進歩は列國の驚異となり、今や日本獨特の文化の創造と完成に努力しつつある。これ英明仁慈なる御歷代天皇の御稜威の然らしむる處であり、又忠君愛國の精神に燃ゆる國民の盡忠報國の賜である。しかし人口に比してその領土國富等は充分でなく、海外に仰ぐ工業原料品も少くない。今や世界主要國は英、米、蘇の所謂持てる國の現状維持國家に對し、日、獨、伊の持たざる國の新秩序建設、現状打破國家がある。我が國は滿洲國、新中華民國、佛領印度支那、泰國等と善隣友好經濟提携防共親日の緊密な關係を結び、他方獨、伊と三國同盟を締結し、大東亞建設に邁進しつつある。然し英國、米國、蘇聯、蘭領東印度は相提携して對日經濟封鎖をなし、蔣介石政權と共に我が國の

大聖業を妨げてゐる。宜しく女子學生諸子は生を皇國に享けた意義と光榮を痛感し、日本地理に於て會得した智識を活用し、國力の進展、國威の發揚の爲に滅私奉公の誠を盡し、奮勵努力以て皇謨を輔翼し奉らねばならぬ。

| (地方) | (面積)   | (人口) | (一方) | (地方)                             | (面積)    | (人口)  | (一方) |
|------|--------|------|------|----------------------------------|---------|-------|------|
| 方    | 方      | 方    | 方    | 方                                | 方       | 方     | 方    |
| 千    | 千      | 千    | 千    | 千                                | 千       | 千     | 千    |
| 000  | 000    | 000  | 000  | 000                              | 000     | 000   | 000  |
| 000  | 000    | 000  | 000  | 000                              | 000     | 000   | 000  |
| 忠清北道 | 7419   | 96   | 129  | 新竹州                              | 4598    | 71    | 154  |
| 忠清南道 | 8067   | 153  | 189  | 臺中州                              | 7383    | 116   | 157  |
| 全羅北道 | 8529   | 161  | 188  | 臺南州                              | 5421    | 133   | 245  |
| 全羅南道 | 1 3881 | 251  | 181  | 高雄州                              | 5722    | 73    | 127  |
| 慶尙北道 | 1 8986 | 256  | 135  | 臺東廳                              | 3526    | 7     | 20   |
| 慶尙南道 | 1 2308 | 225  | 183  | 花蓮港廳                             | 4628    | 11    | 23   |
| 黃海道  | 1 6734 | 167  | 100  | 澎湖廳                              | 127     | 7     | 551  |
| 平安南道 | 1 4930 | 147  | 98   |                                  |         |       |      |
| 平安北道 | 2 8441 | 171  | 60   | 帝國總計                             | 67 5344 | 10523 | 156  |
| 江原道  | 2 6266 | 161  | 61   |                                  |         |       |      |
| 咸鏡南道 | 3 1988 | 172  | 54   | 關東州                              | 3462    | 137   | 395  |
| 咸鏡北道 | 2 0344 | 85   | 42   |                                  |         |       |      |
|      |        |      |      | 南洋群島                             | 2149    | 13    | 61   |
| 臺灣   | 3 5974 | 587  | 163  |                                  |         |       |      |
| 臺北州  | 4565   | 102  | 223  | (朝鮮の道, 臺灣の州・廳の人<br>口のみは昭和十年國勢調査) |         |       |      |

内地地方別面積及び人口 (昭和十五年國勢調査)

| 地 方 別 | 面 積   | 人 口  | 人口密度<br>(一方) |
|-------|-------|------|--------------|
|       | 方     | 萬    | 人            |
|       | 千     | 千    | 千            |
|       | 000   | 000  | 000          |
|       | 000   | 000  | 000          |
| 北 海 道 | 88775 | 327  | 37           |
| 奥 羽   | 66911 | 716  | 107          |
| 關 東   | 32226 | 1687 | 523          |
| 中 部   | 66730 | 1311 | 196          |
| 近 畿   | 32986 | 1313 | 397          |
| 中 國   | 31679 | 572  | 181          |
| 四 國   | 18773 | 334  | 178          |
| 九 州   | 44465 | 1051 | 237          |

面積・人口 (昭和十五年國勢調査)

| (地方)  | (面積)    | (人口) | (一方) | (地方)    | (面積) | (人口) | (一方) |
|-------|---------|------|------|---------|------|------|------|
| 方     | 方       | 方    | 方    | 方       | 方    | 方    | 方    |
| 千     | 千       | 千    | 千    | 千       | 千    | 千    | 千    |
| 000   | 000     | 000  | 000  | 000     | 000  | 000  | 000  |
| 000   | 000     | 000  | 000  | 000     | 000  | 000  | 000  |
| 内 地   | 38 2545 | 7311 | 191  | 京 都     | 4621 | 173  | 374  |
| 北 海 道 | 8 8775  | 327  | 37   | 大 阪     | 1814 | 479  | 2642 |
| 青 森   | 9631    | 100  | 104  | 兵 庫     | 8323 | 322  | 387  |
| 岩 手   | 1 5235  | 109  | 72   | 奈 良     | 3689 | 62   | 168  |
| 宮 城   | 7274    | 127  | 175  | 和 歌 山   | 4723 | 87   | 183  |
| 秋 田   | 1 1664  | 105  | 90   | 鳥 取     | 3489 | 48   | 139  |
| 山 形   | 9326    | 112  | 119  | 鳥 根     | 6625 | 74   | 112  |
| 福 島   | 1 3782  | 163  | 118  | 岡 山     | 7046 | 133  | 189  |
| 茨 城   | 6091    | 162  | 266  | 廣 島     | 8437 | 187  | 221  |
| 栃 木   | 6437    | 121  | 187  | 山 口     | 6082 | 129  | 212  |
| 群 馬   | 6336    | 130  | 205  | 德 島     | 4143 | 72   | 173  |
| 埼 玉   | 3803    | 161  | 422  | 香 川     | 1859 | 73   | 394  |
| 千 葉   | 5062    | 159  | 310  | 愛 媛     | 5667 | 118  | 207  |
| 東 京   | 2145    | 736  | 3429 | 高 知     | 7104 | 71   | 100  |
| 神 奈 川 | 2353    | 219  | 929  | 福 岡     | 4940 | 309  | 677  |
| 新 潟   | 1 2578  | 206  | 164  | 佐 賀     | 2449 | 70   | 286  |
| 富 山   | 4257    | 82   | 193  | 長 崎     | 4076 | 137  | 336  |
| 石 川   | 4192    | 76   | 181  | 熊 本     | 7438 | 137  | 184  |
| 福 井   | 4264    | 64   | 151  | 大 分     | 6334 | 97   | 154  |
| 山 梨   | 4466    | 66   | 149  | 宮 崎     | 7739 | 84   | 109  |
| 長 野   | 1 3626  | 171  | 125  | 鹿 兒 島   | 9104 | 159  | 175  |
| 岐 阜   | 1 0495  | 127  | 120  | 沖 繩     | 2386 | 57   | 247  |
| 靜 岡   | 7770    | 202  | 260  |         |      |      |      |
| 愛 知   | 5081    | 317  | 625  | 樺 太 3   | 6090 | 42   | 12   |
| 三 重   | 5765    | 120  | 208  |         |      |      |      |
| 滋 賀   | 4051    | 70   | 174  | 朝 鮮 22  | 0735 | 2433 | 110  |
|       |         |      |      | 京 畿 道 1 | 2817 | 245  | 191  |

|      | 萬人    |      | 萬人    |
|------|-------|------|-------|
| 市川市  | 5.8   | 福井市  | 9.5   |
| 船橋市  | 5.1   | 敦賀市  | 3.1   |
| 館山市  | 2.9   | 長野市  | 7.7   |
| 東京市  | 677.9 | 松本市  | 7.3   |
| 八王子市 | 6.2   | 岡谷市  | 4.0   |
| 立川市  | 3.4   | 上田市  | 3.6   |
| 橫濱市  | 96.8  | 上諏訪市 | 3.0   |
| 川崎市  | 30.1  | 飯田市  | 2.9   |
| 橫須賀市 | 19.3  | 甲府市  | 10.2  |
| 小田原市 | 5.2   | 靜岡市  | 21.2  |
| 平塚市  | 4.3   | 濱松市  | 16.6  |
| 鎌倉市  | 4.0   | 清水市  | 6.9   |
| 藤澤市  | 3.7   | 沼津市  | 5.3   |
| 中部地方 |       | 三島市  | 3.3   |
| 新潟市  | 15.1  | 熱海市  | 2.4   |
| 長岡市  | 6.7   | 名古屋  | 132.8 |
| 三條市  | 3.7   | 豐橋市  | 14.3  |
| 高田市  | 3.0   | 岡崎市  | 8.4   |
| 柏崎市  | 3.0   | 一宮市  | 7.1   |
| 富山市  | 12.8  | 半田市  | 4.9   |
| 高岡市  | 5.9   | 瀨戶市  | 4.6   |
| 金澤市  | 18.6  | 岐阜市  | 17.2  |
| 小松市  | 5.2   | 大垣市  | 5.6   |
| 七尾市  | 3.0   | 高山市  | 3.1   |
|      |       | 多治見市 | 2.7   |

內地都市人口表 (昭和十五年國勢調査)

|      | 萬人   |      | 萬人  |
|------|------|------|-----|
| 北海道  |      | 郡山市  | 5.7 |
| 札幌市  | 22.3 | 福島市  | 4.8 |
| 函館市  | 20.4 | 若松市  | 4.8 |
| 小樽市  | 16.4 | 平市   | 3.0 |
| 室蘭市  | 10.8 | 關東地方 |     |
| 旭川市  | 8.8  | 日立市  | 8.3 |
| 釧路市  | 6.3  | 水戸市  | 6.6 |
| 帶廣市  | 3.7  | 土浦市  | 3.6 |
| 奧羽地方 |      | 宇都宮市 | 8.8 |
| 青森市  | 9.9  | 足利市  | 4.8 |
| 八戸市  | 7.3  | 栃木市  | 3.1 |
| 弘前市  | 5.1  | 前橋市  | 8.7 |
| 盛岡市  | 9.0  | 桐生市  | 8.6 |
| 釜石市  | 4.2  | 高崎市  | 7.1 |
| 宮古市  | 3.3  | 伊勢崎市 | 4.0 |
| 仙臺市  | 22.4 | 川口市  | 9.7 |
| 石巻市  | 3.6  | 浦和市  | 6.0 |
| 秋田市  | 6.2  | 大宮市  | 6.0 |
| 能代市  | 3.7  | 熊谷市  | 4.2 |
| 山形市  | 6.9  | 川越市  | 3.8 |
| 米澤市  | 4.9  | 千葉市  | 9.2 |
| 鶴岡市  | 3.6  | 銚子市  | 6.1 |
| 酒田市  | 3.2  |      |     |

|             | 萬人   |      | 萬人   |
|-------------|------|------|------|
| 小野田市        | 4.7  | 直方市  | 4.7  |
| 徳山市         | 3.8  | 飯塚市  | 4.7  |
| 山口市         | 3.5  | 佐賀市  | 5.0  |
| 下松市         | 3.3  | 唐津市  | 3.1  |
| 萩市          | 3.2  |      |      |
| <b>四國地方</b> |      | 長崎市  | 25.3 |
| 高松市         | 11.1 | 佐世保市 | 20.6 |
| 丸龜市         | 2.7  | 諫早市  | 4.4  |
|             |      | 島原市  | 3.0  |
| 松山市         | 11.8 | 熊本市  | 21.0 |
| 今治市         | 5.6  | 入代市  | 3.4  |
| 宇和島市        | 5.2  |      |      |
| 新居濱市        | 4.2  | 大分市  | 7.7  |
| 西條市         | 3.4  | 別府市  | 6.5  |
| 入幡濱市        | 3.2  | 日田市  | 3.6  |
|             |      | 佐伯市  | 3.3  |
| 徳島市         | 12.0 | 中津市  | 2.9  |
| 高知市         | 10.7 |      |      |
| <b>九州地方</b> |      | 延岡市  | 7.9  |
| 福岡市         | 32.3 | 宮崎市  | 6.7  |
| 八幡市         | 26.1 | 都城市  | 5.9  |
| 小倉市         | 17.9 | 鹿兒島市 | 19.0 |
| 大牟田市        | 17.7 | 鹿屋市  | 4.7  |
| 門司市         | 14.0 | 川内市  | 3.4  |
| 久留米市        | 9.0  |      |      |
| 若松市         | 8.9  | 那覇市  | 6.6  |
| 戸畑市         | 8.4  | 首里市  | 1.8  |

|             | 萬人    |             | 萬人   |
|-------------|-------|-------------|------|
| <b>近畿地方</b> |       | 尼崎市         | 18.1 |
| 津市          | 6.9   | 西宮市         | 11.2 |
| 四日市市        | 6.4   | 姫路市         | 10.4 |
| 宇治山田市       | 5.5   | 明石市         | 4.8  |
| 桑名市         | 4.2   | 蘆屋市         | 3.9  |
| 松阪市         | 3.5   | 飾磨市         | 3.5  |
|             |       | 伊丹市         | 3.4  |
| 大津市         | 6.8   | 洲本市         | 3.0  |
| 彦根市         | 3.6   |             |      |
|             |       | <b>中國地方</b> |      |
| 京都市         | 109.0 | 鳥取市         | 4.9  |
| 東舞鶴市        | 5.0   | 米子市         | 4.7  |
| 福知山市        | 3.2   |             |      |
| 舞鶴市         | 3.0   | 松江市         | 5.6  |
|             |       | 濱田市         | 3.2  |
| 奈良市         | 6.1   |             |      |
|             |       | 岡山市         | 16.4 |
| 和歌山市        | 19.5  | 玉野市         | 3.6  |
| 新宮市         | 3.2   | 津山市         | 3.5  |
| 海南市         | 2.9   | 倉敷市         | 3.2  |
|             |       |             |      |
| 大阪市         | 325.2 | 廣島市         | 34.4 |
| 堺市          | 18.2  | 吳市          | 27.6 |
| 布施市         | 13.5  | 福山市         | 5.7  |
| 吹田市         | 6.6   | 尾道市         | 4.9  |
| 岸和田市        | 4.7   | 三原市         | 3.9  |
| 豐中市         | 4.5   |             |      |
| 池田市         | 3.6   | 下關市         | 19.6 |
|             |       | 宇部市         | 10.1 |
| 神戸市         | 99.0  | 防府市         | 5.9  |
|             |       | 岩國市         | 5.1  |

昭和十六年十二月十一日 高等女子學校地理科用

### 文部省檢定濟

昭昭昭昭昭昭  
 和和和和和和  
 十十十十十十  
 六六五五三三二二  
 年年年年年年  
 十十 十二二九九  
 月月月月月月  
 十五一 廿廿二 五五十一  
 日日日日日日  
 改改改訂訂發印  
 訂訂訂正正  
 再再再再再  
 版版版版版  
 發行發行發行



著者

西田與四郎

發行者

東京市神田區神保町三丁目六番地  
上田由太郎

發行者兼印刷所

大阪府南區東清水町二十九番地  
大淵善吉

印刷所

大阪府西區阿波座中通二丁目四番地  
井下書籍印刷所

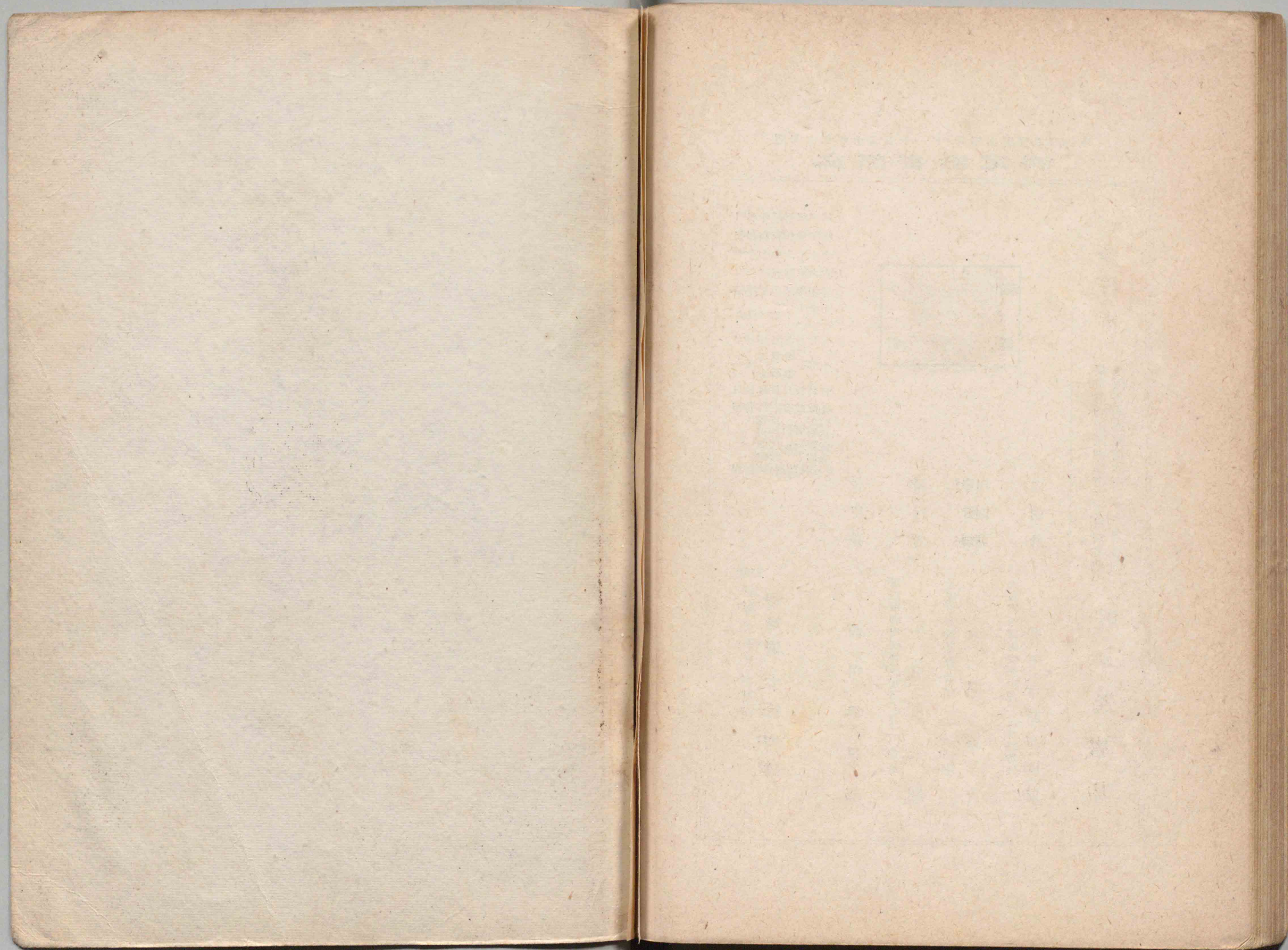
發行所

東京市神田區神保町三丁目六番地  
大阪府南區東清水町二十九番地

駸々堂書店

訂改 新編女子日本地理  
定價 七拾七錢







二年

天津  
梯組

広島大学図書

2000071563



庫  
1  
63